

くまもと市の環境 別冊

「第3次熊本市環境総合計画」に関する
市民アンケート調査報告書
【平成30年度（2018年度）版】

～未来へつなぎ、世界に誇れる環境文化都市～

令和元年（2019年）11月
熊 本 市

目 次

1	調査概要	1
2	アンケート調査結果	2
(1)	回答者の内訳	2
(2)	調査結果	5
■	「熊本市の環境目標（基本計画）」について	
問 1.	熊本市の良好な環境（生活・自然環境全般）が守られていると感じますか。	5
問 1-1.	（問 1. で「どちらともいえない」、「あまり感じない」、「全く感じない」と答えられた方）どのような理由から、そう思われますか。	7
問 2.	熊本市民の共有財産である地下水が、市民、事業者、行政の保全活動により守られていると感じますか。	9
問 3.	熊本市の街なかに緑が多いと感じますか。	11
問 4.	熊本市の地域ごとに、特色ある街並み（街並みや自然の風景）があると感じますか。	13
■	「ひとづくりプロジェクト」について	
問 5.	環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。	15
問 6.	この 1 年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。	17
問 6-1.	（問 6. で「参加した」と答えられた方）どのような環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。	19
問 6-2.	（問 6. で「参加した」と答えられた方）参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動（活動）はありますか。また、あるとしたらどういったことですか。	21
問 6-3.	（問 6. で「参加していない」と答えられた方）参加しなかった理由は何ですか。	23
問 7.	今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。	25
問 8.	どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したいと思いますか。	28
問 9.	市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取組を行えば効果的だと思いますか。	31
■	「まちづくりプロジェクト」について	
問 10.	（緑化活動、清掃活動、環境学習に関する活動など）環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。	35
問 11.	日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。	37

問 1 1 - 1. (問 1 1. で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と答えられた方) どのような団体の活動に参加していますか。	39
問 1 1 - 2. (問 1 1. で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と答えられた方) 現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。	41
問 1 1 - 3. (問 1 1. で「参加したことはないが、今後してみたい」と答えられた方) 今後、どのような団体の活動に参加してみたいですか。	43
問 1 1 - 4. (問 1 1. で「参加したことはないが、今後してみたい」と答えられた方) 今後、どのような環境保全活動に参加してみたいですか。	45
問 1 1 - 5. (問 1 1. で「参加したことはないし、今後もしないと思わない」と答えられた方) 参加したいと思わない理由は何ですか。	47
問 1 2. どのような条件を整えば、より多くの人まちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。	49
問 1 3. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。	51
問 1 4. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。	53
問 1 5. 環境に関する情報について、今後求めたいもの(不足しているもの)は何ですか。	55
■ 「ごみ問題への関心と地域におけるごみ出しマナー」について	
問 1 6. 現在の熊本市のごみ出しルールを守っていますか。	57
問 1 7. スマートフォン・タブレット向けの「熊本市ごみ分別アプリ」を知っていますか。	59
問 1 7 - 1. (問 1 7. で「既に利用している」と答えられた方) 「熊本市ごみ分別アプリ」をどこで知りましたか。	61
■ 「COOL CHOICE」について	
問 1 8. 「COOL CHOICE」について知っていますか。	63
問 1 8 - 1. (問 1 8. で「言葉も意味も知っている」または「言葉は知っているが、意味はよく知らない」と答えられた方) 「COOL CHOICE」を知ったきっかけは何ですか。	65
問 1 8 - 2. (問 1 8. で「言葉も意味も知っている」または「言葉は知っているが、意味はよく知らない」と答えられた方) 「COOL CHOICE」を実践している、または実践していない理由を教えてください。	67
■ 「ZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)」について	
問 1 9. 「ZEH」について知っていますか。	69
問 2 0. 「ZEH」について具体的にどのようなことが知りたいですか。	71

■ 「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」について	
問 2 1. 「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」を知っていますか。また、どのくらい関心を持っていますか。	73
■ 「レジ袋削減」について	
問 2 2. 買い物に行くとき「マイバッグ」などを持参していますか。	75
問 2 2-1. (問 2 2. で「ほとんど持参していない」、「全く持参していない」と答えられた方) どのような理由から、マイバッグを持参していないのですか。	77
問 2 2-2. レジ袋削減を進めるには、どのようなことが必要だと思いますか。	79
問 2 3. 熊本市におけるレジ袋削減に向けた取組に関する協定について知っていますか。	81
■ 「SDGs」について	
問 2 4. 「SDGs」について知っていますか。	83
問 2 4-1. (問 2 4. で「よく知っている」「少しは知っている」と答えられた方) 言葉を知ったきっかけは何ですか。	85
問 2 5. SDGsの17の目標のうち、大切だと思う項目は何ですか。	87
問 2 6. SDGsの17の目標のうち、あなたが貢献できると思う項目は何ですか。	88
問 2 7. SDGsの17の目標のうち、熊本市として取り組むべきだと思う項目は何ですか。	89
問 2 8. SDGsに関して、ご提言、ご意見がございましたらお聞かせください。	90
■ 「受動喫煙防止」について	
問 2 9. 現在、急激に普及している火を使わない「電子たばこ(加熱式)」は、従来のたばこと同様に規制する必要があると考えますか。	95
■ 「熊本市内の環境問題」について	
問 3 0. 現在の熊本市内の環境の現状について、問題と思われることについて(10項目)から選んでください。	97
問 3 0-1. 問 3 0. で選択された問題について、どのようなことが問題と思われませんか。ご自身のお考えを記入してください。	100
3 参考資料(調査票)	106

1 調査概要

■調査目的

平成23年(2011年)3月に策定した第3次熊本市環境総合計画では、「未来へつなぎ、世界に誇れる環境文化都市」を目指すべき都市像として掲げ、それを実現するために共通して取り組む事項として「環境教育によるひとづくり」、「協働によるまちづくり」を重点協働プロジェクトとして位置づけている。また、本計画では、プロジェクトの実施状況や進捗状況を、市民意識調査等により毎年度点検評価し、その結果を計画実施体制等に反映し、着実な推進を図ることとしている。

本調査は、市民の日頃の環境保全行動・活動の取組状況や、それに対するニーズなどを調査し、熊本市の環境目標の認知度や重点協働プロジェクトの進捗状況の把握、新たに実施する施策の方向性を検討する資料とするため実施したものである。また、設問1から3及び設問5においては、これまで熊本市第6次総合計画で調査されてきた設問を、引き続き本調査にて継続したものとなっている。

■調査対象

市民：3,000人(住民基本台帳より満20歳以上89歳以下の市民を無作為抽出)

■調査方法

アンケート調査票の郵送配布、郵送もしくはインターネットによる回答

■調査期間

平成31年(2019年)1月下旬から平成31年(2019年)3月31日まで

■回収数(回収率)

1,068人(35.6%)

■留意事項

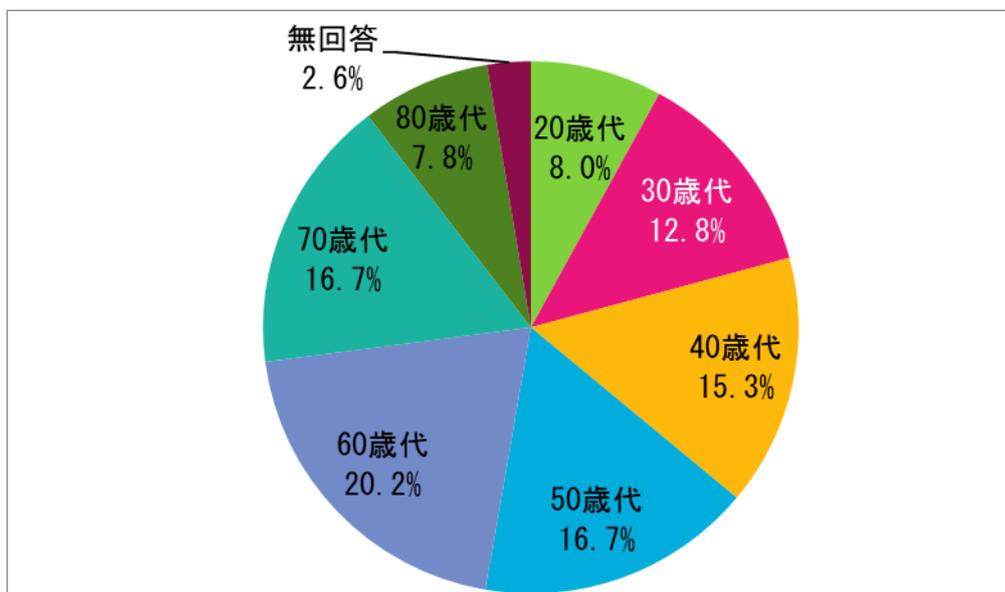
単数回答の集計については、設問ごとに無回答の項目を設けて、これを含めた全体の回収数を100%としている。なお、回答率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。

複数回答となる質問の集計については、項目別に回収数に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。したがって、数表、図表に示す各項目の回答率の合計は100%を超える場合がある。

2 アンケート調査結果 平成30年度（2018年度）

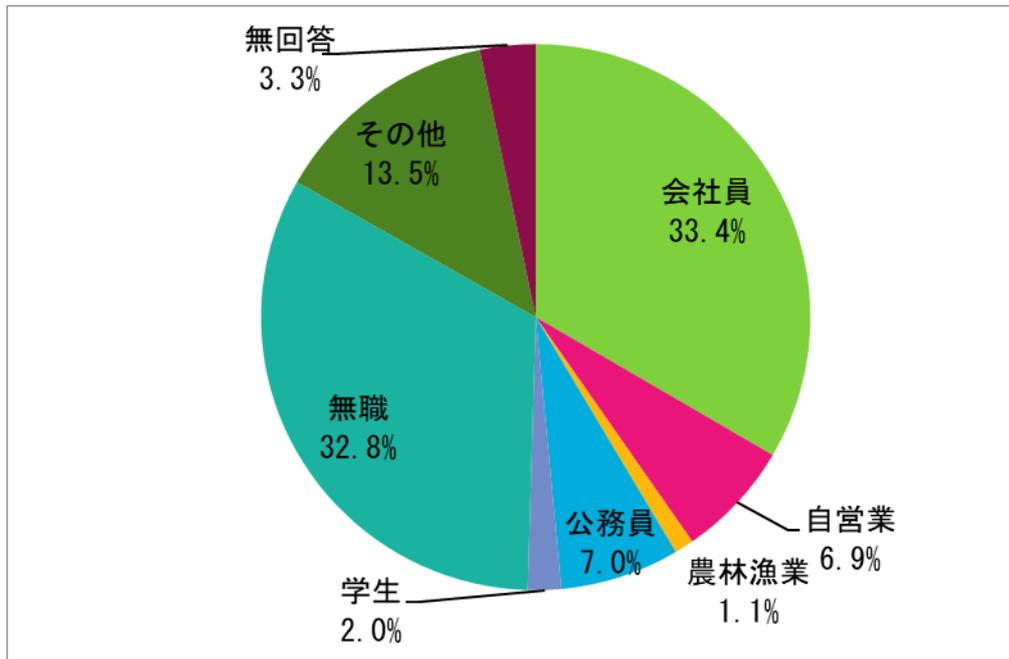
(1) 回答者の内訳

年齢別



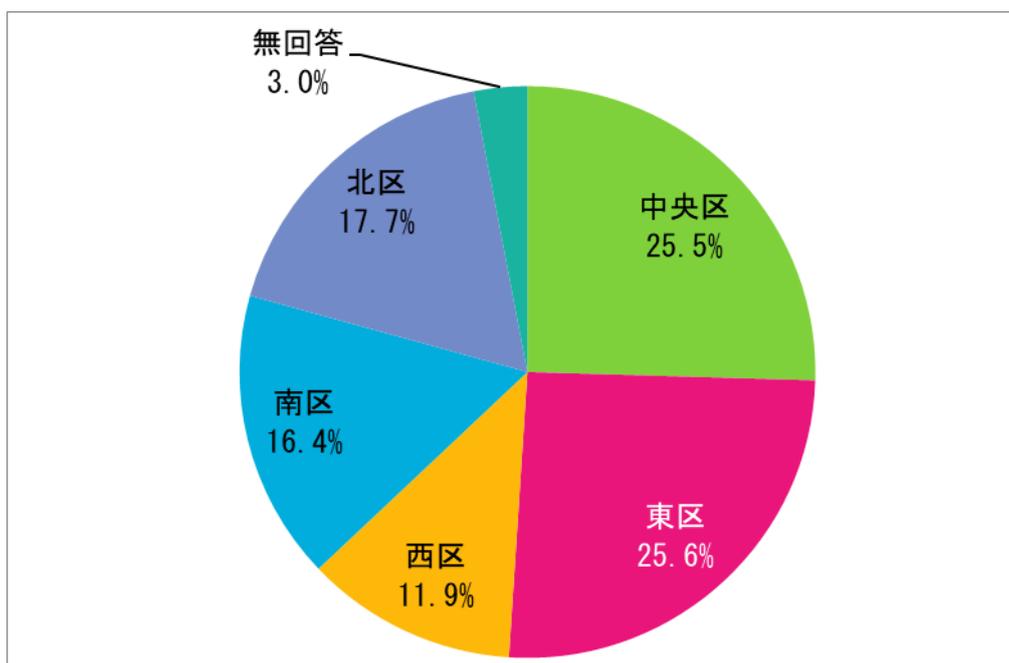
年齢別	アンケート 回答数	アンケート 発送数	発送数に対する 回答割合
20歳代	85	389	21.9%
30歳代	137	459	29.8%
40歳代	163	536	30.4%
50歳代	178	477	37.3%
60歳代	216	500	43.2%
70歳代	178	393	45.3%
80歳代	83	246	33.7%
無回答	28	0	
計	1,068	3,000	35.6%

職業別



職業	回答数	割合
会社員	357	33.4%
自営業	74	6.9%
農林漁業	12	1.1%
公務員	75	7.0%
学生	21	2.0%
無職	350	32.8%
その他	144	13.5%
無回答	35	3.3%
合計	1,068	100.0%

回答者の居住区



区	回答数	割合
中央区	272	25.5%
東区	273	25.6%
西区	127	11.9%
南区	175	16.4%
北区	189	17.7%
無回答	32	3.0%
合計	1,068	100.0%

(2) 調査結果

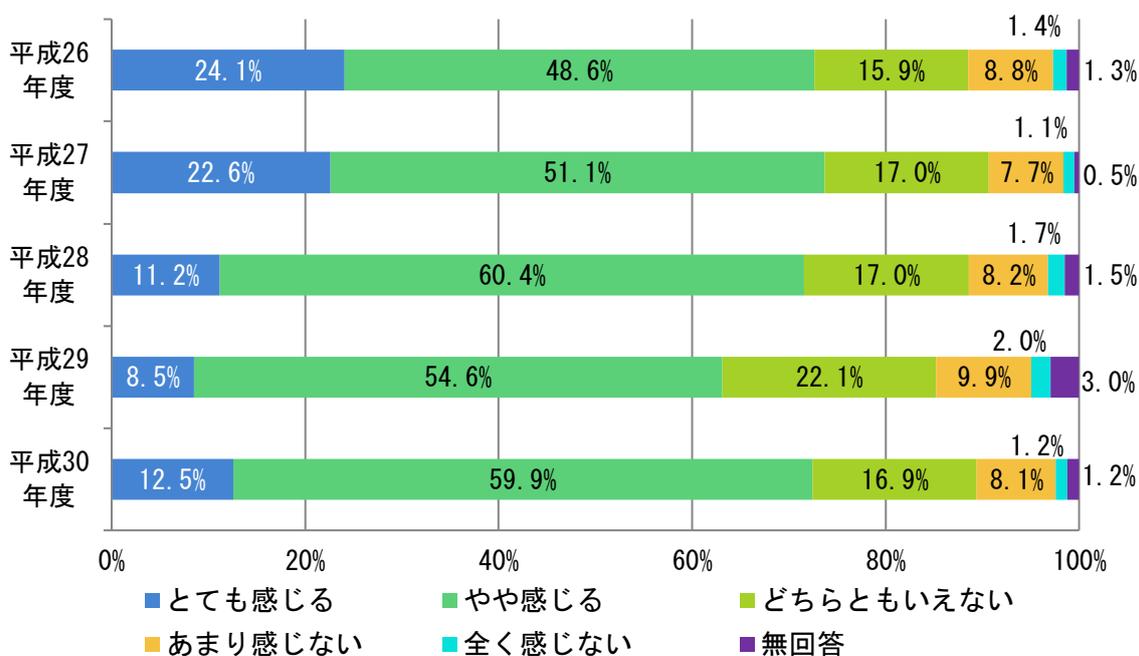
■「熊本市の環境目標（基本計画）」について

問1. 熊本市の良好な環境（生活・自然環境全般）が守られていると感じますか。（1つだけ）

「やや感じる」が59.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が16.9%、「とても感じる」が12.5%となっている。

前回調査と比較すると、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は72.4%で、9.3ポイント増加している。

過去5年間の推移では、「とても感じる」または「やや感じる」と回答した割合は、平成29年度を除き70%前半となっており、平成29年度の63.1%は平成28年熊本地震の影響による外れ値とすると、ほぼ横ばい傾向にある。



【回答者の属性別にみた結果】

年齢別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は60歳代が78.3%と最も高く、次いで40歳代（77.3%）、70歳代（74.8%）となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は学生が85.7%と最も高く、次いで公務員（80.0%）、無職（74.3%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は北区が74.1%と最も高く、次いで中央区（73.9%）、南区（73.1%）となっている。

■属性別回答

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1,068	12.5%	59.9%	16.9%	8.1%	1.2%	1.2%
年齢別							
20歳代	85	9.4%	61.2%	21.2%	8.2%	0.0%	0.0%
30歳代	137	8.0%	52.6%	22.6%	14.6%	1.5%	0.7%
40歳代	163	9.2%	68.1%	11.7%	8.0%	1.8%	1.2%
50歳代	178	12.4%	57.3%	19.7%	9.6%	0.6%	0.6%
60歳代	216	13.9%	64.4%	15.3%	4.2%	1.9%	0.5%
70歳代	178	15.2%	59.6%	14.0%	7.9%	0.6%	2.8%
80歳代	83	22.9%	47.0%	19.3%	7.2%	2.4%	1.2%
職業別							
会社員	357	8.4%	62.5%	18.8%	9.0%	1.1%	0.3%
自営業	74	5.4%	64.9%	21.6%	5.4%	1.4%	1.4%
農林漁業	12	25.0%	33.3%	0.0%	33.3%	8.3%	0.0%
公務員	75	14.7%	65.3%	12.0%	5.3%	1.3%	1.3%
学生	21	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	350	17.7%	56.6%	14.0%	8.9%	1.1%	1.7%
その他	144	13.2%	56.3%	20.8%	6.9%	1.4%	1.4%
地区別							
中央区	272	11.4%	62.5%	16.5%	7.7%	1.8%	0.0%
東区	273	13.6%	56.8%	21.2%	7.0%	1.1%	0.4%
西区	127	12.6%	57.5%	16.5%	13.4%	0.0%	0.0%
南区	175	12.0%	61.1%	13.1%	8.6%	1.7%	3.4%
北区	189	13.8%	60.3%	15.9%	6.9%	1.1%	2.1%

問1-1. (問1. で「どちらともいえない」、「あまり感じない」、「全く感じない」と答えられた方) どのような理由から、そう思われますか。

■各項目において多くの意見をいただいた中から、多かった意見順に代表例を以下に列挙する。

①ごみ問題について

- ・ごみ分別のマナー違反が多い。
- ・資源物の持ち去り
- ・喫煙マナーが悪い。
- ・輪番制で回ってくるごみステーションの掃除をする時間的余裕がない。
- ・バイオ式生ごみ処理機を市の助成を受け購入したが、消耗品が高く使わなくなった。長く使える方法を市も考えて欲しい。
- ・ごみの不法投棄やポイ捨てが多い。
- ・ごみをカラスや猫が散らかし不衛生

②交通について

- ・道路の整備が追い付いていない。
- ・交通渋滞が多い。
- ・信号の制御が悪く、交通がスムーズでない。
- ・公共交通機関がもう少し充実していると良いと思う。
- ・低床電車やノンステップバスが少なく、一人で乗車できないときがある。
- ・道路幅員が狭い。
- ・公共交通の便に地域差がある。

③公園について

- ・公園が少なく感じる。
- ・大人がゆっくりできる公園が少ない。
- ・公園にいるホームレスらしき人がいて気になる。
- ・公園の整備が悪い(除草や清掃)。

④都市化について

- ・田畑がなくなり宅地が進んでいる。
- ・農業と新規住民との摩擦(野焼き等)
- ・マンション建設が多い。

⑤緑化について

- ・以前より緑が減ったと感じる。
- ・大木や各家庭の庭木の伐採が目立つ。

⑥景観について

- ・景観的に雑多で良好な都市景観とは思えない。
- ・マンション、ラブホテル、パチンコ店などの景観を損なう建物、施設が多い。
- ・廃屋となっている空き家が目立つ。

⑦大気について

- ・ディーゼル車の排気ガスが多い。
- ・工場からの煙による悪臭
- ・PM2.5

⑧地域コミュニティ

- ・自治会に加入しないとごみを捨てることができない。
- ・新たに転居すると地域コミュニティに加われない（案内もない）。

⑨その他

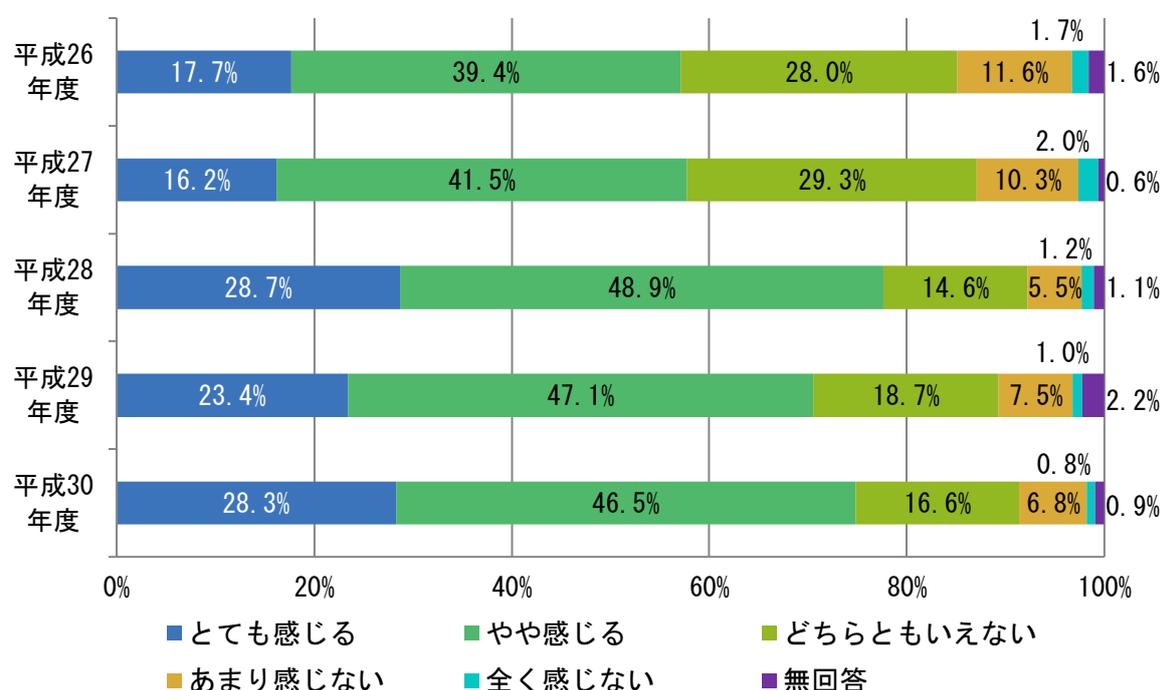
- ・自然環境保全の意識が希薄な人が多い。
- ・具体的な行動が分からない。
- ・アサリやハマグリが減ってきている。
- ・下水道の普及が遅い
- ・行政の取り組みが見られない。
- ・自然環境について知る機会がない。
- ・市中心部での飲食店や風俗店への客引き行為や暴力団の存在
- ・市の上層部が何をしているのか分からない。
- ・環境について意識したことがない。

問2. 熊本市民の共有財産である地下水が、市民、事業者、行政の保全活動により守られていると感じますか。(1つだけ)

「やや感じる」が46.5%と最も高く、次いで「とても感じる」が28.3%、「どちらともいえない」が16.6%となっている。

前回調査と比較すると、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は74.8%で、4.3ポイント増加している。

過去5年間の推移では、「とても感じる」または「やや感じる」と回答した割合は平成26年度の57.1%から平成30年度では74.8%へと17.7ポイント上昇している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は80歳代が86.8%と最も高く、次いで70歳代(83.2%)、60歳代(79.1%)となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は無職が82.3%と最も高く、次いで学生(80.9%)、自営業(79.7%)となっている。また、農林漁業が41.7%と最も低い。

さらに、農林漁業は「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた割合も33.4%と最も高くなっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は中央区が77.6%と最も高く、次いで北区(75.2%)、東区(75.1%)となっている。

■属性別回答

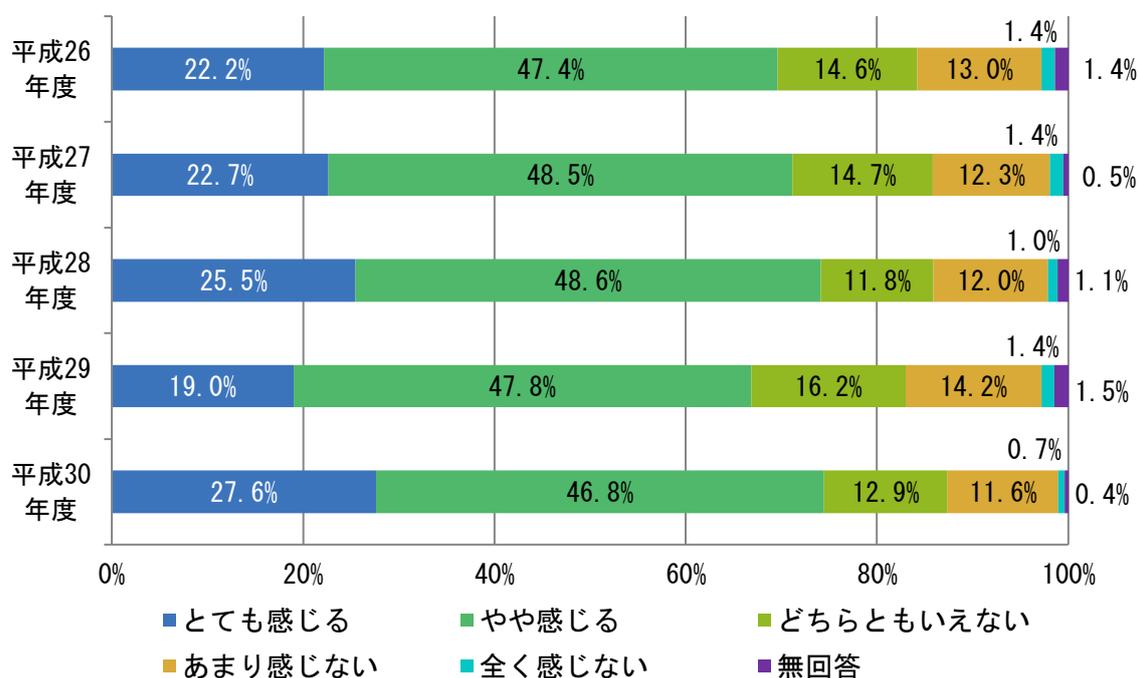
	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1,068	28.3%	46.5%	16.6%	6.8%	0.8%	0.9%
年齢別							
20歳代	85	22.4%	45.9%	24.7%	7.1%	0.0%	0.0%
30歳代	137	16.8%	41.6%	26.3%	14.6%	0.7%	0.0%
40歳代	163	20.2%	53.4%	18.4%	6.7%	0.6%	0.6%
50歳代	178	27.0%	45.5%	15.2%	10.7%	0.6%	1.1%
60歳代	216	31.9%	47.2%	15.3%	3.7%	1.4%	0.5%
70歳代	178	39.9%	43.3%	10.7%	3.9%	0.6%	1.7%
80歳代	83	38.6%	48.2%	8.4%	2.4%	1.2%	1.2%
職業別							
会社員	357	23.2%	47.1%	20.2%	9.0%	0.6%	0.0%
自営業	74	24.3%	55.4%	14.9%	4.1%	0.0%	1.4%
農林漁業	12	25.0%	16.7%	25.0%	16.7%	16.7%	0.0%
公務員	75	20.0%	52.0%	16.0%	9.3%	0.0%	2.7%
学生	21	19.0%	61.9%	19.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	350	38.0%	44.3%	11.1%	4.3%	1.1%	1.1%
その他	144	25.0%	43.8%	21.5%	9.0%	0.0%	0.7%
地区別							
中央区	272	29.8%	47.8%	14.3%	6.6%	1.5%	0.0%
東区	273	28.2%	46.9%	16.1%	8.1%	0.4%	0.4%
西区	127	29.9%	40.9%	18.9%	8.7%	0.8%	0.8%
南区	175	25.1%	46.9%	17.7%	8.0%	0.6%	1.7%
北区	189	28.6%	46.6%	18.5%	4.2%	0.5%	1.6%

問3. 熊本市の街なかに緑が多いと感じますか。(1つだけ)

「やや感じる」が46.8%と最も高く、次いで「とても感じる」が27.6%、「どちらともいえない」が12.9%となっている。

前回調査と比較すると、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は74.4%で、7.6ポイント上昇している。

過去5年間の推移では、「とても感じる」と回答した割合が最も高く、「全く感じない」と回答した割合が最も少なくなっている。なお、「とても感じる」、「やや感じる」を合わせた割合は最も高くなった。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は70歳代が83.1%と最も高く、次いで80歳代（79.5%）、60歳代（79.1%）となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は公務員と無職が80.0%と最も高く、次いでその他（79.1%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は中央区が76.8%と最も高く、次いで北区（75.6%）、西区（74.8%）となっている。

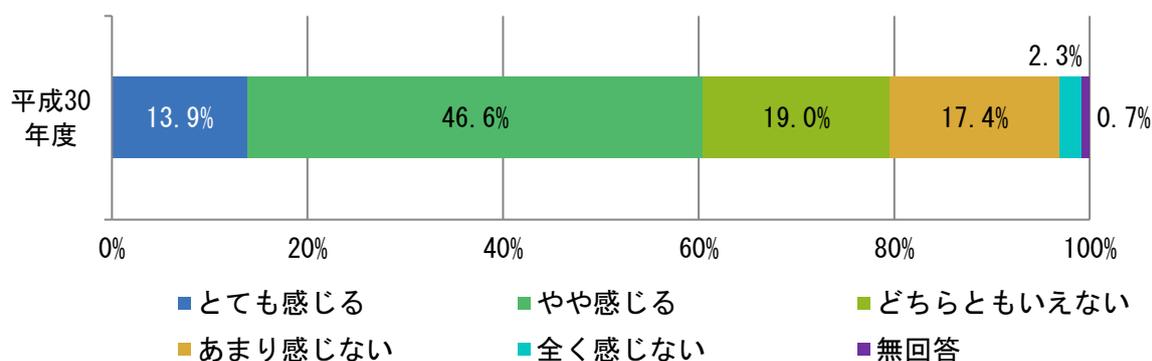
■属性別回答

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1,068	27.6%	46.8%	12.9%	11.6%	0.7%	0.4%
年齢別							
20歳代	85	17.6%	56.5%	9.4%	15.3%	1.2%	0.0%
30歳代	137	15.3%	45.3%	16.1%	22.6%	0.7%	0.0%
40歳代	163	25.8%	45.4%	14.7%	12.9%	1.2%	0.0%
50歳代	178	26.4%	47.2%	13.5%	12.9%	0.0%	0.0%
60歳代	216	33.3%	45.8%	12.5%	6.5%	1.4%	0.5%
70歳代	178	37.6%	45.5%	10.1%	6.2%	0.0%	0.6%
80歳代	83	26.5%	53.0%	10.8%	9.6%	0.0%	0.0%
職業別							
会社員	357	20.7%	47.3%	15.1%	16.5%	0.3%	0.0%
自営業	74	25.7%	41.9%	18.9%	13.5%	0.0%	0.0%
農林漁業	12	41.7%	33.3%	0.0%	16.7%	8.3%	0.0%
公務員	75	26.7%	53.3%	9.3%	9.3%	1.3%	0.0%
学生	21	33.3%	38.1%	19.0%	9.5%	0.0%	0.0%
無職	350	32.0%	48.0%	10.6%	8.6%	0.6%	0.3%
その他	144	33.3%	45.8%	11.1%	7.6%	1.4%	0.7%
地区別							
中央区	272	21.7%	55.1%	12.1%	9.2%	1.8%	0.0%
東区	273	33.0%	39.6%	15.4%	11.7%	0.4%	0.0%
西区	127	32.3%	42.5%	9.4%	15.0%	0.0%	0.8%
南区	175	28.0%	46.3%	12.0%	13.1%	0.6%	0.0%
北区	189	24.3%	51.3%	12.2%	11.6%	0.0%	0.5%

問4. 熊本市の地域ごとに、特色ある街並み（街並みや自然の風景）があると感ずるか。（1つだけ）

「やや感じる」が46.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が19.0%。「あまり感じない」が17.4%となっている。

「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は60.5%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は80歳代が71.0%と最も高く、次いで20歳代（67.1%）、70歳代（61.3%）となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は公務員が66.7%と最も高く、次いでその他（63.8%）、無職（62.6%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は南区が64.0%と最も高く、次いで西区と北区（63.0%）となっている。

■属性別回答

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1,068	13.9%	46.6%	19.0%	17.4%	2.3%	0.7%
年齢別							
20歳代	85	11.8%	55.3%	18.8%	14.1%	0.0%	0.0%
30歳代	137	16.1%	43.8%	17.5%	16.8%	5.8%	0.0%
40歳代	163	15.3%	44.2%	19.6%	16.6%	4.3%	0.0%
50歳代	178	12.9%	42.7%	21.3%	21.3%	1.7%	0.0%
60歳代	216	14.4%	44.9%	19.9%	19.0%	0.5%	1.4%
70歳代	178	13.5%	47.8%	17.4%	17.4%	2.2%	1.7%
80歳代	83	12.0%	59.0%	18.1%	9.6%	1.2%	0.0%
職業別							
会社員	357	10.4%	48.2%	19.0%	19.0%	3.4%	0.0%
自営業	74	6.8%	45.9%	20.3%	23.0%	2.7%	1.4%
農林漁業	12	8.3%	41.7%	8.3%	33.3%	8.3%	0.0%
公務員	75	16.0%	50.7%	18.7%	14.7%	0.0%	0.0%
学生	21	14.3%	42.9%	38.1%	4.8%	0.0%	0.0%
無職	350	16.3%	46.3%	19.1%	15.7%	1.7%	0.9%
その他	144	19.4%	44.4%	17.4%	15.3%	2.1%	1.4%
地区別							
中央区	272	10.3%	44.9%	23.2%	19.1%	1.8%	0.7%
東区	273	17.6%	44.3%	17.6%	18.3%	2.2%	0.0%
西区	127	16.5%	46.5%	16.5%	14.2%	3.9%	2.4%
南区	175	16.6%	47.4%	18.3%	16.6%	1.1%	0.0%
北区	189	10.6%	52.4%	17.5%	15.9%	3.2%	0.5%

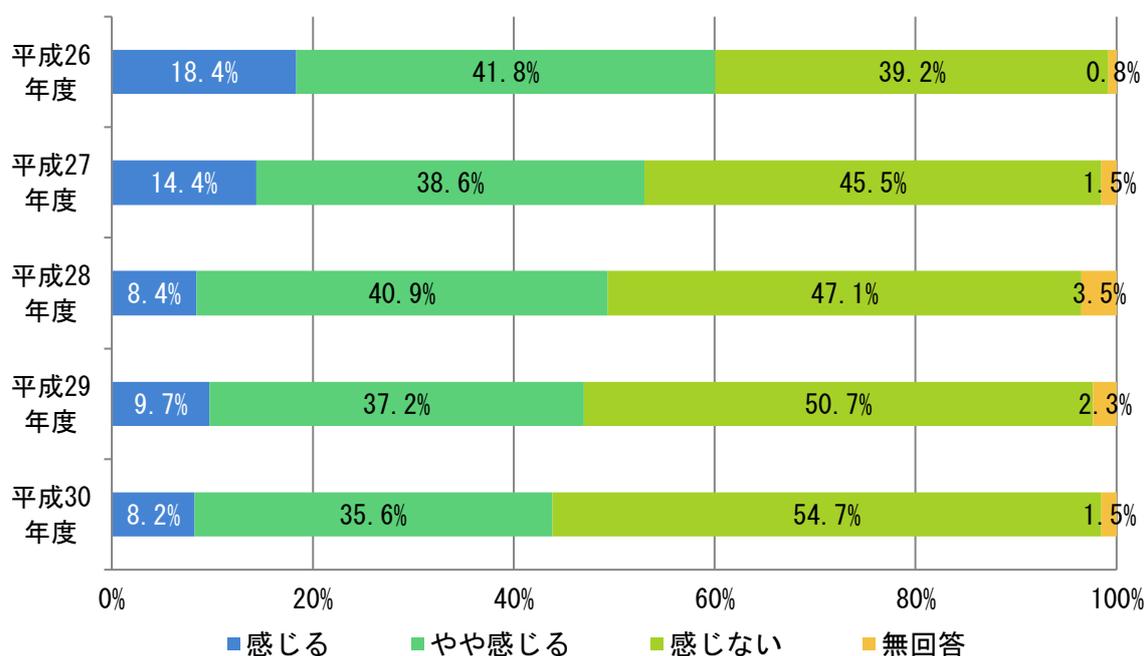
■「ひとづくりプロジェクト」について

問5. 環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。（1つだけ）

「感じない」が54.7%と最も高く、次いで「やや感じる」が35.6%、「感じる」が8.2%となっている。

前回調査と比較すると、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は43.8%で、3.1ポイント減少している。

過去5年間の推移では、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合が平成26年度の60.2%から平成30年度では43.8%まで減少しており、毎年減少している。学習会やイベント等の機会が十分ではないと感じている市民が多くなってきていることがうかがえる。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は80歳代が56.6%と最も高く、次いで60歳代、70歳代（52.3%）となっている。

職業別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は農林漁業が58.3%と最も高く、次いで公務員（49.3%）、無職（49.2%）となっている。

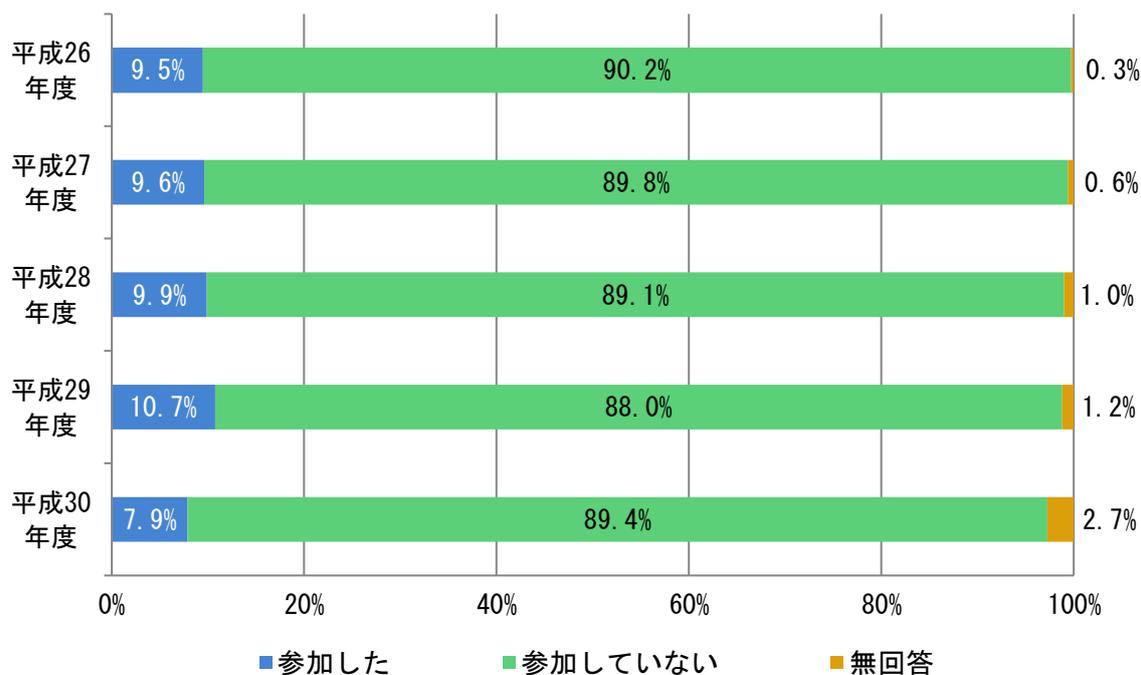
地区別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は北区が48.6%と最も高く、次いで西区（45.7%）、南区（44.6%）となっている。

■属性別回答

	合計	感じる	やや感じる	感じない	無回答
全体	1,068	8.2%	35.6%	54.7%	1.5%
年齢別					
20歳代	85	4.7%	24.7%	70.6%	0.0%
30歳代	137	5.1%	24.8%	70.1%	0.0%
40歳代	163	6.1%	32.5%	60.7%	0.6%
50歳代	178	10.1%	33.1%	56.2%	0.6%
60歳代	216	6.9%	45.4%	46.3%	1.4%
70歳代	178	13.5%	38.8%	44.4%	3.4%
80歳代	83	9.6%	47.0%	39.8%	3.6%
職業別					
会社員	357	7.3%	29.4%	62.7%	0.6%
自営業	74	9.5%	35.1%	54.1%	1.4%
農林漁業	12	25.0%	33.3%	41.7%	0.0%
公務員	75	4.0%	45.3%	50.7%	0.0%
学生	21	9.5%	28.6%	61.9%	0.0%
無職	350	10.9%	38.3%	48.9%	2.0%
その他	144	4.2%	42.4%	50.7%	2.8%
地区別					
中央区	272	8.5%	32.0%	58.5%	1.1%
東区	273	8.4%	35.9%	53.8%	1.8%
西区	127	6.3%	39.4%	52.8%	1.6%
南区	175	12.0%	32.6%	54.9%	0.6%
北区	189	6.3%	42.3%	49.7%	1.6%

問6. この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。(1つだけ)

「参加していない」が89.4%と「参加した」の7.9%を大きく上回っている。
前回調査と比較すると、「参加した」の割合は2.8ポイント減少している。
過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「参加した」は70歳代が13.5%と最も高く、次いで60歳代（10.2%）、50歳代（10.1%）となっている。

職業別：「参加した」は公務員が13.3%と最も高く、次いでその他（9.0%）、農林漁業（8.3%）となっている。

地区別：「参加した」は南区が10.3%と最も高く、次いで西区（8.7%）、東区（7.7%）となっている。

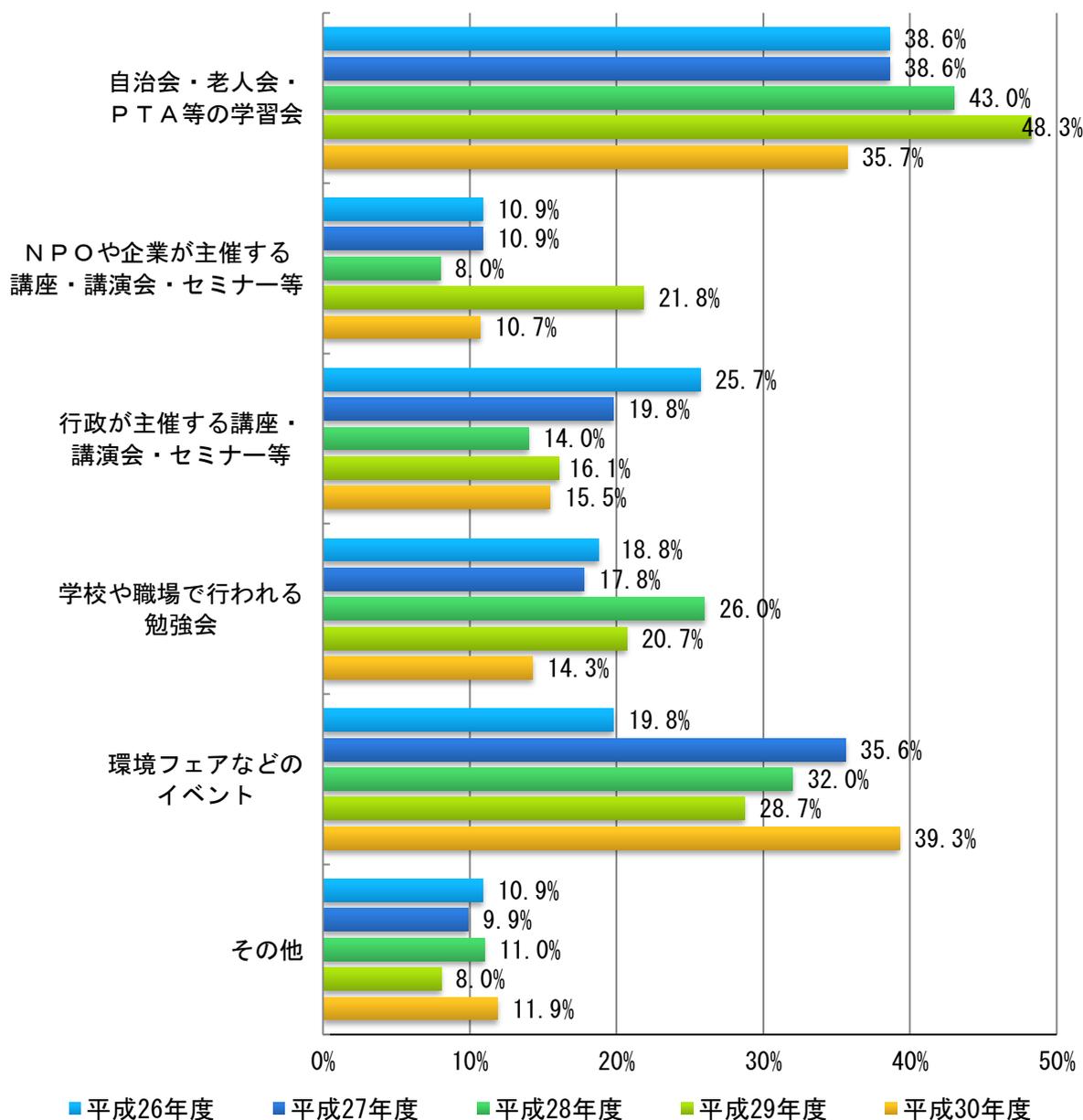
■属性別回答

	合計	参加した	参加していない	無回答
全体	1,068	7.9%	89.4%	2.7%
年齢別				
20歳代	85	3.5%	95.3%	1.2%
30歳代	137	4.4%	94.9%	0.7%
40歳代	163	3.7%	93.3%	3.1%
50歳代	178	10.1%	86.5%	3.4%
60歳代	216	10.2%	88.0%	1.9%
70歳代	178	13.5%	83.1%	3.4%
80歳代	83	4.8%	91.6%	3.6%
職業別				
会社員	357	7.0%	91.3%	1.7%
自営業	74	6.8%	91.9%	1.4%
農林漁業	12	8.3%	83.3%	8.3%
公務員	75	13.3%	82.7%	4.0%
学生	21	4.8%	95.2%	0.0%
無職	350	8.0%	88.3%	3.7%
その他	144	9.0%	89.6%	1.4%
地区別				
中央区	272	7.4%	92.3%	0.4%
東区	273	7.7%	90.1%	2.2%
西区	127	8.7%	84.3%	7.1%
南区	175	10.3%	87.4%	2.3%
北区	189	7.4%	89.4%	3.2%

問6-1. (問6. で「参加した」と答えられた方) どのような環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。(複数回答可)

問6. で「参加した」と回答した84人については、「環境フェアなどのイベント」が39.3%と最も高く、次いで「自治会・老人会・PTA等の学習会」が35.7%、「行政が主催する講座・講演会・セミナー等」が15.5%となっている。

前回調査との比較や過去5年間の推移では、「環境フェアなどのイベント」が前回調査から増加しており、平成25年度と比較しても増加している。



【参考】

【その他について】

環境の日や環境月間での省エネ活動、ボランティア活動（清掃、植林）

【回答者の属性別にみた結果】

※母数が少ないため分析は行わないが、結果は以下に示すとおりである。

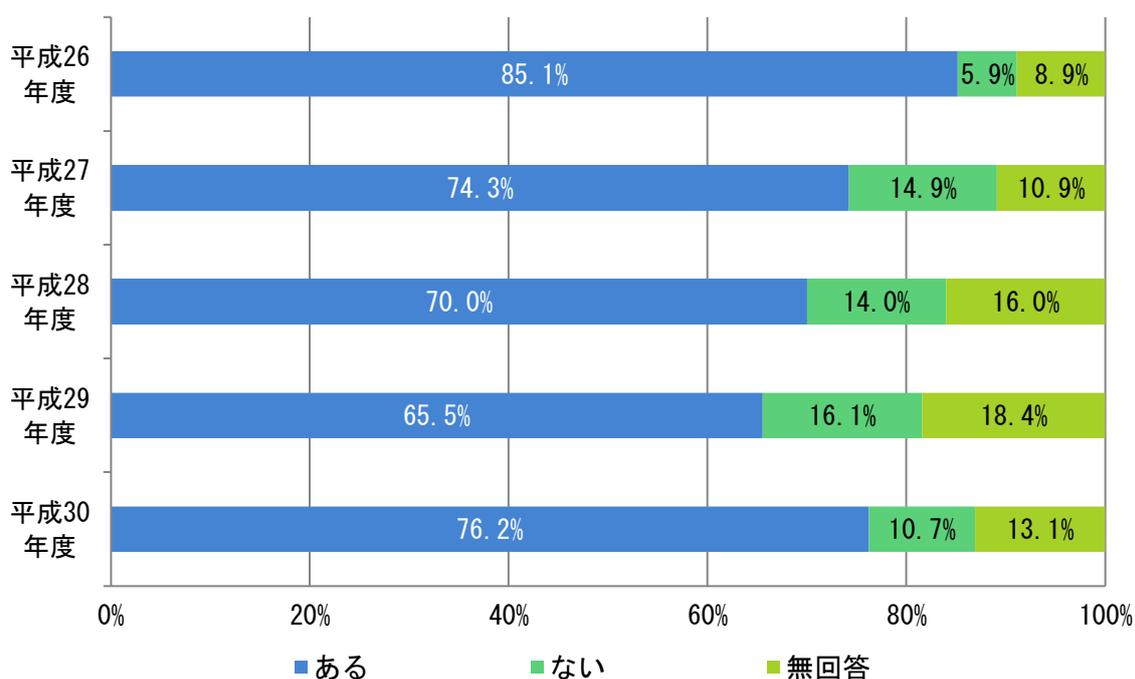
■属性別回答

	合計	自治会・老人会・PTA等の 学習会	NPOや企業が主催する 講座・講演会・セミナー等	行政が主催する 講座・講演会・セミナー等	学校や職場で行われる 勉強会	環境フェアなどのイベント	その他
全体	84	35.7%	10.7%	15.5%	14.3%	39.3%	11.9%
年齢別							
20歳代	3	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%
30歳代	6	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	0.0%
40歳代	6	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%	66.7%	0.0%
50歳代	18	22.2%	5.6%	5.6%	33.3%	38.9%	16.7%
60歳代	22	31.8%	22.7%	13.6%	0.0%	50.0%	9.1%
70歳代	24	50.0%	8.3%	29.2%	4.2%	33.3%	12.5%
80歳代	4	75.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%
職業別							
会社員	25	24.0%	20.0%	12.0%	24.0%	28.0%	20.0%
自営業	5	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	100.0%	0.0%
農林漁業	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	10	10.0%	10.0%	0.0%	50.0%	50.0%	10.0%
学生	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
無職	28	60.7%	7.1%	21.4%	0.0%	42.9%	7.1%
その他	13	23.1%	0.0%	30.8%	0.0%	30.8%	7.7%
地区別							
中央区	20	20.0%	25.0%	5.0%	25.0%	30.0%	15.0%
東区	21	28.6%	0.0%	9.5%	14.3%	52.4%	23.8%
西区	11	45.5%	0.0%	27.3%	18.2%	54.5%	9.1%
南区	18	44.4%	11.1%	11.1%	5.6%	33.3%	0.0%
北区	14	50.0%	14.3%	35.7%	7.1%	28.6%	7.1%

問6-2. (問6. で「参加した」と答えられた方) 参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動(活動)はありますか。また、あるとしたらどういったことですか。(1つだけ)

問6. で「参加した」と回答した84人については、「ある」が76.2%と、「ない」の10.7%を大きく上回っている。

しかしながら、前回調査との比較や過去5年間の推移では、「ある」が平成26年度の85.1%から減少傾向にあったが、平成30年度は76.2%と増加に転じている。



【参考】

実践している内容

- ・ 地下水保全 (こまめな蛇口の開け閉め、雨水浸透ますや駐車場の芝生化、植樹・下草刈り)
- ・ 自治会活動への参加 (町内一斉清掃、廃品回収、公園愛護会活動、花苗整備)
- ・ プラスチック対策 (マイバッグの持参、リユース食器の利用)
- ・ 廃棄物削減 (ごみの分別、食品ロスを意識)
- ・ エネルギー使用量削減 (節電、経済速度での車の運転、太陽光設備の導入)
- ・ その他 (自然や星空の観察、油を下水道に流さない工夫)

【回答者の属性別にみた結果】

※母数が少ないため分析は行わないが、結果は次ページに示すとおりである。

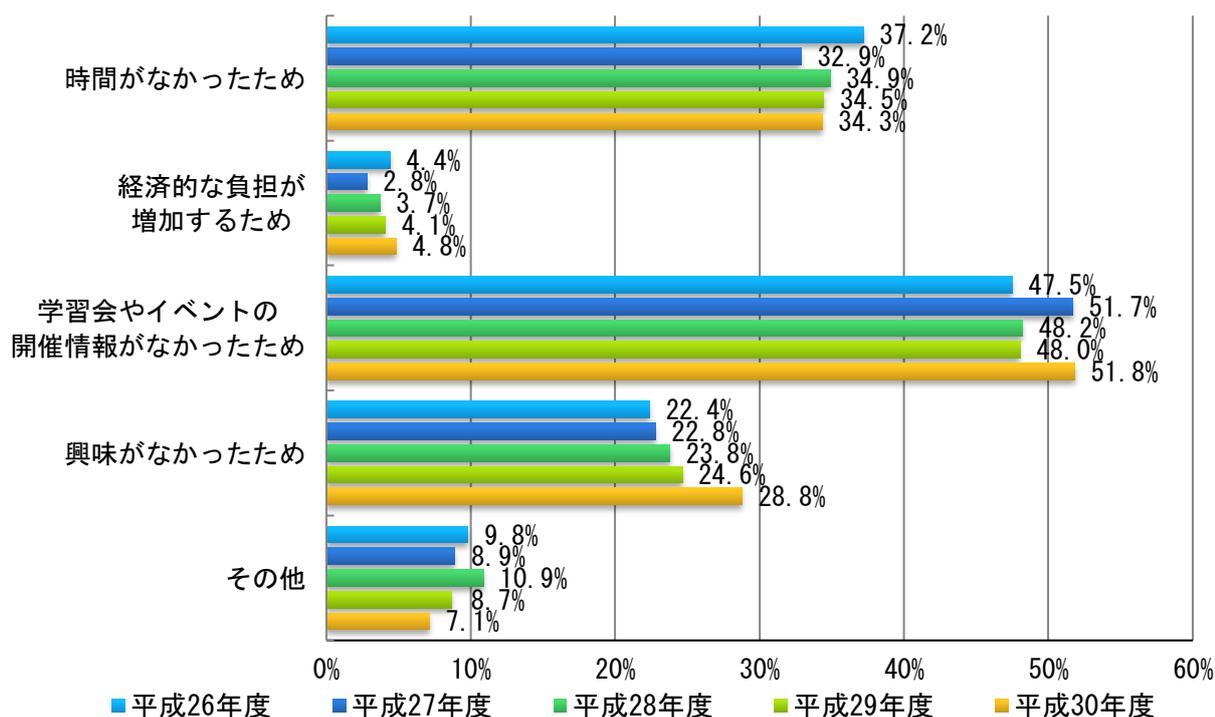
■属性別回答

	合計	ある	ない	無回答
全体	84	76.2%	10.7%	13.1%
年齢別				
20歳代	3	66.7%	0.0%	33.3%
30歳代	6	83.3%	0.0%	16.7%
40歳代	6	66.7%	16.7%	16.7%
50歳代	18	66.7%	16.7%	16.7%
60歳代	22	72.7%	9.1%	13.6%
70歳代	24	87.5%	8.3%	4.2%
80歳代	4	100.0%	0.0%	0.0%
職業別				
会社員	25	68.0%	8.0%	24.0%
自営業	5	100.0%	0.0%	0.0%
農林漁業	1	100.0%	0.0%	0.0%
公務員	10	80.0%	10.0%	10.0%
学生	1	100.0%	0.0%	0.0%
無職	28	78.6%	14.3%	3.6%
その他	13	76.9%	7.7%	15.4%
地区別				
中央区	20	75.0%	20.0%	5.0%
東区	21	76.2%	9.5%	9.5%
西区	11	81.8%	0.0%	18.2%
南区	18	83.3%	0.0%	16.7%
北区	14	64.3%	21.4%	14.3%

問6-3. (問6. で「参加していない」と答えられた方) 参加しなかった理由は何ですか。(複数回答可)

問6. で「参加していない」と回答した955人については、「学習会やイベントの開催情報がなかったため」が51.8%と最も高く、次いで「時間がなかったため」が34.3%、「興味がなかったため」が28.8%となっている。

前回調査との比較や過去5年間の推移では、「興味がなかったため」の割合が上昇している。



【参考】

「その他」の内容

- ・親族の介護や、障がい、高齢等で参加できない。
- ・参加する意義を感じない。
- ・参加の条件に合わない（親子での参加が条件だったり、小学生未満の子どもは参加できなかったりなど）。
- ・参加しづらさを感じた（一緒に参加するような関心のある知人がいない）。

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「時間がなかったため」は30歳代が40.0%と最も高く、「経済的な負担が増加するため」は70歳代が7.4%、「学習会やイベントの開催情報がなかったため」、「興味がなかったため」は、20歳代が55.6%、49.4%と最も高くなっている。

職業別：「時間がなかったため」は農林漁業が50%と最も高く、「経済的な負担が増加するため」、「興味がなかったため」は学生が10.0%、50.0%、「学習会やイベ

ントの開催情報がなかったため」は会社員が 54.3%と最も高くなっている。
 地区別：「時間がなかったため」は中央区が 37.5%と最も高く、「経済的な負担が増加するため」は、西区が 6.5%、「学習会やイベントの開催情報がなかったため」は、中央区が 53.8%、「興味がなかったため」は、南区が 35.3%、と最も高くなっている。

■属性別回答

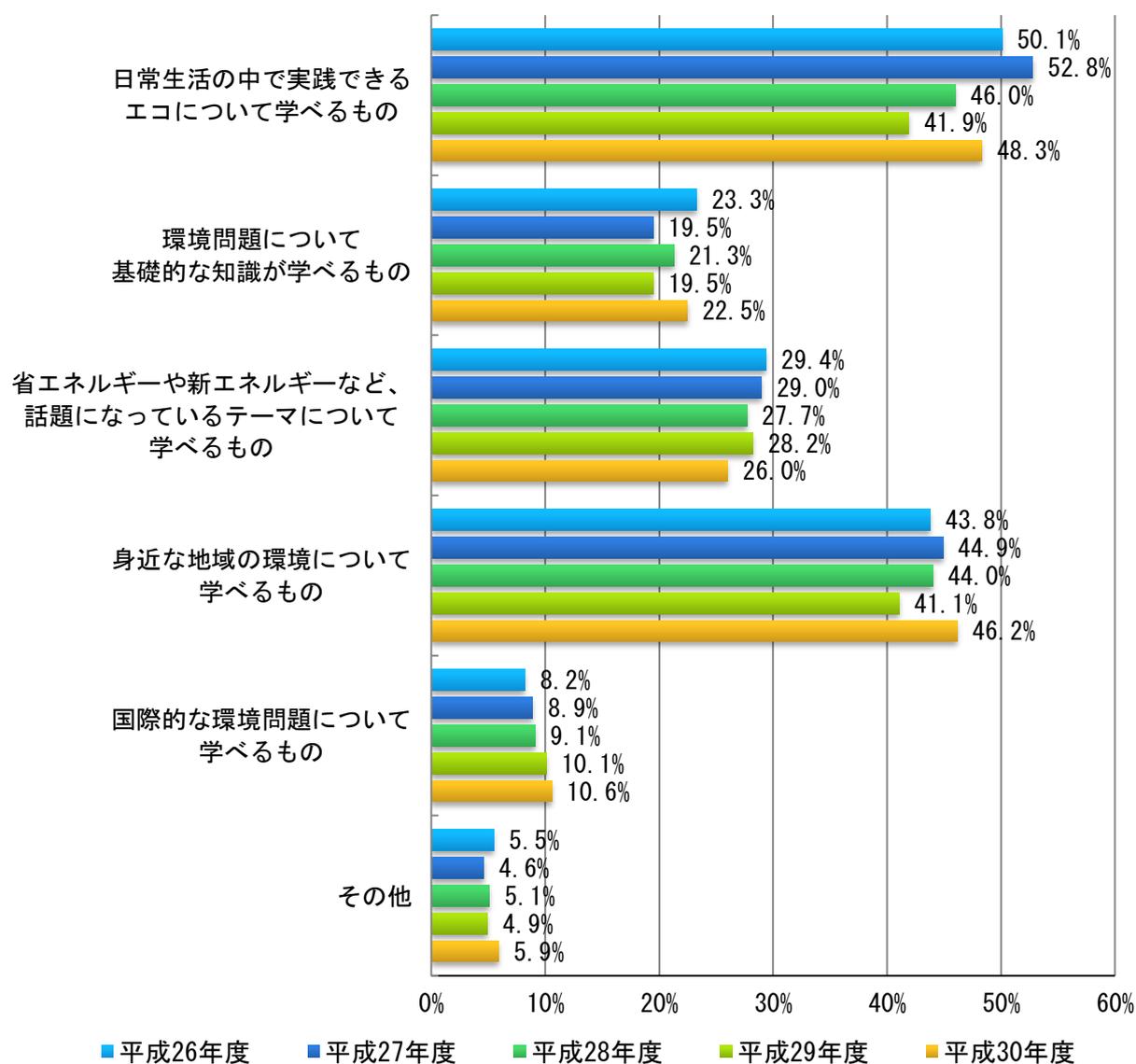
	合計	時間がなかったため	経済的な負担が増加するため	学習会やイベントの開催情報がなかったため	興味がなかったため	その他
全体	955	34.3%	4.8%	51.8%	28.8%	7.1%
年齢別						
20歳代	81	33.3%	4.9%	55.6%	49.4%	4.9%
30歳代	130	40.0%	6.9%	51.5%	40.8%	5.4%
40歳代	152	36.8%	0.7%	52.6%	32.9%	3.3%
50歳代	154	39.0%	5.2%	55.2%	32.5%	4.5%
60歳代	190	37.4%	3.7%	50.0%	18.4%	8.4%
70歳代	148	23.0%	7.4%	54.1%	19.6%	8.8%
80歳代	76	27.6%	3.9%	36.8%	19.7%	18.4%
職業別						
会社員	326	43.6%	4.3%	54.3%	33.1%	4.0%
自営業	68	41.2%	2.9%	48.5%	22.1%	5.9%
農林漁業	10	50.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%
公務員	62	38.7%	0.0%	45.2%	35.5%	3.2%
学生	20	35.0%	10.0%	45.0%	50.0%	5.0%
無職	309	21.4%	6.1%	51.1%	23.0%	11.7%
その他	129	35.7%	3.9%	53.5%	32.6%	5.4%
地区別						
中央区	251	37.5%	4.0%	53.8%	27.1%	8.8%
東区	246	32.1%	5.3%	52.8%	31.3%	6.5%
西区	107	31.8%	6.5%	53.3%	19.6%	5.6%
南区	153	34.0%	5.2%	44.4%	35.3%	9.2%
北区	169	34.9%	3.0%	51.5%	30.2%	4.7%

問7. 今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。(複数回答可)

「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」が48.3%と最も高く、次いで「身近な地域の環境について学べるもの」が46.2%、「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」が26.0%となっている。

前回調査と比較すると、順位や割合に大きな変化はみられない。

過去5年間の推移では、「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」や、「身近な地域の環境について学べるもの」が毎年上位を占めており、市民の生活に密着した内容のものが求められていることがうかがえる。



【参考】

「その他」の内容

- ・ マイクロプラスチック問題
- ・ 海外の一般家庭でのエコな取組

- ・ 地下水保全
- ・ 環境に関する市の施策についての説明
- ・ ごみ処理やごみの最終処分
- ・ FIT（再生可能エネルギーの固定価格買取制度）終了の問題
- ・ 演劇や映画、子育てなどと一緒に環境について学べると良い。
- ・ 時間を割いてまで参加したいと思わない。

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」は30歳代が58.4%と最も高く、「環境問題について基礎的な知識が学べるもの」、「身近な地域の環境について学べるもの」は60歳代が26.9%、50.9%と最も高く、「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」、「国際的な環境問題について学べるもの」は20歳代が35.3%、17.6%と最も高くなっている。

職業別：「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」はその他が52.1%と最も高く、「環境問題について基礎的な知識が学べるもの」、「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」は自営業が28.4%、36.5%と最も高く、「身近な地域の環境について学べるもの」は学生が57.1%、「国際的な環境問題について学べるもの」は公務員が21.3%とそれぞれ最も高くなっている。

地区別：「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」は北区が56.1%と最も高く、「環境問題について基礎的な知識が学べるもの」は西区が27.6%、「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」、「身近な地域の環境について学べるもの」は南区が28.6%、49.1%、「国際的な環境問題について学べるもの」は中央区が13.2%とそれぞれ最も高くなっている。

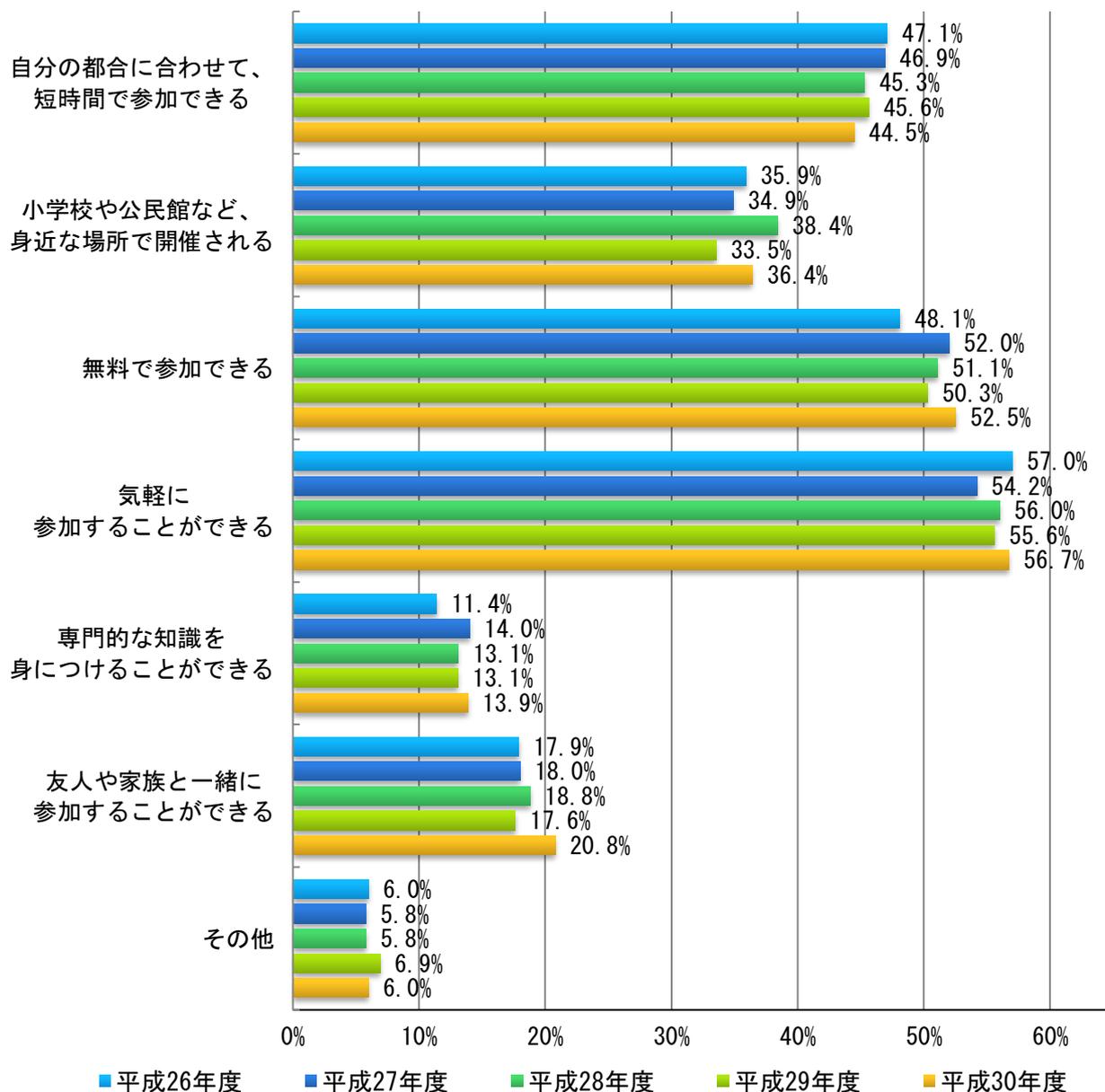
■属性別回答

	合計	日常生活の中で実践できる エコについて学べるもの	基礎的な知識が学べるもの 環境問題について	省エネルギーや新エネルギーなど、 話題になっているテーマについて 学べるもの	身近な地域の環境について 学べるもの	国際的な環境問題について 学べるもの	その他
全体	1,068	48.3%	22.5%	26.0%	46.2%	10.6%	5.9%
年齢別							
20歳代	85	47.1%	12.9%	35.3%	43.5%	17.6%	4.7%
30歳代	137	58.4%	15.3%	26.3%	42.3%	8.0%	9.5%
40歳代	163	51.5%	24.5%	28.8%	39.9%	11.7%	7.4%
50歳代	178	48.3%	25.8%	26.4%	50.6%	14.6%	4.5%
60歳代	216	46.3%	26.9%	27.8%	50.9%	11.1%	4.2%
70歳代	178	49.4%	25.3%	23.0%	48.3%	7.3%	5.1%
80歳代	83	31.3%	19.3%	14.5%	36.1%	3.6%	8.4%
職業別							
会社員	357	51.8%	21.0%	29.4%	47.1%	13.2%	5.6%
自営業	74	50.0%	28.4%	36.5%	50.0%	8.1%	4.1%
農林漁業	12	25.0%	8.3%	16.7%	50.0%	8.3%	25.0%
公務員	75	40.0%	20.0%	32.0%	38.7%	21.3%	4.0%
学生	21	42.9%	23.8%	33.3%	57.1%	19.0%	9.5%
無職	350	46.3%	26.3%	22.6%	47.7%	6.6%	4.9%
その他	144	52.1%	18.1%	19.4%	38.2%	9.0%	9.0%
地区別							
中央区	272	46.3%	22.1%	28.3%	46.0%	13.2%	8.5%
東区	273	44.0%	20.9%	24.5%	44.7%	9.9%	6.6%
西区	127	47.2%	27.6%	23.6%	46.5%	12.6%	3.1%
南区	175	52.0%	25.1%	28.6%	49.1%	7.4%	7.4%
北区	189	56.1%	20.6%	24.9%	43.4%	9.5%	2.1%

問8. どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したいと思いますか。(複数回答可)

「気軽に参加することができる」が56.7%と最も高く、次いで「無料で参加できる」が52.5%、「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」が44.5%となっている。

過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・ テレビやインターネット
- ・ ノベルティ（ごみ袋）の配布やアイドルなどの出演があったら参加したい
- ・ 日常生活に直結し生活費が下がるような内容
- ・ 何回か行けば資格が取れるといった講座

- ・ 託児サービスがある
- ・ 職場などへの出前講座
- ・ 食のイベントなど参加しやすいものの中に1つのコーナーとしてあれば
- ・ 子どもが行きたいと思ってくれるような内容

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」、「無料で参加できる」、「友人や家族と一緒に参加することができる」は30歳代がそれぞれ54.7%、67.9%、42.3%と最も高く、「小学校や公民館など身近な場所で開催される」は70歳代が47.2%、「気軽に参加することができる」は20歳代が69.4%、「専門的な知識を身につけることができる」は50歳代が19.7%とそれぞれ最も高くなっている。

職業別：「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」は学生が52.4%と最も高く、「小学校や公民館など身近な場所で開催される」は農林漁業が50.0%、「無料で参加できる」は会社員が58.0%、「気軽に参加することができる」は学生が71.4%、「専門的な知識を身につけることができる」、「友人や家族と一緒に参加することができる」は自営業が20.3%、25.7%とそれぞれ最も高くなっている。

地区別：「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」、「無料で参加できる」、「友人や家族と一緒に参加することができる」は南区がそれぞれ49.7%、57.7%、28.0%と最も高く、「小学校や公民館など身近な場所で開催される」、「気軽に参加することができる」、「専門的な知識を身につけることができる」は西区がそれぞれ40.2%、59.8%、19.7%と最も高くなっている。

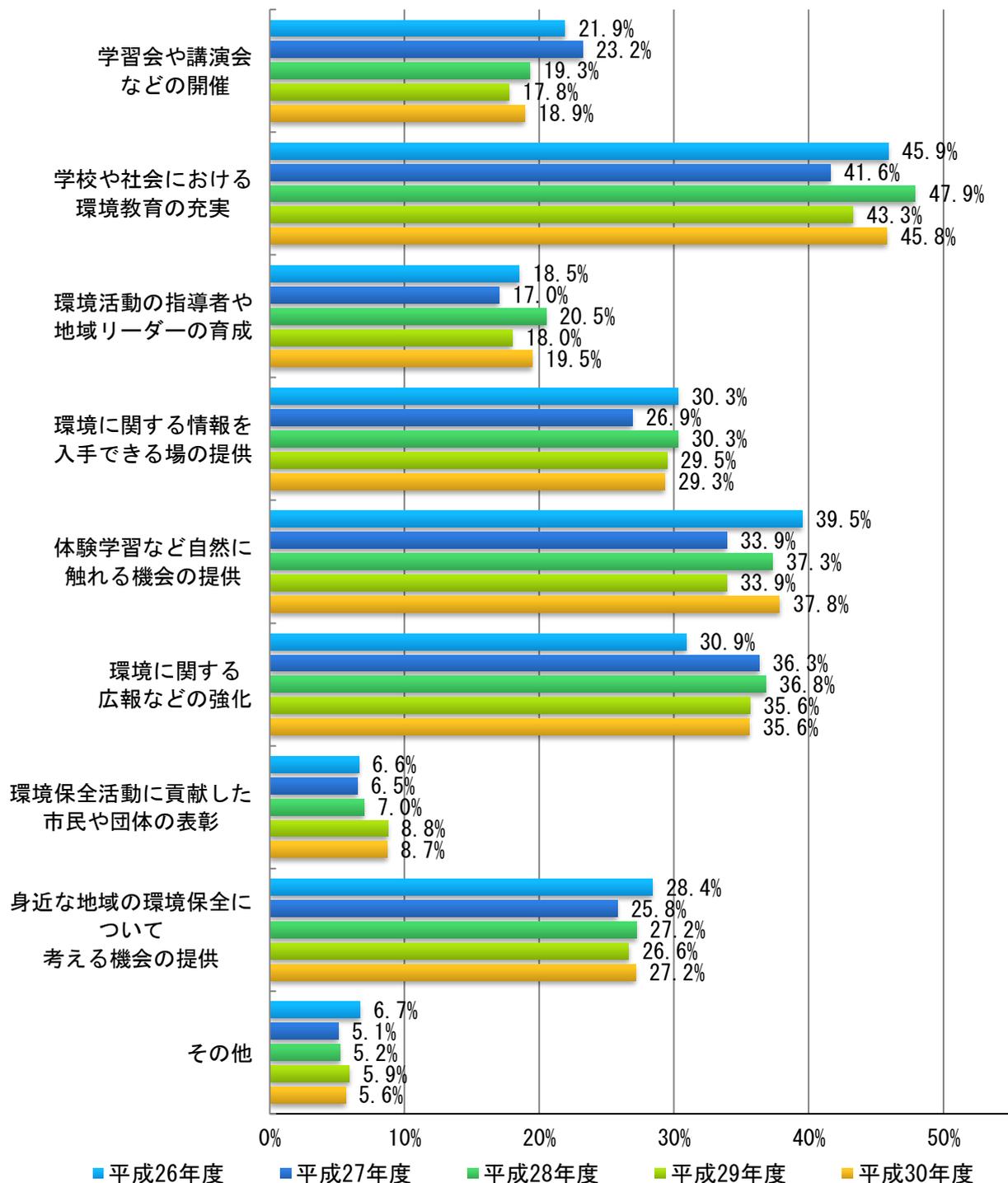
■属性別回答

	合計	自分の都合に合わせて、 短時間で参加できる	身近な場所で開催される 小学校や公民館など、	無料で参加できる	参加することができる 気軽に	身につけることができる 専門的な知識を	友人や家族と一緒に 参加することができる	その他
全体	1,068	44.5%	36.4%	52.5%	56.7%	13.9%	20.8%	6.0%
年齢別								
20歳代	85	50.6%	17.6%	63.5%	69.4%	11.8%	21.2%	8.2%
30歳代	137	54.7%	32.1%	67.9%	55.5%	14.6%	42.3%	7.3%
40歳代	163	47.2%	33.1%	63.2%	55.2%	14.7%	28.8%	6.7%
50歳代	178	52.2%	40.4%	56.7%	60.1%	19.7%	18.0%	6.2%
60歳代	216	40.7%	37.0%	47.2%	61.1%	12.0%	16.2%	4.6%
70歳代	178	36.0%	47.2%	42.7%	55.6%	13.5%	9.6%	3.9%
80歳代	83	33.7%	36.1%	22.9%	33.7%	8.4%	13.3%	7.2%
職業別								
会社員	357	51.8%	29.1%	58.0%	58.8%	16.2%	24.4%	7.3%
自営業	74	37.8%	44.6%	54.1%	55.4%	20.3%	25.7%	1.4%
農林漁業	12	16.7%	50.0%	33.3%	50.0%	16.7%	8.3%	8.3%
公務員	75	45.3%	37.3%	54.7%	58.7%	14.7%	17.3%	6.7%
学生	21	52.4%	23.8%	57.1%	71.4%	14.3%	19.0%	4.8%
無職	350	39.1%	41.4%	46.9%	55.7%	11.4%	15.7%	5.7%
その他	144	47.2%	38.2%	52.1%	53.5%	11.8%	25.0%	5.6%
地区別								
中央区	272	41.9%	34.2%	54.4%	58.8%	15.4%	19.5%	7.7%
東区	273	43.2%	37.7%	48.7%	56.0%	12.1%	20.5%	4.4%
西区	127	49.6%	40.2%	52.8%	59.8%	19.7%	17.3%	6.3%
南区	175	49.7%	38.9%	57.7%	53.7%	14.3%	28.0%	7.4%
北区	189	43.9%	34.4%	50.8%	55.6%	11.1%	19.6%	4.2%

問9. 市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取組を行えば効果的だと思いますか。(複数回答可)

「学校や社会における環境教育の充実」が45.8%と最も高くなっている。次いで「体験学習など自然に触れる機会の提供」が37.8%、「環境に関する広報などの強化」が35.6%となっている。

過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・ イベント（祭りやイベントなどへ市が出展する、環境保全をテーマとしたボランティアやチャリティーイベント）
- ・ 新しい規制など（不法投棄などの取り締まりの強化、市民への新たな負担、資源物持ち去りへの対応強化）
- ・ テレビCMやSNSでの情報発信
- ・ エコポイントの導入
- ・ 歴史的背景とともに残された自然を残して成功している都市の例など、環境保全が将来的に熊本の発展に直結する事例を示す
- ・ 緑を増やすことでもたらされるプラスの効果をデータ化

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：回答肢の中から一番選ばれたものについて、20歳代から70歳代は「学校や社会における環境教育の充実」が最も高くなっている。80歳代は「環境に関する広報などの強化」が最も高くなっている。

職業別：学生とその他は「体験学習など自然に触れる機会の提供」が最も高くなっており、それ以外は「学校や社会における環境教育の充実」が最も高くなっている。

地区別：全区ともに「学校や社会における環境教育の充実」が最も高くなっている。

■属性別回答

	合計	学習会や講演会などの開催	学校や社会における 環境教育の充実	地域リーダーの育成 環境活動の指導者や	入手できる場の提供 環境に関する情報を	体験学習など自然に触れる 機会の提供	環境に関する広報などの強化	市民や団体の表彰 環境保全活動に貢献した	身近な地域の環境保全について 考える機会の提供	その他
全体	1,068	18.9%	45.8%	19.5%	29.3%	37.8%	35.6%	8.7%	27.2%	5.6%
年齢別										
20歳代	85	15.3%	51.8%	17.6%	18.8%	49.4%	29.4%	24.7%	18.8%	5.9%
30歳代	137	13.1%	49.6%	9.5%	29.9%	48.2%	28.5%	10.2%	24.8%	7.3%
40歳代	163	13.5%	57.7%	17.8%	27.0%	42.3%	39.9%	7.4%	23.3%	9.8%
50歳代	178	20.8%	46.1%	18.5%	36.5%	38.2%	37.1%	11.2%	37.1%	5.1%
60歳代	216	22.7%	43.5%	22.7%	34.7%	35.2%	37.0%	5.6%	31.0%	5.1%
70歳代	178	22.5%	42.1%	24.7%	27.5%	32.6%	37.1%	3.9%	26.4%	3.4%
80歳代	83	21.7%	26.5%	26.5%	15.7%	18.1%	33.7%	7.2%	16.9%	3.6%
職業別										
会社員	357	17.1%	49.3%	17.6%	35.3%	40.6%	35.3%	11.2%	27.7%	5.9%
自営業	74	16.2%	52.7%	20.3%	31.1%	47.3%	36.5%	9.5%	25.7%	8.1%
農林漁業	12	0.0%	58.3%	33.3%	25.0%	33.3%	41.7%	8.3%	25.0%	25.0%
公務員	75	17.3%	57.3%	16.0%	16.0%	42.7%	48.0%	10.7%	25.3%	4.0%
学生	21	23.8%	42.9%	28.6%	14.3%	61.9%	23.8%	38.1%	33.3%	4.8%
無職	350	22.3%	40.3%	22.6%	28.0%	28.6%	35.1%	5.1%	24.9%	4.6%
その他	144	18.1%	41.7%	18.1%	26.4%	43.1%	32.6%	6.3%	31.3%	6.3%
地区別										
中央区	272	19.1%	47.8%	19.1%	32.0%	37.5%	37.1%	10.7%	28.7%	8.8%
東区	273	17.9%	42.1%	20.1%	32.6%	40.7%	36.3%	8.8%	24.2%	5.1%
西区	127	24.4%	47.2%	18.1%	29.9%	31.5%	31.5%	4.7%	25.2%	3.9%
南区	175	21.7%	45.7%	22.9%	22.9%	37.7%	29.7%	12.0%	29.1%	5.1%
北区	189	13.8%	50.3%	18.5%	25.9%	38.6%	39.7%	5.8%	28.0%	4.2%

このページは空白です。

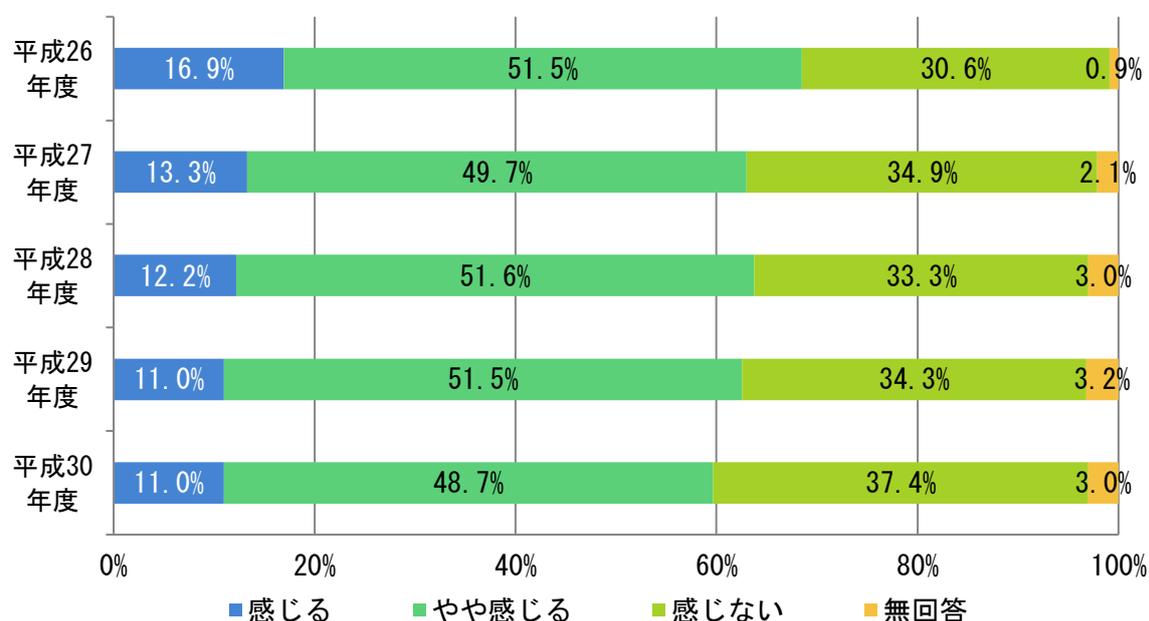
■「まちづくりプロジェクト」について

問10.（緑化活動、清掃活動、環境学習に関する活動など）環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。（1つだけ）

「やや感じる」が48.7%と最も高く、次いで「感じる」が37.4%、「感じる」が11.0%となっている。

前回調査と比較すると、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は59.7%と2.8ポイント減少している。

過去5年間の推移では、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、年々減少傾向にある。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は80歳代が68.7%と最も高く、次いで60歳代（68.0%）、70歳代（67.4%）となっている。

職業別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は農林漁業が83.3%と最も高く、次いで、無職（63.7%）、その他（61.8%）となっている。

地区別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は南区が65.7%と最も高く、次いで西区（65.4%）、北区（60.3%）となっている。

■属性別回答

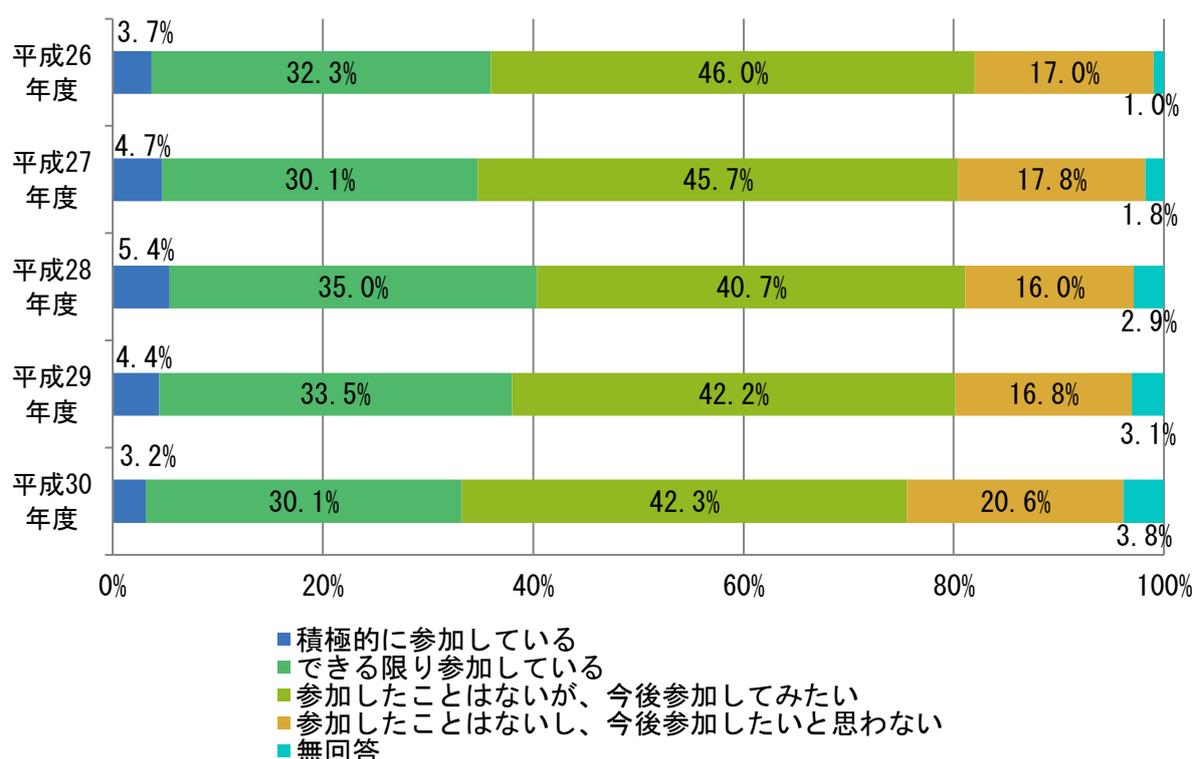
	合計	感じる	やや感じる	感じない	無回答
全体	1,068	11.0%	48.7%	37.4%	3.0%
年齢別					
20歳代	85	9.4%	35.3%	55.3%	0.0%
30歳代	137	4.4%	33.6%	61.3%	0.7%
40歳代	163	10.4%	48.5%	40.5%	0.6%
50歳代	178	11.2%	50.0%	37.1%	1.7%
60歳代	216	8.3%	59.7%	28.2%	3.7%
70歳代	178	17.4%	50.0%	29.2%	3.4%
80歳代	83	16.9%	51.8%	19.3%	12.0%
職業別					
会社員	357	8.1%	49.0%	42.9%	0.0%
自営業	74	10.8%	44.6%	41.9%	2.7%
農林漁業	12	25.0%	58.3%	16.7%	0.0%
公務員	75	8.0%	45.3%	46.7%	0.0%
学生	21	14.3%	28.6%	57.1%	0.0%
無職	350	14.3%	49.4%	30.3%	6.0%
その他	144	10.4%	51.4%	34.7%	3.5%
地区別					
中央区	272	8.5%	50.7%	38.2%	2.6%
東区	273	12.1%	41.4%	42.9%	3.7%
西区	127	12.6%	52.8%	33.1%	1.6%
南区	175	13.1%	52.6%	33.7%	0.6%
北区	189	10.6%	49.7%	34.9%	4.8%

問 1 1. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1つだけ)

「参加したことはないが、今後してみたい」が42.3%と最も高く、次いで「できる限り参加している」が30.1%、「参加したことはないし、今後もしたいと思わない」が20.6%となっている。

前回調査と比較すると、「参加したことはないし、今後参加したいと思わない」が3.8ポイント上昇、「積極的に参加している」、「できる限り参加している」は減少している。

過去5年間の推移では、各項目の割合に大きな変動はない。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は70歳代が42.7%と最も高く、次いで、60歳代（40.2%）、80歳代（38.5%）となっている。

職業別：「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は農林漁業が58.4%と最も高く、次いで、自営業（44.6%）、公務員（41.3%）となっている。

地区別：「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は北区が40.7%と最も高く、次いで、西区（39.3%）、南区（38.9%）となっている。

■属性別回答

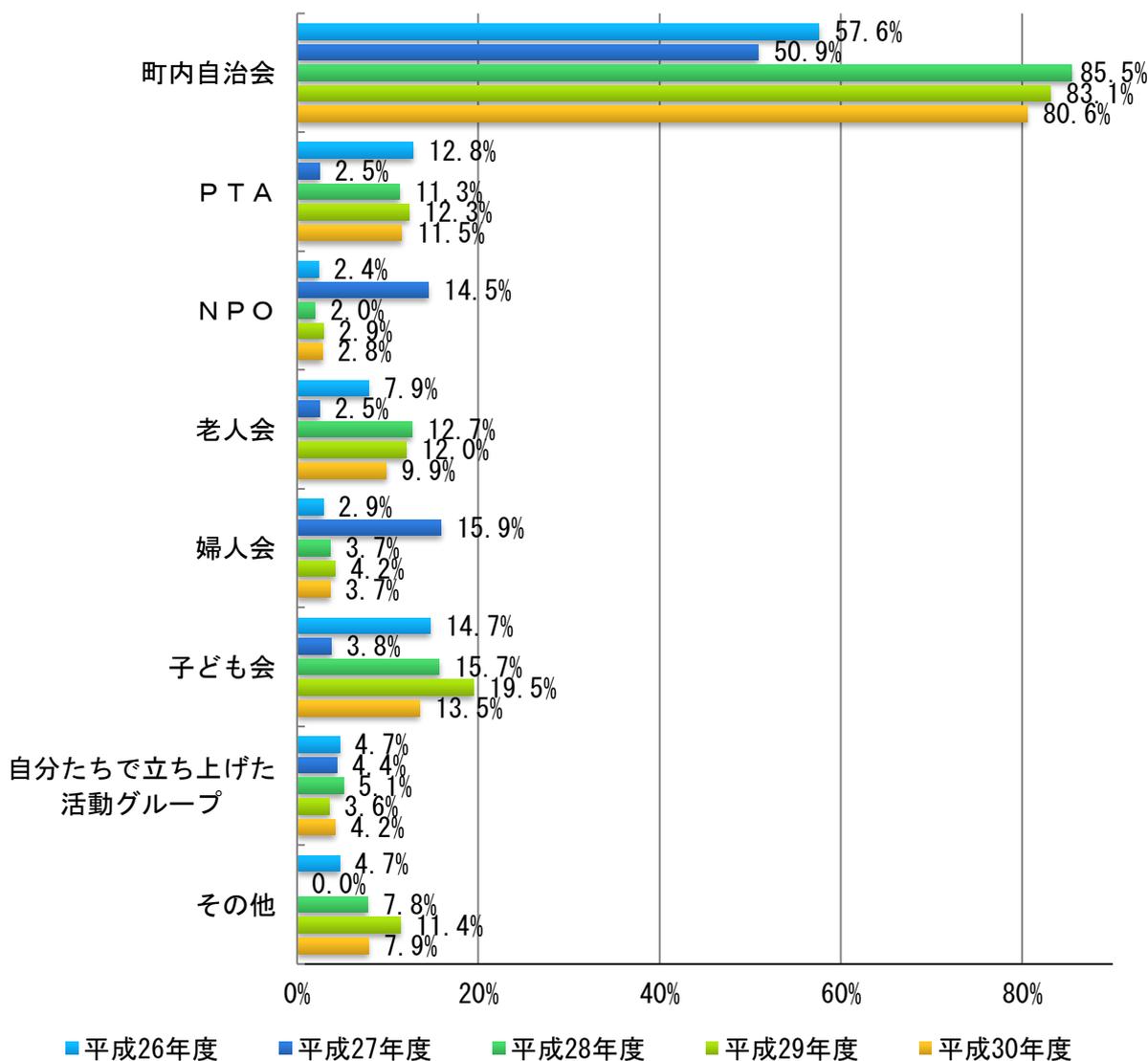
	合計	積極的に参加している	できる限り参加している	参加したことはないが、今後参加してみたい	参加したことはないし、今後参加したいと思わない	無回答
全体	1,068	3.2%	30.1%	42.3%	20.6%	3.8%
年齢別						
20歳代	85	2.4%	10.6%	51.8%	34.1%	1.2%
30歳代	137	0.7%	18.2%	53.3%	25.5%	2.2%
40歳代	163	3.1%	29.4%	44.8%	21.5%	1.2%
50歳代	178	0.6%	32.6%	40.4%	23.6%	2.8%
60歳代	216	4.6%	35.6%	43.1%	14.4%	2.3%
70歳代	178	7.3%	35.4%	35.4%	16.9%	5.1%
80歳代	83	2.4%	36.1%	27.7%	18.1%	15.7%
職業別						
会社員	357	1.4%	25.8%	48.2%	23.2%	1.4%
自営業	74	8.1%	36.5%	33.8%	17.6%	4.1%
農林漁業	12	16.7%	41.7%	25.0%	8.3%	8.3%
公務員	75	0.0%	41.3%	41.3%	17.3%	0.0%
学生	21	0.0%	4.8%	61.9%	33.3%	0.0%
無職	350	4.0%	31.7%	38.3%	18.9%	7.1%
その他	144	4.2%	29.9%	41.7%	22.2%	2.1%
地区別						
中央区	272	2.2%	25.0%	46.7%	23.5%	2.6%
東区	273	3.3%	24.5%	45.8%	23.8%	2.6%
西区	127	4.7%	34.6%	36.2%	16.5%	7.9%
南区	175	2.9%	36.0%	39.4%	18.9%	2.9%
北区	189	4.2%	36.5%	37.6%	17.5%	4.2%

問11-1. (問11. で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と答えられた方) どのような団体の活動に参加していますか。(複数回答可)

問12. で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と回答した355人については、「町内自治会」が80.6%と最も高く、次いで「子ども会」が13.5%、「PTA」が11.5%となっている。

前回調査と比較すると、「自分たちで立ち上げたグループ」が上昇している一方で、それ以外の項目は減少している。

過去5年間の推移では、大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 勤務先での清掃活動
- ・ 商工会
- ・ 農業協同組合
- ・ スポーツ愛好会
- ・ 公民館活動

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「町内自治会」は30歳代と60歳代が88.5%と最も高く、「PTA」、「子ども会」は40歳代がそれぞれ34.0%、35.8%、「NPO」、「自分たちで立ち上げた活動グループ」は20歳代がそれぞれ9.1%、「老人会」と「婦人会」は80歳代がそれぞれ40.6%、9.4%と最も高くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「町内自治会」は南区が91.2%と最も高く、「PTA」は西区が16.0%、「NPO」は中央区が8.1%、「老人会」、「子ども会」、「自分たちで立ち上げた活動グループ」は東区がそれぞれ15.8%、17.1%、6.6%、「婦人会」は北区が5.2%と最も高くなっている。

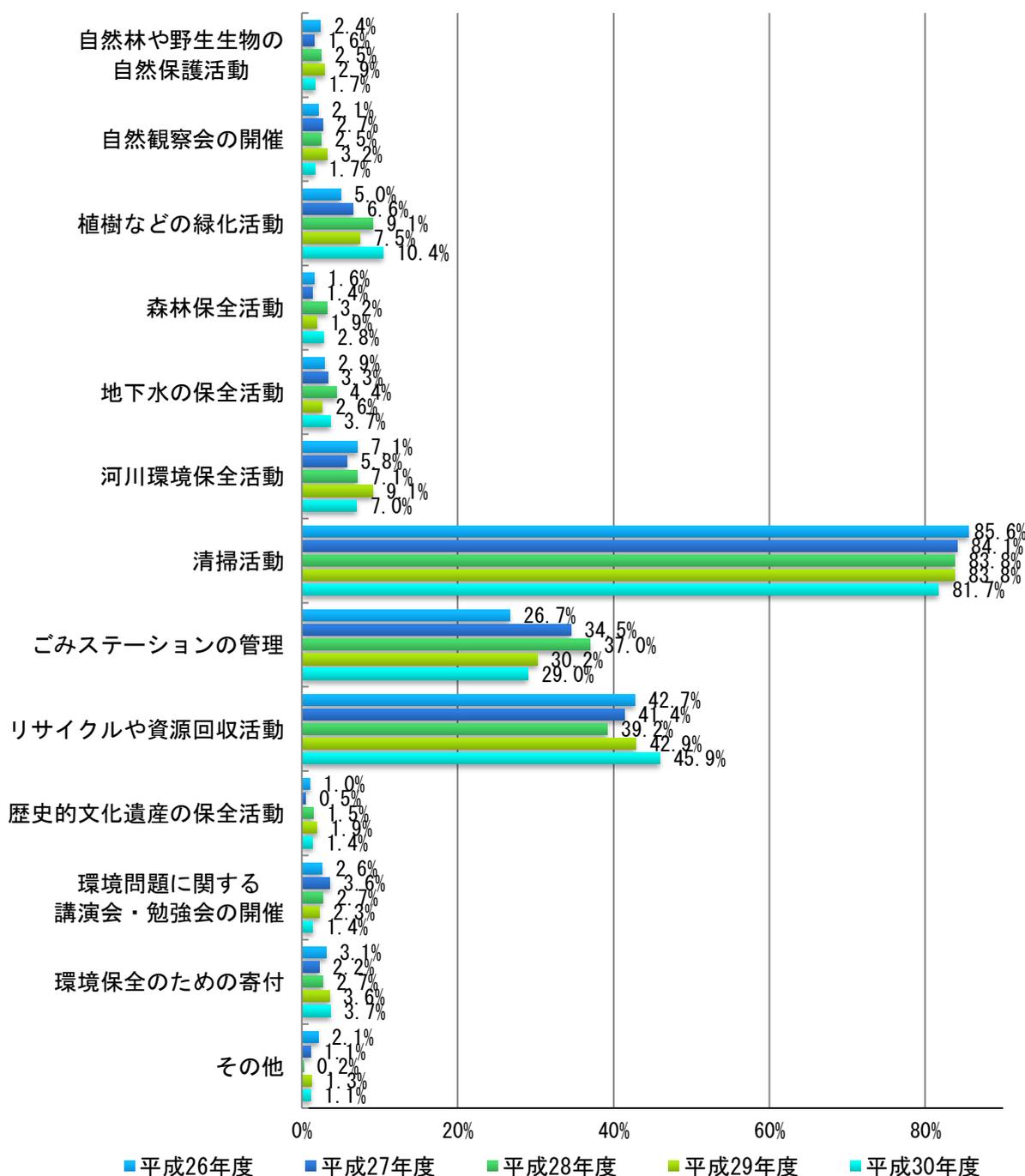
■属性別回答

	合計	町内自治会	PTA	NPO	老人会	婦人会	子ども会	自分たちで立ち上げた活動グループ	その他
全体	355	80.6%	11.5%	2.8%	9.9%	3.7%	13.5%	4.2%	7.9%
年齢別									
20歳代	11	63.6%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	9.1%	18.2%
30歳代	26	88.5%	19.2%	0.0%	3.8%	3.8%	34.6%	3.8%	0.0%
40歳代	53	64.2%	34.0%	0.0%	0.0%	1.9%	35.8%	1.9%	13.2%
50歳代	59	79.7%	16.9%	1.7%	0.0%	1.7%	15.3%	3.4%	10.2%
60歳代	87	88.5%	1.1%	6.9%	3.4%	3.4%	2.3%	4.6%	9.2%
70歳代	76	86.8%	3.9%	2.6%	21.1%	5.3%	3.9%	6.6%	5.3%
80歳代	32	71.9%	0.0%	0.0%	40.6%	9.4%	3.1%	3.1%	3.1%
職業別									
会社員	97	73.2%	15.5%	4.1%	2.1%	1.0%	14.4%	3.1%	13.4%
自営業	33	87.9%	9.1%	3.0%	3.0%	3.0%	6.1%	6.1%	9.1%
農林漁業	7	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	28.6%
公務員	31	77.4%	22.6%	0.0%	3.2%	0.0%	22.6%	6.5%	12.9%
学生	1	100%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	0.0%	0.0%
無職	125	87.2%	2.4%	3.2%	22.4%	4.8%	6.4%	5.6%	3.2%
その他	49	73.5%	16.3%	2.0%	4.1%	8.2%	22.4%	2.0%	4.1%
地区別									
中央区	74	77.0%	14.9%	8.1%	5.4%	4.1%	9.5%	1.4%	9.5%
東区	76	77.6%	6.6%	1.3%	15.8%	2.6%	17.1%	6.6%	6.6%
西区	50	78.0%	16.0%	0.0%	12.0%	4.0%	14.0%	4.0%	16.0%
南区	68	91.2%	5.9%	2.9%	7.4%	2.9%	13.2%	2.9%	1.5%
北区	77	77.9%	11.7%	1.3%	10.4%	5.2%	10.4%	6.5%	9.1%

問11-2. (問11. で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と答えられた方) 現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。(複数回答可)

問11. で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と回答した355人については、「清掃活動」が81.7%と最も高くなっており、次いで「リサイクルや資源回収活動」が45.9%、「ごみステーションの管理」が29.0%となっている。

前回調査と比較すると、「リサイクルや資源回収活動」が3.0ポイント、「植樹などの緑化活動」が2.9ポイントそれぞれ増加するなどしているが、過去5年間の推移では、大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容	
・ 竹林の保全	・ 公園の清掃活動
・ ごみの分別	・ イベントへの参加

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「自然林や野生生物の自然保護活動」、「森林保全活動」、「歴史的文化遺産の保全活動」は20歳代が最も高くなっているものの、「清掃活動」や「ごみステーションの管理」「リサイクルや資源回収活動」などは最も低くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「自然林や野生生物の自然保護活動」、「植樹などの緑化活動」、「森林保全活動」、「地下水の保全活動」、「歴史的文化遺産の保全活動」は西区が最も高くなっている。

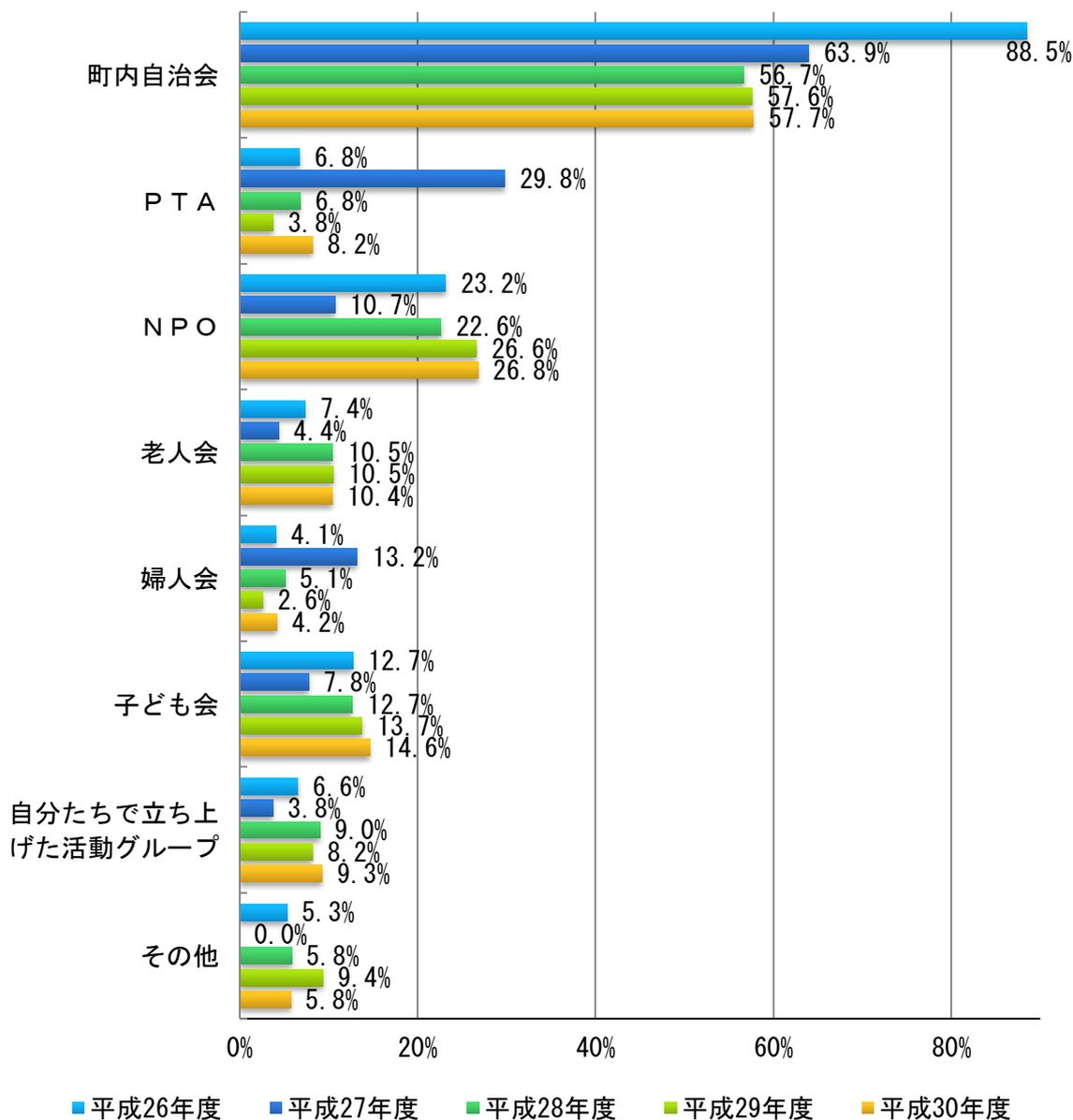
■属性別回答

	合計	自然林や野生生物の自然保護活動	自然観察会の開催	植樹などの緑化活動	森林保全活動	地下水の保全活動	河川環境保全活動	清掃活動	ごみステーションの管理	リサイクルや資源回収活動	歴史的文化遺産の保全活動	講演会・勉強会の開催	環境保全のための寄付	その他
全体	355	1.7%	1.7%	10.4%	2.8%	3.7%	7.0%	81.7%	29.0%	45.9%	1.4%	1.4%	3.7%	1.1%
年齢別														
20歳代	11	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	63.6%	9.1%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%
30歳代	26	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	7.7%	96.2%	34.6%	53.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代	53	3.8%	5.7%	13.2%	3.8%	5.7%	5.7%	75.5%	17.0%	49.1%	1.9%	3.8%	5.7%	0.0%
50歳代	59	1.7%	1.7%	10.2%	3.4%	1.7%	5.1%	78.0%	30.5%	39.0%	1.7%	0.0%	5.1%	1.7%
60歳代	87	0.0%	2.3%	11.5%	2.3%	5.7%	10.3%	87.4%	29.9%	46.0%	1.1%	2.3%	3.4%	2.3%
70歳代	76	2.6%	0.0%	7.9%	2.6%	3.9%	6.6%	80.3%	36.8%	50.0%	1.3%	1.3%	3.9%	0.0%
80歳代	32	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	3.1%	3.1%	78.1%	31.3%	40.6%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%
職業別														
会社員	97	4.1%	2.1%	15.5%	3.1%	4.1%	5.2%	80.4%	23.7%	35.1%	1.0%	1.0%	4.1%	2.1%
自営業	33	3.0%	6.1%	9.1%	9.1%	6.1%	3.0%	84.8%	27.3%	42.4%	6.1%	3.0%	0.0%	0.0%
農林漁業	7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	57.1%	85.7%	14.3%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	31	0.0%	3.2%	3.2%	0.0%	0.0%	9.7%	74.2%	32.3%	51.6%	0.0%	0.0%	3.2%	3.2%
学生	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	125	0.0%	0.8%	10.4%	0.8%	2.4%	8.0%	88.0%	37.6%	54.4%	1.6%	1.6%	4.8%	0.0%
その他	49	2.0%	0.0%	6.1%	4.1%	4.1%	0.0%	71.4%	22.4%	38.8%	0.0%	2.0%	4.1%	2.0%
地区別														
中央区	74	2.7%	1.4%	10.8%	4.1%	5.4%	4.1%	78.4%	24.3%	51.4%	1.4%	0.0%	5.4%	0.0%
東区	76	1.3%	1.3%	6.6%	2.6%	3.9%	6.6%	76.3%	34.2%	43.4%	0.0%	1.3%	2.6%	2.6%
西区	50	4.0%	2.0%	18.0%	6.0%	8.0%	12.0%	80.0%	22.0%	40.0%	4.0%	2.0%	4.0%	2.0%
南区	68	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	13.2%	85.3%	27.9%	41.2%	1.5%	1.5%	2.9%	0.0%
北区	77	1.3%	3.9%	11.7%	1.3%	2.6%	2.6%	85.7%	35.1%	49.4%	1.3%	2.6%	3.9%	1.3%

問11-3. (問11. で「参加したことはないが、今後してみたい」と答えられた方)
 今後、どのような団体の活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

問11. で「参加したことはないが、今後してみたい」と回答した452人については、「町内自治会」が57.7%と最も高く、次いで「NPO」が26.8%、「子ども会」が14.6%となっている。

過去5年間の推移では、大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 学校や職場
- ・ 市や県などの自治体
- ・ 気軽に参加できる団体

【回答者の属性別にみた結果】

年代別:「町内自治会」は70歳代が71.4%と最も高く、「PTA」は40歳代が19.2%、「NPO」

は20歳代が40.9%、「老人会」と「婦人会」は80歳代がそれぞれ52.2%、13.0%、「子ども会」は30歳代が31.5%、「自分たちで立ち上げた活動グループ」は50歳代が12.5%と最も高くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「町内自治会」と「子ども会」は南区がそれぞれ63.8%、20.3%と最も高く、「PTA」は東区が11.2%、「NPO」は中央区が35.4%、「老人会」と「婦人会」は西区がそれぞれ17.4%、6.5%、「自分たちで立ち上げた活動グループ」は北区が15.5%と最も高くなっている。

■属性別回答

	合計	町内自治会	PTA	NPO	老人会	婦人会	子ども会	自分たちで立ち上げた活動グループ	その他
全体	452	57.7%	8.2%	26.8%	10.4%	4.2%	14.6%	9.3%	5.8%
年齢別									
20歳代	44	47.7%	6.8%	40.9%	2.3%	2.3%	18.2%	11.4%	2.3%
30歳代	73	41.1%	8.2%	27.4%	0.0%	1.4%	31.5%	12.3%	4.1%
40歳代	73	58.9%	19.2%	28.8%	1.4%	2.7%	23.3%	9.6%	5.5%
50歳代	72	51.4%	9.7%	37.5%	2.8%	5.6%	5.6%	12.5%	11.1%
60歳代	93	71.0%	5.4%	23.7%	10.8%	6.5%	5.4%	9.7%	5.4%
70歳代	63	71.4%	1.6%	11.1%	30.2%	1.6%	6.3%	3.2%	6.3%
80歳代	23	52.2%	0.0%	26.1%	52.2%	13.0%	8.7%	0.0%	0.0%
職業別									
会社員	172	55.8%	9.9%	32.6%	2.3%	3.5%	16.9%	14.0%	4.7%
自営業	25	60.0%	16.0%	36.0%	4.0%	8.0%	8.0%	12.0%	12.0%
農林漁業	3	66.7%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
公務員	31	54.8%	9.7%	38.7%	0.0%	0.0%	16.1%	6.5%	3.2%
学生	13	23.1%	7.7%	46.2%	0.0%	0.0%	15.4%	7.7%	7.7%
無職	134	65.7%	1.5%	17.9%	23.9%	4.5%	7.5%	5.2%	5.2%
その他	60	55.0%	11.7%	23.3%	10.0%	6.7%	23.3%	5.0%	8.3%
地区別									
中央区	127	52.0%	6.3%	35.4%	12.6%	2.4%	12.6%	9.4%	4.7%
東区	125	63.2%	11.2%	28.0%	8.0%	5.6%	15.2%	6.4%	8.0%
西区	46	50.0%	10.9%	26.1%	17.4%	6.5%	8.7%	2.2%	4.3%
南区	69	63.8%	7.2%	20.3%	7.2%	4.3%	20.3%	13.0%	7.2%
北区	71	57.7%	5.6%	19.7%	8.5%	2.8%	14.1%	15.5%	2.8%

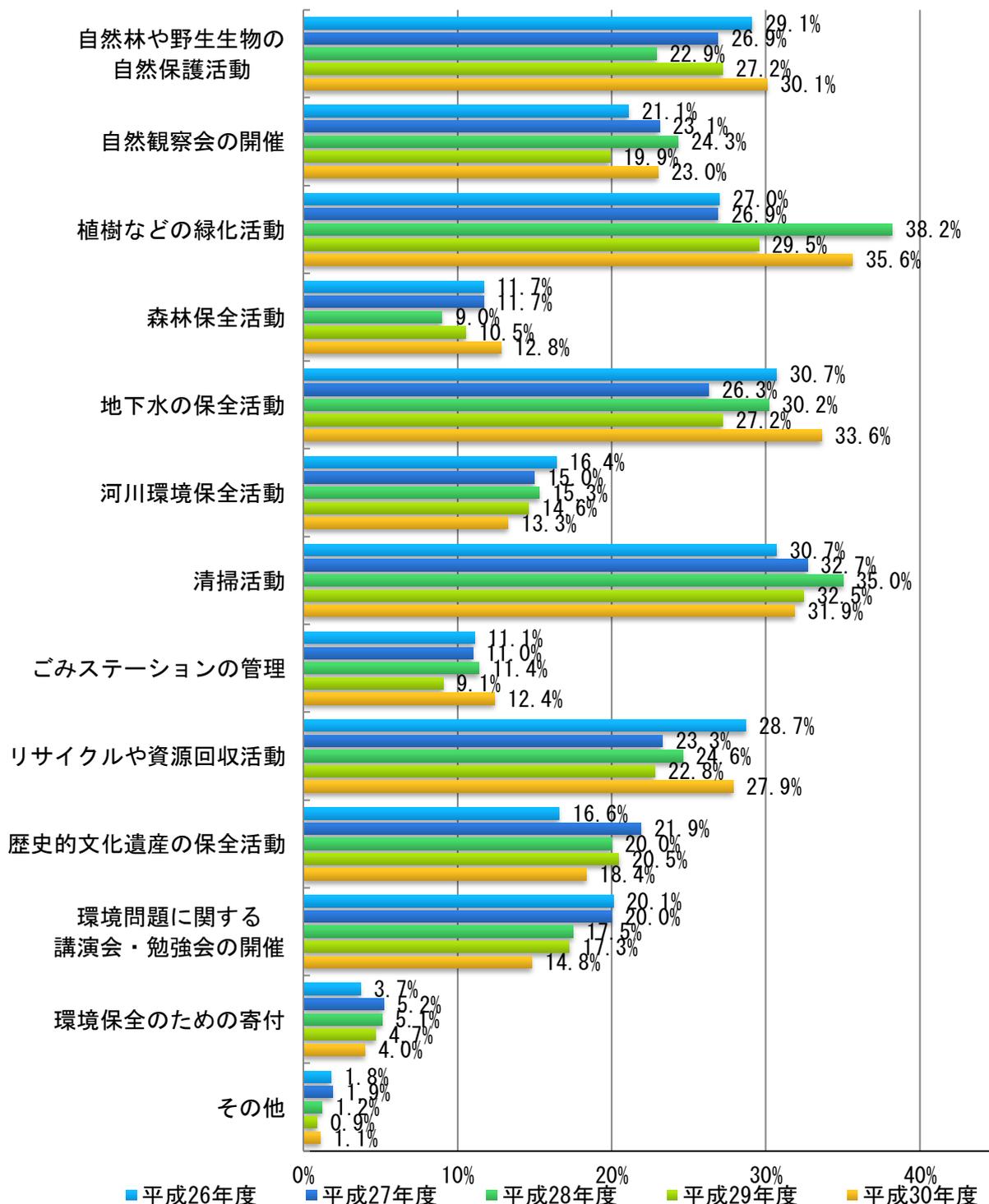
問11-4. (問11. で「参加したことはないが、今後してみたい」と答えられた方)

今後、どのような環境保全活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

問11. で「参加したことはないが、今後してみたい」と回答した452人については、「植樹などの緑化活動」が35.6%と最も高く、次いで「地下水の保全活動」が33.6%、「清掃活動」が31.9%となっている。

前回調査と比較すると、「自然林や野生生物の自然保護活動」、「自然観察会の開催」、「植樹などの緑化活動」、「森林保全活動」、「地下水の保全活動」、「ごみステーションの管理」、「リサイクルや資源回収活動」が上昇している。

過去5年間の推移では、大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 海洋汚染に関すること
- ・ 農業体験と併用した環境保全活動

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「地下水の保全活動」、「河川環境保全活動」、「歴史的文化遺産の保全活動」、「環境問題に関する講演会・勉強会の開催」、「環境保全のための寄付」は50歳代が最も多くなっている一方で、「清掃活動」は23.6%と最も低くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「自然林や野生生物の自然保護活動」、「森林保全活動」、「歴史的文化遺産の保全活動」、「環境問題に関する講演会・勉強会の開催」、「環境保全のための寄付」は中央区が最も多くなっている一方で、「ごみステーション管理」は最も低くなっている。

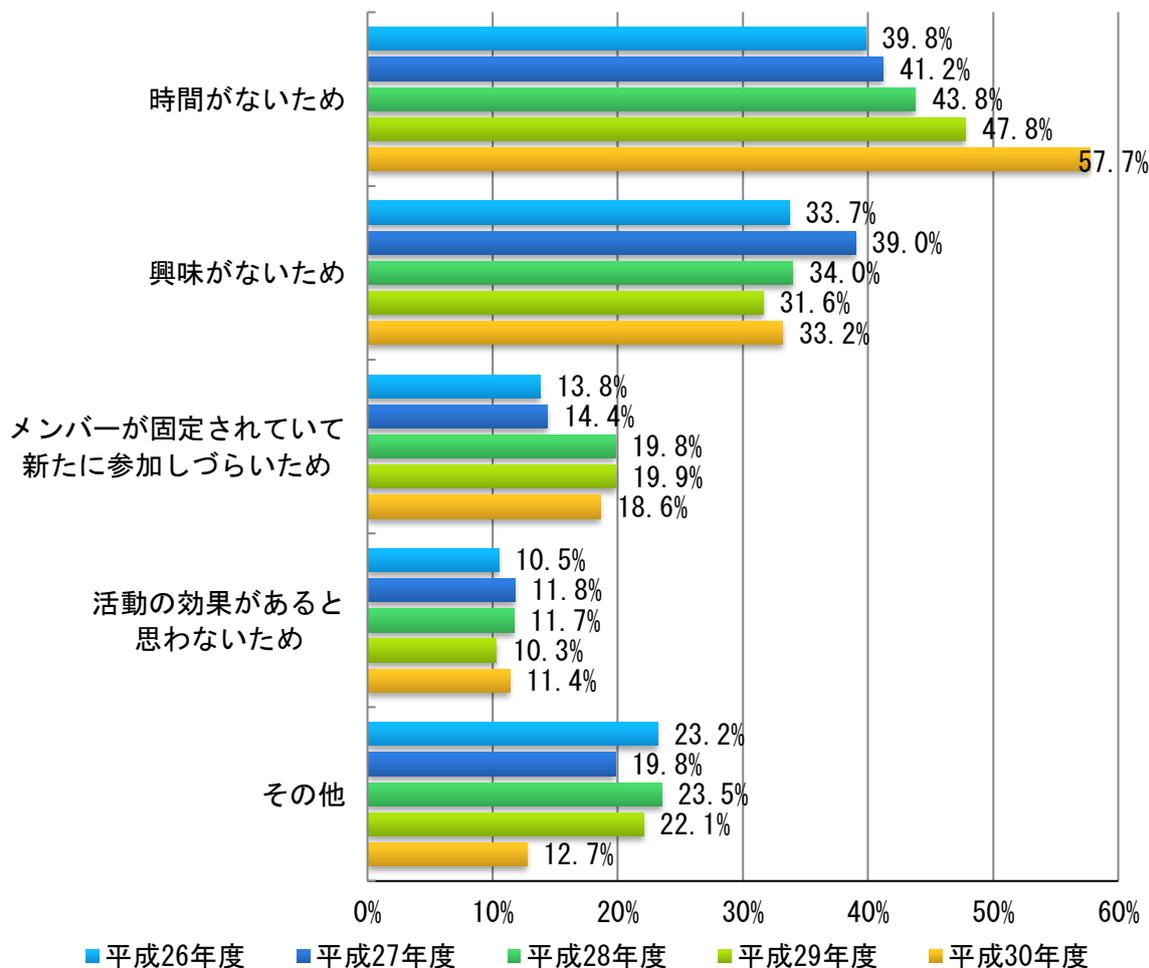
■属性別回答

	合計	自然林や野生生物の自然保護活動	自然観察会の開催	植樹などの緑化活動	森林保全活動	地下水の保全活動	河川環境保全活動	清掃活動	ごみステーションの管理	リサイクルや資源回収活動	歴史的文化遺産の保全活動	講演会・勉強会に関する環境問題への関心	環境保全のための寄付	その他
全体	452	30.1%	23.0%	35.6%	12.8%	33.6%	13.3%	31.9%	12.4%	27.9%	18.4%	14.8%	4.0%	1.1%
年齢別														
20歳代	44	36.4%	18.2%	31.8%	18.2%	27.3%	15.9%	40.9%	11.4%	31.8%	11.4%	9.1%	2.3%	2.3%
30歳代	73	41.1%	19.2%	41.1%	9.6%	27.4%	9.6%	41.1%	5.5%	27.4%	15.1%	8.2%	2.7%	0.0%
40歳代	73	37.0%	24.7%	46.6%	13.7%	41.1%	9.6%	30.1%	15.1%	35.6%	27.4%	19.2%	5.5%	0.0%
50歳代	72	34.7%	25.0%	34.7%	16.7%	47.2%	26.4%	23.6%	12.5%	34.7%	27.8%	25.0%	8.3%	2.8%
60歳代	93	21.5%	26.9%	36.6%	11.8%	33.3%	12.9%	30.1%	14.0%	24.7%	19.4%	12.9%	3.2%	0.0%
70歳代	63	23.8%	19.0%	19.0%	14.3%	25.4%	9.5%	27.0%	11.1%	22.2%	9.5%	14.3%	3.2%	1.6%
80歳代	23	8.7%	30.4%	13.0%	4.3%	30.4%	8.7%	34.8%	26.1%	8.7%	8.7%	13.0%	0.0%	4.3%
職業別														
会社員	172	39.5%	23.3%	39.5%	15.7%	34.9%	17.4%	30.8%	10.5%	25.6%	22.1%	15.7%	4.7%	0.6%
自営業	25	40.0%	28.0%	48.0%	16.0%	56.0%	16.0%	32.0%	8.0%	24.0%	28.0%	28.0%	4.0%	0.0%
農林漁業	3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	31	32.3%	25.8%	41.9%	12.9%	35.5%	12.9%	32.3%	9.7%	38.7%	22.6%	19.4%	6.5%	0.0%
学生	13	30.8%	15.4%	30.8%	15.4%	46.2%	15.4%	30.8%	15.4%	15.4%	23.1%	23.1%	7.7%	7.7%
無職	134	20.9%	20.9%	23.1%	11.9%	32.1%	10.4%	30.6%	17.9%	28.4%	15.7%	10.4%	3.0%	0.0%
その他	60	23.3%	28.3%	38.3%	8.3%	25.0%	8.3%	38.3%	8.3%	31.7%	10.0%	15.0%	3.3%	5.0%
地区別														
中央区	127	32.3%	26.0%	36.2%	15.7%	34.6%	15.0%	32.3%	10.2%	26.0%	20.5%	18.1%	5.5%	0.8%
東区	125	28.8%	25.6%	30.4%	12.0%	37.6%	15.2%	27.2%	12.8%	30.4%	20.0%	16.8%	3.2%	3.2%
西区	46	30.4%	26.1%	41.3%	6.5%	21.7%	15.2%	34.8%	13.0%	19.6%	10.9%	10.9%	2.2%	0.0%
南区	69	30.4%	21.7%	43.5%	11.6%	36.2%	11.6%	36.2%	14.5%	30.4%	20.3%	11.6%	4.3%	0.0%
北区	71	31.0%	12.7%	26.8%	15.5%	33.8%	8.5%	32.4%	14.1%	32.4%	16.9%	12.7%	4.2%	0.0%

問11-5. (問11. で「参加したことはないし、今後もしたいと思わない」と答えられた方) 参加したいと思わない理由は何ですか。(複数回答可)

問11. で「参加したことはないし、今後もしたいと思わない」と回答した220人については、「時間がないため」が57.7%と最も高く、次いで「興味がないため」が33.2%、「メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため」が18.6%となっている。

前回調査や過去5年間の推移では、特に変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 体調不良
- ・ 高齢なため

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「時間がないため」は30歳代が71.4%と最も高くなっている。「興味がないため」、「メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため」、「活動の効果があると思わないため」は20歳代がそれぞれ55.2%、27.6%、17.2%と最も高くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「時間がないため」は西区が66.7%と最も高く、「興味がないため」は北区が45.5%、「メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため」の割合は南区と北区がそれぞれ24.2%、「活動の効果があると思わないため」は南区が15.2%と最も高くなっている。

■属性別回答

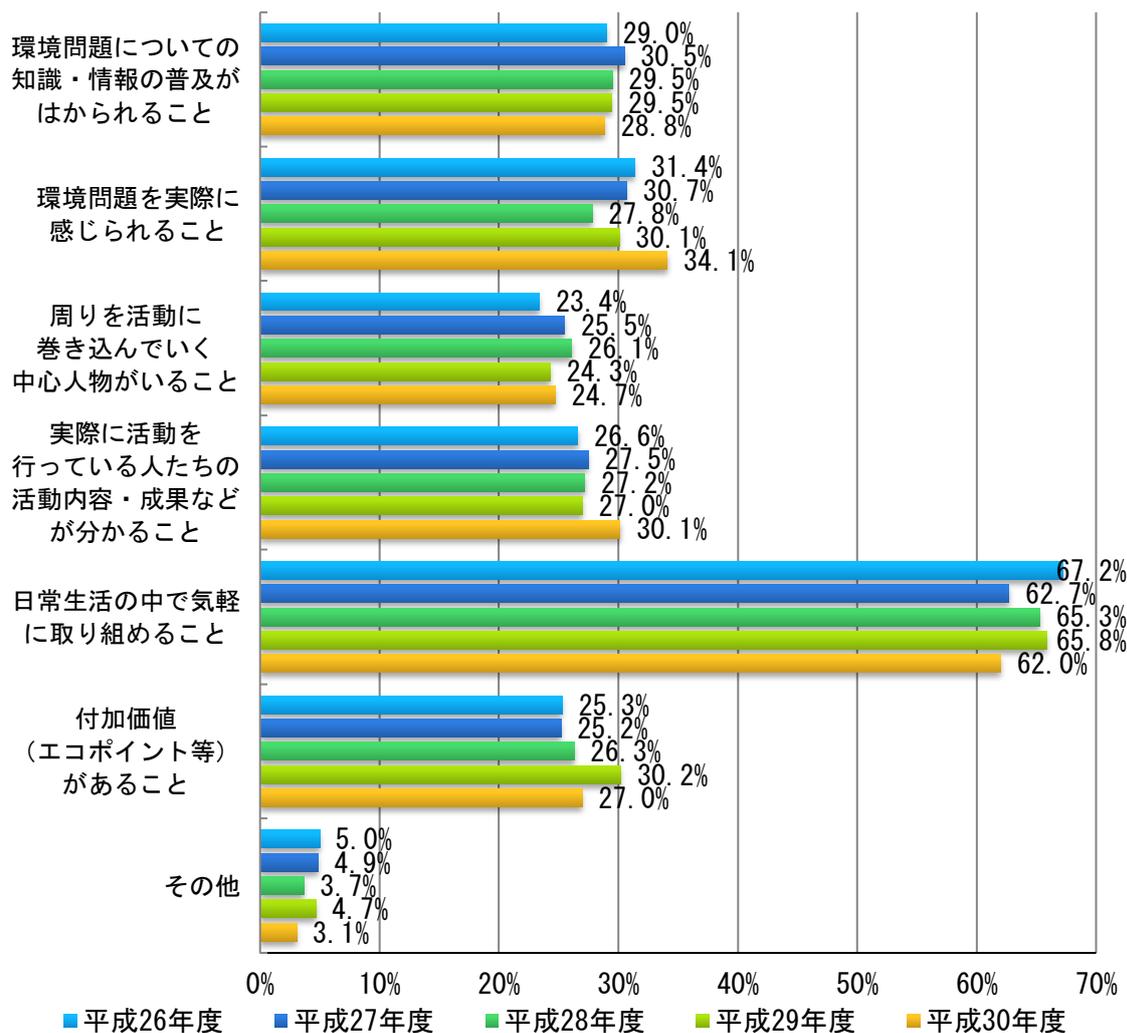
	合計	時間がないため	興味がないため	メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため	活動の効果があると思わないため	その他
全体	220	57.7%	33.2%	18.6%	11.4%	12.7%
年齢別						
20歳代	29	65.5%	55.2%	27.6%	17.2%	3.4%
30歳代	35	71.4%	28.6%	17.1%	17.1%	8.6%
40歳代	35	68.6%	48.6%	20.0%	5.7%	2.9%
50歳代	42	66.7%	31.0%	14.3%	14.3%	9.5%
60歳代	31	48.4%	25.8%	22.6%	9.7%	9.7%
70歳代	30	36.7%	30.0%	20.0%	6.7%	26.7%
80歳代	15	20.0%	0.0%	6.7%	6.7%	46.7%
職業別						
会社員	83	69.9%	34.9%	20.5%	13.3%	10.8%
自営業	13	69.2%	30.8%	30.8%	0.0%	0.0%
農林漁業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
公務員	13	76.9%	53.8%	7.7%	0.0%	0.0%
学生	7	57.1%	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%
無職	66	33.3%	27.3%	18.2%	10.6%	22.7%
その他	32	68.8%	37.5%	15.6%	15.6%	6.3%
地区別						
中央区	64	56.3%	35.9%	14.1%	12.5%	7.8%
東区	65	56.9%	32.3%	18.5%	7.7%	13.8%
西区	21	66.7%	28.6%	19.0%	14.3%	14.3%
南区	33	48.5%	24.2%	24.2%	15.2%	21.2%
北区	33	63.6%	45.5%	24.2%	12.1%	9.1%

問12. どのような条件が整えば、より多くの人まちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。(複数回答)

「日常生活の中で、気軽に取り組めること」が62.0%と最も高く、次いで「環境問題を実際に感じられること」が34.1%、「実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などが分かること」が30.1%となっている。

前回調査と比較すると、「環境問題を実際に感じられること」、「周りの活動に巻き込んでいく中心人物がいること」、「実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などが分かること」が増加している。

過去5年間の推移では、大きな変動は特に見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 子どもたちへの教育
- ・ 地域住民のつながり確保

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「環境問題についての知識・情報の普及がはかれること」、「実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などが分かること」は50歳代が最も高く、「環境問題を実際に感じられること」は20歳代が、「周りを活動に巻き込んでいく中心人物がいること」は60歳代が、「日常生活の中で気軽に取り組めること」は40歳代が、「付加価値（エコポイント等）があること」は30歳代が最も高くなっている。

職業別：「環境問題についての知識・情報の普及がはかれること」は、無職が最も高

く、「環境問題を実際に感じられること」、「付加価値（エコポイント等）があること」は学生が、「周りを活動に巻き込んでいく中心人物がいること」はその他が、「実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などが分かること」は農林漁業が、「日常生活の中で気軽に取り組めること」は自営業が最も高くなっている。

地区別：「環境問題についての知識・情報の普及がはかれること」は西区が最も高く、「環境問題を実際に感じられること」、「実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などが分かること」は中央区が、「周りを活動に巻き込んでいく中心人物がいること」、「付加価値（エコポイント等）があること」は南区が、「日常生活の中で気軽に取り組めること」は北区が最も高くなっている。

■属性別回答

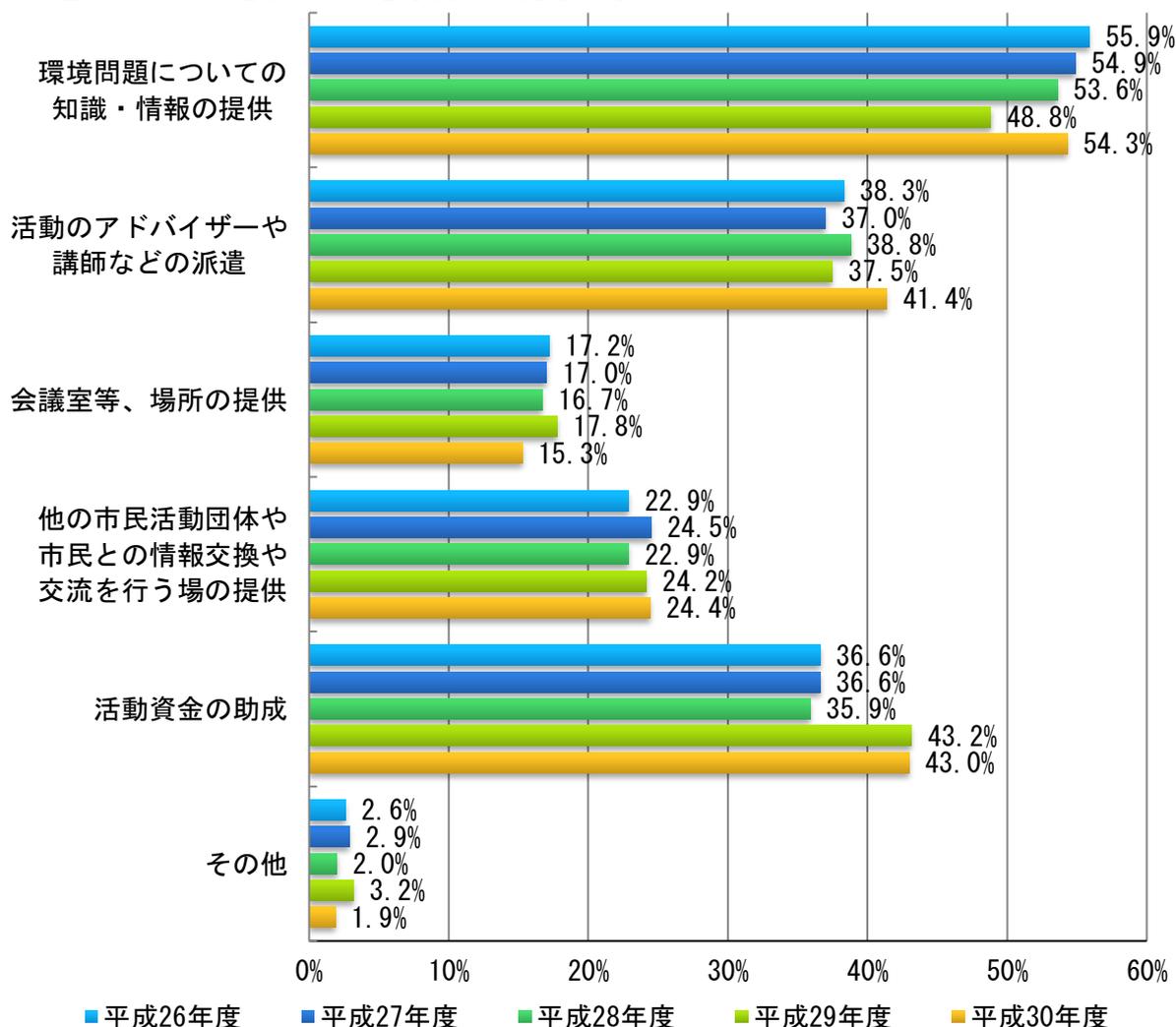
	合計	環境問題についての知識・情報の普及がはかれること	実際に感じられること 環境問題を	周りを活動に巻き込んでいく 中心人物がいること	実際に活動を行っている人たちの 活動内容・成果などが分かること	日常生活の中で 気軽に取り組めること	付加価値（エコポイント等）が あること	その他
全体	1,068	28.8%	34.1%	24.7%	30.1%	62.0%	27.0%	3.1%
年齢別								
20歳代	85	23.5%	42.4%	17.6%	28.2%	58.8%	50.6%	4.7%
30歳代	137	21.9%	29.2%	25.5%	24.1%	62.0%	55.5%	4.4%
40歳代	163	23.9%	36.8%	22.7%	32.5%	69.3%	39.9%	3.7%
50歳代	178	37.1%	39.3%	22.5%	37.1%	62.9%	32.6%	5.1%
60歳代	216	29.6%	35.6%	30.6%	31.0%	66.2%	12.0%	0.9%
70歳代	178	33.7%	33.7%	27.0%	30.3%	64.6%	6.2%	1.1%
80歳代	83	24.1%	19.3%	22.9%	19.3%	38.6%	8.4%	3.6%
職業別								
会社員	357	29.4%	34.5%	23.5%	32.8%	61.1%	40.3%	3.9%
自営業	74	27.0%	32.4%	29.7%	28.4%	71.6%	13.5%	6.8%
農林漁業	12	8.3%	50.0%	25.0%	41.7%	41.7%	8.3%	8.3%
公務員	75	29.3%	42.7%	29.3%	28.0%	62.7%	37.3%	2.7%
学生	21	28.6%	66.7%	14.3%	23.8%	52.4%	57.1%	0.0%
無職	350	32.3%	33.7%	23.4%	28.3%	60.9%	13.7%	1.7%
その他	144	21.5%	27.8%	29.9%	30.6%	67.4%	28.5%	2.8%
地区別								
中央区	272	29.8%	36.8%	24.3%	37.5%	61.0%	25.0%	3.7%
東区	273	26.7%	35.9%	21.2%	29.3%	63.7%	26.0%	2.2%
西区	127	30.7%	30.7%	23.6%	24.4%	57.5%	28.3%	1.6%
南区	175	27.4%	36.0%	29.1%	28.0%	62.3%	30.9%	5.1%
北区	189	30.2%	30.7%	28.6%	27.0%	66.1%	29.6%	2.6%

問13. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。(複数回答可)

「環境問題についての知識・情報の提供」が54.3%と最も高く、次いで、「活動資金の助成」が43.0%、「活動のアドバイザーや講師などの派遣」が41.4%となっている。

前回調査と比較すると、「環境問題についての知識・情報の提供」、「活動のアドバイザーや講師などの派遣」、「他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供」が増加している。

過去5年間の推移では大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 地域のニーズに応じた柔軟な対応
- ・ 税控除
- ・ 報償金やスーパーなどの割引券の配布

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「環境問題についての知識・情報提供」は60歳代最も高く、「活動のアドバイザーや講師などの派遣」は40歳代が、「会議室等、場所の提供」、「活動資金の助成」は30歳代が、「他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供」は50歳代が最も高くなっている。

職業別：「環境問題についての知識・情報提供」は自営業が最も高く、「活動のアドバイザーや講師などの派遣」は農林漁業が、「会議室等、場所の提供」、「活動資金の助成」は公務員が、「他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供」は学生が最も高くなっている。

地区別：「環境問題についての知識・情報提供」、「会議室等、場所の提供」は東区が最も多くなっており、「活動のアドバイザーや講師などの派遣」、「活動資金の助成」は中央区が、「他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供」は西区が最も高くなっている。

■属性別回答

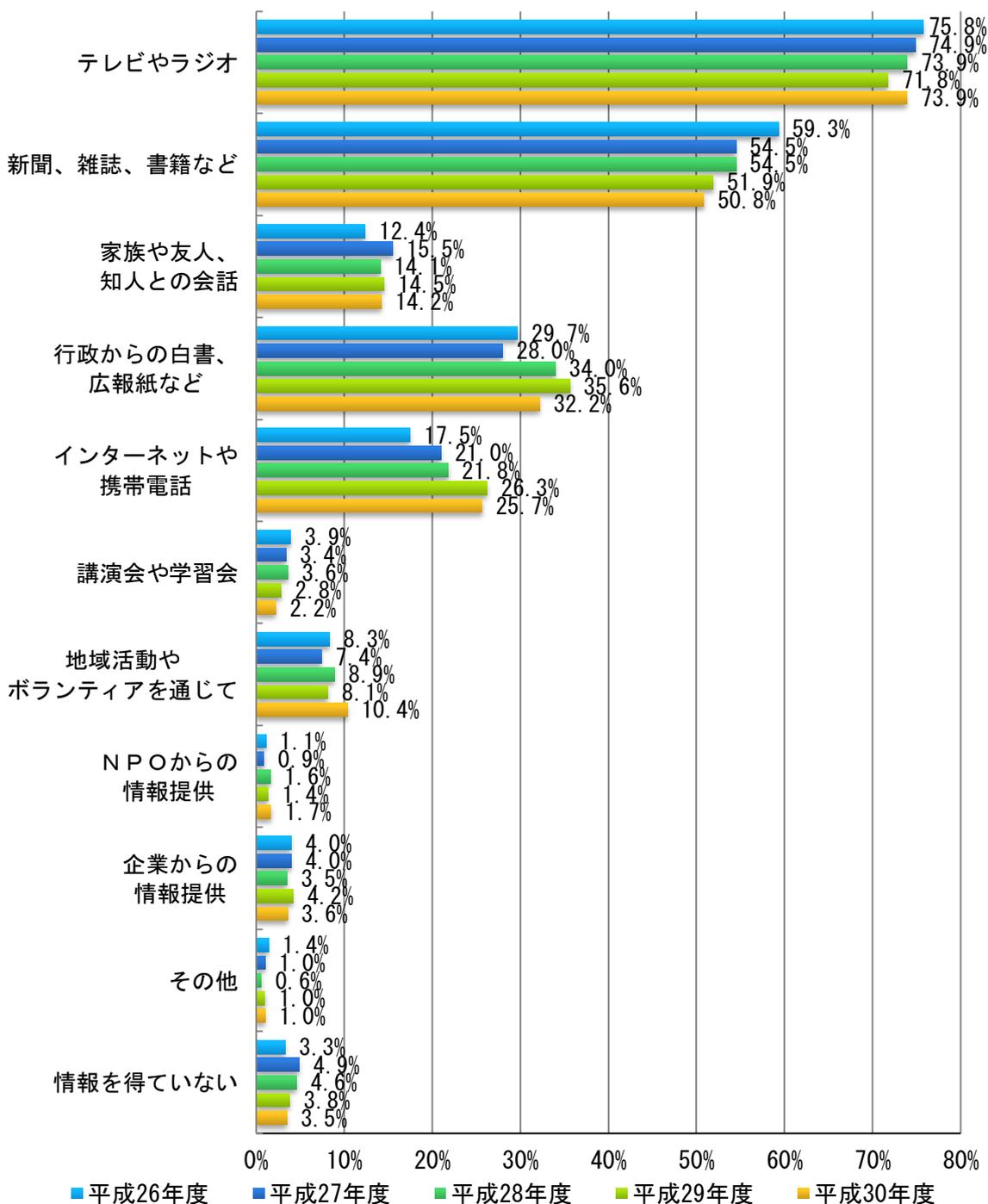
	合計	環境問題についての知識・情報の提供	活動のアドバイザーや講師などの派遣	会議室等、場所の提供	他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供	活動資金の助成	その他
全体	1,068	54.3%	41.4%	15.3%	24.4%	43.0%	1.9%
年齢別							
20歳代	85	56.5%	37.6%	16.5%	23.5%	44.7%	0.0%
30歳代	137	43.8%	43.1%	21.9%	28.5%	55.5%	5.1%
40歳代	163	48.5%	48.5%	17.2%	23.3%	53.4%	3.1%
50歳代	178	58.4%	44.4%	14.6%	29.2%	48.9%	2.2%
60歳代	216	63.0%	43.5%	10.6%	21.3%	40.7%	0.5%
70歳代	178	58.4%	37.6%	14.0%	21.3%	27.5%	0.6%
80歳代	83	45.8%	26.5%	10.8%	19.3%	25.3%	1.2%
職業別							
会社員	357	54.6%	42.0%	16.2%	26.1%	49.9%	2.2%
自営業	74	62.2%	47.3%	14.9%	28.4%	37.8%	1.4%
農林漁業	12	25.0%	58.3%	0.0%	16.7%	41.7%	8.3%
公務員	75	45.3%	42.7%	21.3%	22.7%	52.0%	1.3%
学生	21	61.9%	47.6%	19.0%	28.6%	47.6%	0.0%
無職	350	58.0%	38.9%	14.9%	22.0%	36.9%	0.6%
その他	144	50.0%	42.4%	9.7%	21.5%	38.9%	4.2%
地区別							
中央区	272	55.9%	47.8%	16.5%	23.2%	48.2%	2.6%
東区	273	56.8%	42.1%	19.0%	24.2%	38.1%	1.8%
西区	127	48.0%	36.2%	13.4%	27.6%	43.3%	0.8%
南区	175	54.3%	38.3%	13.1%	22.9%	44.6%	2.3%
北区	189	55.0%	38.1%	9.0%	23.8%	40.2%	1.1%

問14. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。(複数回答可)

「テレビやラジオ」が73.9%と最も高く、次いで「新聞、雑誌、書籍など」が50.8%、「行政からの白書、広報紙など」が32.2%となっている。

前回調査と比較すると、「テレビやラジオ」、「地域活動やボランティアを通じて」、「NPOからの情報提供」は上昇している。

過去5年間の推移では大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 自治会や町内の各団体等
- ・ 大学等の講義
- ・ 仕事

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「テレビやラジオ」は30歳代が最も高く、「新聞、雑誌、書籍など」、「講演会や学習会」は80歳代が、「家族や友人、知人との会話」、「地域活動やボランティアを通じて」は70歳代が、「行政からの白書、広報誌など」は60歳代が、「インターネットや携帯電話」、「NPOからの情報提供」は20歳代が、「企業からの情報提供」は40歳代が最も高くなっている。

職業別：「テレビやラジオ」、「家族や友人、知人との会話」、「インターネットや携帯電話」、「NPOからの情報提供」は学生が最も高く、「新聞、雑誌、書籍など」は無職が、「行政からの白書、広報誌など」、「地域活動やボランティアを通じて」、「企業からの情報提供」は農林漁業が、「講演会や学習会」は公務員が最も高くなっている。

地区別：「テレビやラジオ」、「行政からの白書、広報誌など」、「地域活動やボランティアを通じて」は北区が最も高く、「新聞、雑誌、書籍など」、「講演会や学習会」は南区が、「家族や友人、知人との会話」、「NPOからの情報提供」は西区が、「インターネットや携帯電話」は中央区が、「企業からの情報提供」は東区が最も高くなっている。

■属性別回答

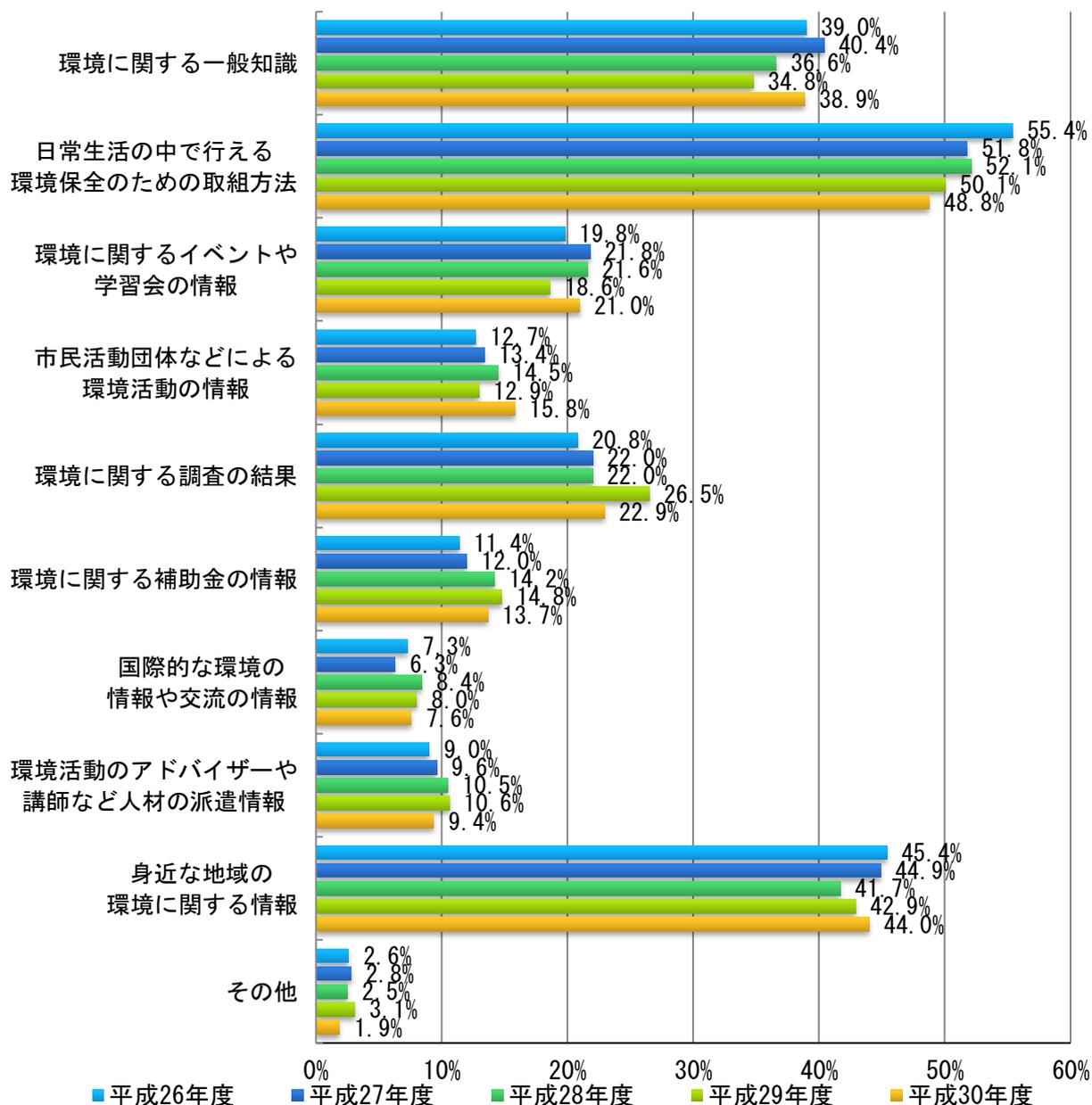
	合計	テレビやラジオ	新聞、雑誌、書籍など	家族や友人、知人との会話	行政からの白書、広報誌など	インターネットや携帯電話	講演会や学習会	ボランティアを通じて	NPOからの情報提供	企業からの情報提供	その他	情報を得ていない
全体	1,068	73.9%	50.8%	14.2%	32.2%	25.7%	2.2%	10.4%	1.7%	3.6%	1.0%	3.5%
年齢別												
20歳代	85	75.3%	25.9%	14.1%	11.8%	55.3%	2.4%	5.9%	2.4%	5.9%	1.2%	7.1%
30歳代	137	78.8%	39.4%	14.6%	26.3%	41.6%	0.7%	6.6%	0.0%	1.5%	0.0%	3.6%
40歳代	163	75.5%	35.0%	11.7%	30.7%	39.9%	1.2%	11.7%	1.8%	7.4%	3.1%	3.1%
50歳代	178	75.3%	56.2%	6.2%	34.3%	31.5%	2.2%	10.7%	1.7%	5.1%	0.6%	3.9%
60歳代	216	71.8%	62.5%	15.3%	41.2%	15.3%	3.2%	13.0%	2.3%	2.3%	0.9%	1.4%
70歳代	178	73.0%	61.8%	21.9%	33.1%	5.6%	2.8%	13.5%	2.2%	2.8%	1.1%	3.9%
80歳代	83	69.9%	63.9%	16.9%	31.3%	3.6%	3.6%	6.0%	1.2%	0.0%	0.0%	4.8%
職業別												
会社員	357	74.8%	45.9%	12.0%	26.1%	39.5%	1.1%	8.1%	2.2%	7.6%	0.8%	3.6%
自営業	74	75.7%	52.7%	17.6%	32.4%	24.3%	4.1%	12.2%	2.7%	2.7%	0.0%	6.8%
農林漁業	12	58.3%	33.3%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	8.3%	16.7%	0.0%
公務員	75	65.3%	57.3%	5.3%	33.3%	28.0%	6.7%	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%
学生	21	81.0%	57.1%	23.8%	14.3%	71.4%	4.8%	0.0%	4.8%	4.8%	4.8%	0.0%
無職	350	75.4%	58.0%	17.1%	36.0%	12.0%	2.6%	11.1%	2.0%	2.0%	0.6%	2.9%
その他	144	74.3%	45.1%	14.6%	36.8%	22.2%	1.4%	10.4%	0.0%	0.0%	2.1%	4.9%
地区別												
中央区	272	74.3%	52.2%	13.2%	29.0%	30.9%	1.5%	10.7%	2.2%	3.3%	1.5%	3.3%
東区	273	75.5%	51.6%	14.3%	30.4%	23.8%	2.6%	10.6%	0.7%	4.4%	0.7%	4.0%
西区	127	66.9%	52.0%	15.7%	31.5%	26.0%	2.4%	11.0%	3.1%	3.9%	0.8%	2.4%
南区	175	72.0%	53.1%	14.9%	28.6%	24.6%	2.9%	7.4%	1.1%	2.3%	2.3%	6.3%
北区	189	79.9%	45.5%	14.8%	41.8%	23.8%	2.6%	12.7%	2.1%	4.2%	0.0%	1.6%

問15. 環境に関する情報について、今後求めたいもの（不足しているもの）は何ですか。（複数回答可）

「日常生活の中で行える環境保全のための取組方法」が48.8%と最も高く、次いで「身近な地域の環境に関する情報」が44.0%、「環境に関する一般知識」が38.9%となっている。

前回調査と比較すると、「環境に関する一般知識」、「環境に関するイベントや学習会の情報」、「市民活動団体などによる環境活動の情報」、「身近な地域の環境に関する情報」が、上昇している。

過去5年間の推移では大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 環境と災害の関連性
- ・ 環境保護にかかる費用と推移
- ・ 環境保全を行ったことによる効果

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「環境に関する一般知識」、「市民活動団体などによる環境活動の情報」、「環境に関する調査委の結果」は50歳代が最も高く、「日常生活の中で行える環境保全のための取組方法」、「環境に関する補助金の情報」は30歳代が、「環境に関するイベントや学習会の情報」は60歳代が、「国際的な環境の情報や交流の情報」、「環境活動のアドバイザーや講師など人材の派遣情報」は40歳代が、「身近な地域の環境に関する情報」は70歳代が最も高くなっている。

職業別：「環境に関する一般知識」、「身近な地域の環境に関する情報」は無職が最も高く、「日常生活の中で行える環境保全のための取組方法」、「環境に関する調査委の結果」は農林漁業、「環境に関するイベントや学習会の情報」、「環境に関する補助金の情報」は会社員が、「市民活動団体などによる環境活動の情報」、「環境活動のアドバイザーや講師など人材の派遣情報」は自営業が、「国際的な環境の情報や交流の情報」は学生が最も高くなっている。

地区別：「環境に関する一般知識」は西区と北区が同率で最も高く、「日常生活の中で行える環境保全のための取組方法」、「市民活動団体などによる環境活動の情報」、「環境に関する補助金の情報」は東区が、「環境に関するイベントや学習会の情報」は西区が、「環境に関する調査委の結果」は北区が、「国際的な環境の情報や交流の情報」、「身近な地域の環境に関する情報」は中央区が、「環境活動のアドバイザーや講師など人材の派遣情報」は南区が最も高くなっている。

■属性別回答

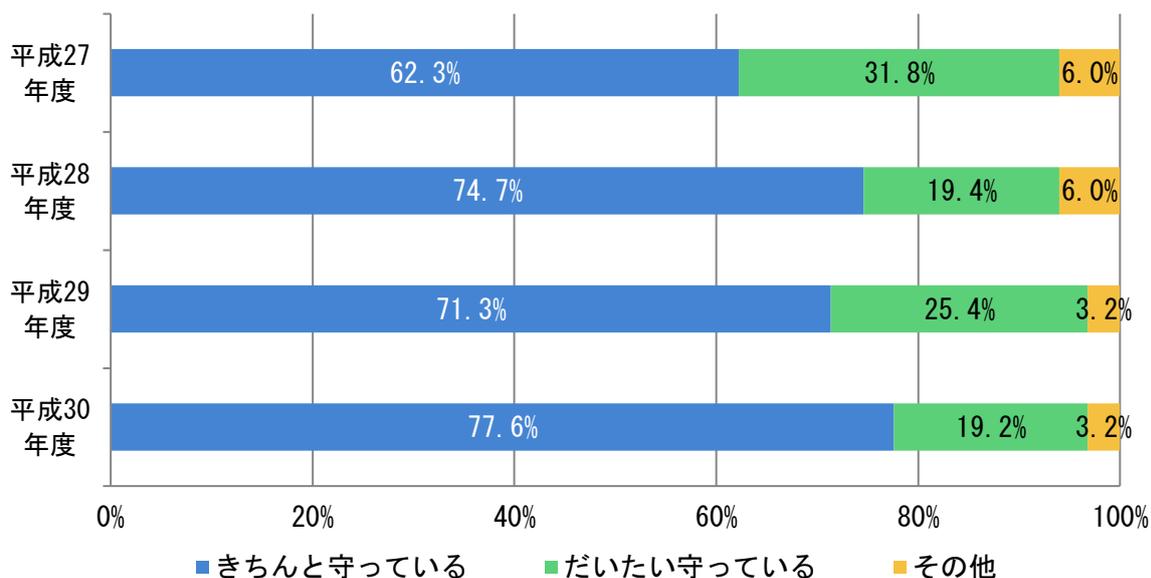
	合計	環境に関する一般知識	日常生活の中で行える環境保全のための取組方法	環境に関するイベントや学習会の情報	市民活動団体などによる環境活動の情報	環境に関する調査の結果	環境に関する補助金の情報	国際的な環境の情報や交流の情報	環境活動のアドバイザーや講師など人材の派遣情報	身近な地域の環境に関する情報	その他
全体	1,068	38.9%	48.8%	21.0%	15.8%	22.9%	13.7%	7.6%	9.4%	44.0%	1.9%
年齢別											
20歳代	85	38.8%	52.9%	23.5%	14.1%	23.5%	15.3%	9.4%	5.9%	34.1%	2.4%
30歳代	137	38.0%	56.9%	21.9%	9.5%	24.8%	19.7%	5.8%	4.4%	34.3%	0.7%
40歳代	163	41.7%	49.7%	16.6%	12.9%	20.9%	17.8%	11.7%	12.9%	45.4%	1.8%
50歳代	178	42.1%	50.0%	21.9%	20.2%	28.1%	12.9%	7.9%	11.8%	47.2%	3.4%
60歳代	216	39.8%	54.2%	26.4%	19.0%	22.2%	13.4%	6.5%	11.6%	47.7%	0.9%
70歳代	178	36.5%	43.3%	19.7%	18.0%	23.0%	10.1%	5.6%	8.4%	48.9%	1.1%
80歳代	83	38.6%	33.7%	13.3%	10.8%	15.7%	7.2%	3.6%	6.0%	39.8%	3.6%
職業別											
会社員	357	40.3%	48.5%	25.8%	16.5%	26.1%	18.5%	9.0%	10.6%	41.2%	2.0%
自営業	74	40.5%	43.2%	21.6%	18.9%	17.6%	16.2%	12.2%	14.9%	47.3%	2.7%
農林漁業	12	8.3%	75.0%	25.0%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	41.7%	0.0%
公務員	75	29.3%	45.3%	13.3%	16.0%	21.3%	16.0%	10.7%	8.0%	45.3%	0.0%
学生	21	38.1%	52.4%	23.8%	9.5%	28.6%	9.5%	19.0%	9.5%	38.1%	0.0%
無職	350	41.1%	50.9%	19.7%	14.3%	22.0%	11.4%	4.3%	7.4%	47.7%	1.7%
その他	144	39.6%	52.8%	16.7%	17.4%	19.4%	7.6%	4.9%	10.4%	40.3%	2.8%
地区別											
中央区	272	38.6%	51.5%	22.1%	15.1%	22.8%	14.3%	11.4%	9.6%	45.6%	1.8%
東区	273	39.9%	53.8%	19.4%	17.2%	24.5%	16.1%	4.4%	9.9%	40.7%	2.6%
西区	127	40.2%	40.2%	27.6%	13.4%	15.7%	12.6%	3.9%	7.9%	44.9%	0.0%
南区	175	38.3%	47.4%	20.0%	16.0%	22.3%	11.4%	7.4%	11.4%	44.6%	3.4%
北区	189	40.2%	49.2%	18.5%	16.4%	27.0%	13.2%	6.9%	7.9%	45.0%	0.5%

■「ごみ問題への関心と地域におけるごみ出しマナー」について

問16. 現在の熊本市のごみ出しルールを守っていますか。(1つだけ)

「きちんと守っている」が77.6%と最も高く、次いで「だいたい守っている」が19.2%、「どちらともいえない」が0.8%となっている。

前回調査と比較すると、「きちんと守っている」が6.3ポイント上昇しており、平成27年度以降の調査で過去最高値となった。「きちんと守っている」と「だいたい守っている」を合わせた割合は96.8%となり、平成27年度の94.1%から上昇していることから、市民のごみ出しルールの遵守が向上していることがうかがえる。



※ 上記グラフの「その他」については、「どちらともいえない」、「あまり守っていない」、「全然守っていない」、「分からない」、「無回答」を合算した数値である。

なお、「分からない」という回答肢は平成28年度まで設定しており、それぞれの数値は以下のとおりである。

回答肢	27年度	28年度	29年度	30年度
どちらともいえない	1.9%	1.0%	1.2%	0.8%
あまり守っていない	0.9%	0.3%	0.1%	0.3%
全然守っていない	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%
分からない	0.7%	0.4%	—	—
無回答	2.5%	4.3%	1.8%	2.0%

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「きちんと守っている」と「だいたい守っている」を合わせた割合は30歳代が98.5%と最も高く、次いで60歳代(98.2%)、40歳代(98.1%)となっている。

職業別：「きちんと守っている」と「だいたい守っている」を合わせた割合は学生が100%で最も高く、次いで公務員とその他（98.7%）、会社員（97.5%）となっている。

地区別：「きちんと守っている」と「だいたい守っている」を合わせた割合は南区が98.3%と最も高く、次いで中央区（97.5%）、東区（97.0%）となっている。

■属性別回答

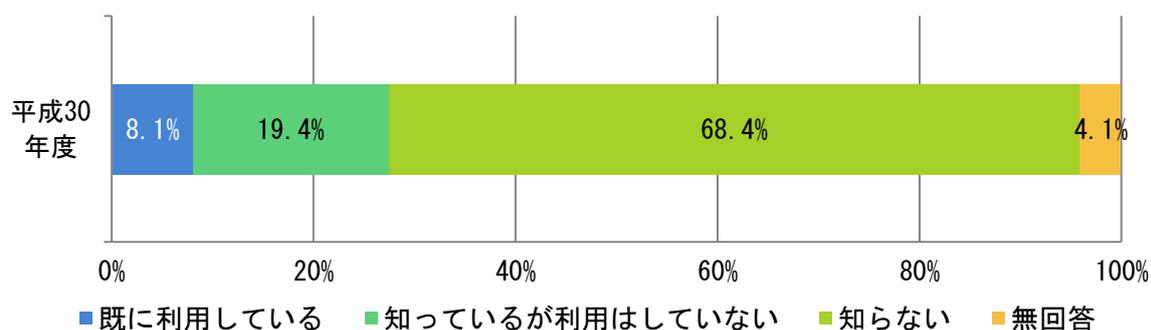
	合計	きちんと守っている	だいたい守っている	どちらともいえない	あまり守っていない	全然守っていない	無回答
全体	1,068	77.6%	19.2%	0.8%	0.3%	0.1%	2.0%
年齢別							
20歳代	85	45.9%	49.4%	3.5%	1.2%	0.0%	0.0%
30歳代	137	73.7%	24.8%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代	163	74.2%	23.9%	0.6%	0.0%	0.0%	1.2%
50歳代	178	80.9%	16.9%	0.6%	0.6%	0.0%	1.1%
60歳代	216	86.6%	11.6%	0.5%	0.0%	0.5%	0.9%
70歳代	178	87.1%	9.0%	0.6%	0.6%	0.0%	2.8%
80歳代	83	77.1%	16.9%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%
職業別							
会社員	357	73.7%	23.8%	1.4%	0.3%	0.3%	0.6%
自営業	74	75.7%	20.3%	1.4%	1.4%	0.0%	1.4%
農林漁業	12	58.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%
公務員	75	78.7%	20.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
学生	21	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	350	84.0%	12.6%	0.3%	0.3%	0.0%	2.9%
その他	144	81.3%	17.4%	0.7%	0.0%	0.0%	0.7%
地区別							
中央区	272	74.3%	23.2%	1.1%	0.0%	0.0%	1.5%
東区	273	80.2%	16.8%	0.7%	0.4%	0.4%	1.5%
西区	127	78.7%	17.3%	0.8%	0.0%	0.0%	3.1%
南区	175	78.9%	19.4%	0.6%	0.0%	0.0%	1.1%
北区	189	77.8%	19.0%	1.1%	1.1%	0.0%	1.1%

問17. スマートフォン・タブレット向けの「熊本市ごみ分別アプリ」を知っていますか。(1つだけ)

平成30年度より導入した「熊本市ごみ分別アプリ」の認知度について、新規で設問を追加し調査を行った。

「知らない」が68.4%と最も高く、次いで「知っているが利用はしていない」が19.4%、「既に利用している」が8.1%となっている。

「既に利用している」、「知っているが利用はしていない」を合わせた割合は27.5%である。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「既に利用している」は50歳代が12.9%で最も高く、「知っているが利用はしていない」は50歳代と70歳代が21.9%で最も高く、「知らない」は20歳代が80.0%で最も高くなっている。

「既に利用している」、「知っているが利用はしていない」を合わせた割合は50歳代が34.8%と最も高く、次いで40歳代(29.4%)、30歳代(27.7%)となっている。

職業別：「既に利用している」は農林漁業が16.7%で最も高く、「知っているが利用はしていない」は公務員が25.3%で最も高く、「知らない」は学生が81.0%で最も高くなっている。

「既に利用している」、「知っているが利用はしていない」を合わせた割合は公務員が38.6%と最も高く、次いでその他(36.8%)、農林漁業(33.4%)となっている。

地区別：「既に利用している」は北区が9.5%で最も高く、「知っているが利用はしていない」は南区が20.6%で最も高く、「知らない」は北区が70.4%で最も高くなっている。

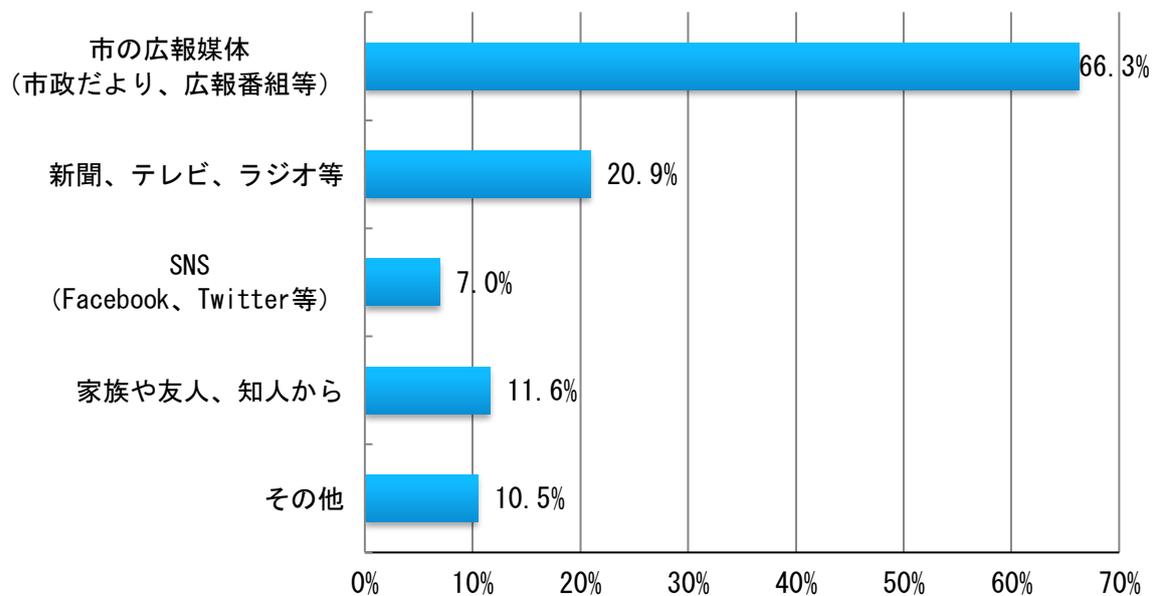
「既に利用している」、「知っているが利用はしていない」を合わせた割合は東区が28.6%と最も高く、次いで中央区(28.3%)、西区(27.6%)となっている。

■属性別回答

	合計	既に利用している	知っているが 利用はしていない	知らない	無回答
全体	1,068	8.1%	19.4%	68.4%	4.1%
年齢別					
20歳代	85	3.5%	16.5%	80.0%	0.0%
30歳代	137	10.9%	16.8%	70.8%	1.5%
40歳代	163	9.8%	19.6%	67.5%	3.1%
50歳代	178	12.9%	21.9%	62.4%	2.8%
60歳代	216	5.6%	20.8%	70.4%	3.2%
70歳代	178	5.6%	21.9%	67.4%	5.1%
80歳代	83	4.8%	15.7%	67.5%	12.0%
職業別					
会社員	357	7.0%	16.8%	74.2%	2.0%
自営業	74	4.1%	24.3%	67.6%	4.1%
農林漁業	12	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%
公務員	75	13.3%	25.3%	60.0%	1.3%
学生	21	0.0%	19.0%	81.0%	0.0%
無職	350	6.6%	19.4%	68.9%	5.1%
その他	144	13.9%	22.9%	59.0%	4.2%
地区別					
中央区	272	8.1%	20.2%	69.1%	2.6%
東区	273	8.8%	19.8%	67.4%	4.0%
西区	127	7.1%	20.5%	66.1%	6.3%
南区	175	6.3%	20.6%	68.6%	4.6%
北区	189	9.5%	18.0%	70.4%	2.1%

問17-1. (問17. で「既に利用している」と答えられた方)「熊本市ごみ分別アプリ」をどこで知りましたか。(複数回答可)

問17. で「既に利用している」と回答した86人については、「市の広報媒体」が66.3%と最も高く、次いで「新聞、テレビ、ラジオ等」が20.9%、「家族や友人、知人から」が11.6%となっている。



【参考】

「その他」の内容

- ・ ごみの分別方法をインターネットで検索して知った

【回答者の属性別にみた結果】

※それぞれの母数が少ないため分析は行わない。

■属性別回答

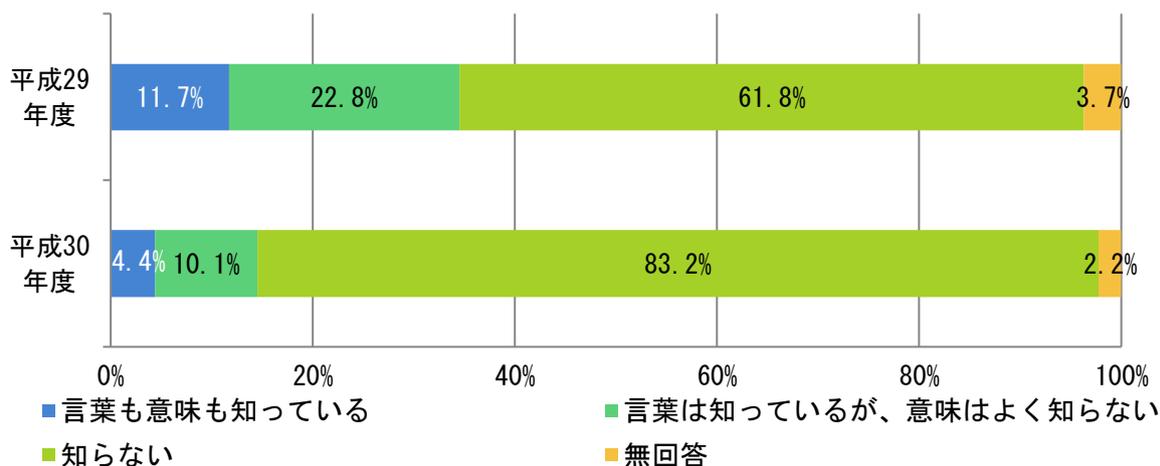
	合計	(市政だより、 市の広報媒体 市政広報番組等)	新聞、 テレビ、 ラジオ等	(Facebook、 Twitter等) SNS	家族や友人、 知人から	その他
全体	86	66.3%	20.9%	7.0%	11.6%	10.5%
年齢別						
20歳代	3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代	15	60.0%	20.0%	6.7%	13.3%	20.0%
40歳代	16	56.3%	6.3%	6.3%	6.3%	12.5%
50歳代	23	52.2%	8.7%	13.0%	26.1%	17.4%
60歳代	12	91.7%	25.0%	8.3%	8.3%	0.0%
70歳代	10	70.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
80歳代	4	100.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%
職業別						
会社員	25	56.0%	16.0%	12.0%	8.0%	20.0%
自営業	3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
農林漁業	2	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
公務員	10	50.0%	40.0%	0.0%	30.0%	0.0%
学生	0	—	—	—	—	—
無職	23	73.9%	21.7%	4.3%	0.0%	8.7%
その他	20	70.0%	15.0%	5.0%	25.0%	5.0%
地区別						
中央区	22	45.5%	22.7%	9.1%	13.6%	13.6%
東区	24	62.5%	16.7%	4.2%	12.5%	12.5%
西区	9	77.8%	44.4%	11.1%	11.1%	0.0%
南区	11	100.0%	18.2%	0.0%	0.0%	18.2%
北区	18	66.7%	11.1%	11.1%	16.7%	5.6%

■「COOL CHOICE」について

問18.「COOL CHOICE」について知っていますか。(1つだけ)

「知らない」が83.2%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、意味はよく知らない」が10.1%、「言葉も意味も知っている」が4.4%となっている。

前回調査と比較すると、「言葉も意味も知っている」と「言葉は知っているが、意味はよく知らない」を合わせた割合は34.5%から14.5%に減少しており、認知が進んでいないことがうかがえる。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「言葉も意味も知っている」は50歳代が6.7%と最も高く、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」は80歳代が16.9%、「知らない」は40歳代が89.6%と最も高くなっている。

「言葉も意味も知っている」、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」を合わせた割合は20歳代が17.6%と最も高く、次いで80歳代（16.9%）、30歳代（16.8%）となっている。

職業別：「言葉も意味も知っている」と「言葉は知っているが、意味はよく知らない」は学生がそれぞれ14.3%、19.0%と最も高く、「知らない」は農林漁業が91.7%と最も高くなっている。

「言葉も意味も知っている」、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」を合わせた割合は学生が33.3%と最も高く、次いでその他（16.7%）、会社員（15.7%）となっている。

地区別：「言葉も意味も知っている」は中央区が7.4%と最も高く、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」は南区が14.3%、「知らない」は東区が85.3%と最も高くなっている。

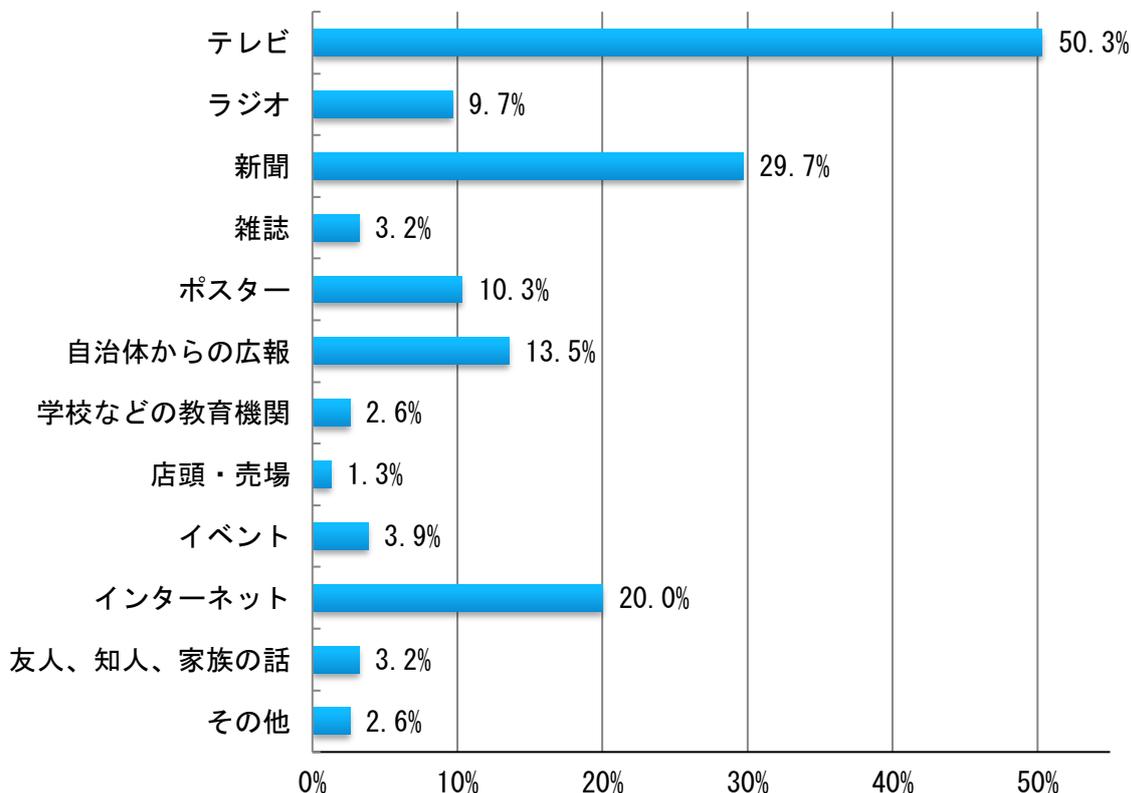
「言葉も意味も知っている」、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」を合わせた割合は南区が16.6%と最も高く、次いで西区（16.5%）、中央区（15.9%）となっている。

■属性別回答

	合計	言葉も意味も知っている	言葉は知っているが、 意味はよく知らない	知らない	無回答
全体	1,068	4.4%	10.1%	83.2%	2.2%
年齢別					
20歳代	85	4.7%	12.9%	82.4%	0.0%
30歳代	137	5.1%	11.7%	83.2%	0.0%
40歳代	163	3.1%	7.4%	89.6%	0.0%
50歳代	178	6.7%	7.9%	84.3%	1.1%
60歳代	216	5.1%	9.7%	84.7%	0.5%
70歳代	178	4.5%	10.7%	79.8%	5.1%
80歳代	83	0.0%	16.9%	74.7%	8.4%
職業別					
会社員	357	5.3%	10.4%	84.0%	0.3%
自営業	74	4.1%	10.8%	83.8%	1.4%
農林漁業	12	8.3%	0.0%	91.7%	0.0%
公務員	75	5.3%	6.7%	88.0%	0.0%
学生	21	14.3%	19.0%	66.7%	0.0%
無職	350	2.3%	10.6%	83.4%	3.7%
その他	144	6.3%	10.4%	81.3%	2.1%
地区別					
中央区	272	7.4%	8.5%	82.4%	1.8%
東区	273	3.7%	9.2%	85.3%	1.8%
西区	127	4.7%	11.8%	80.3%	3.1%
南区	175	2.3%	14.3%	82.3%	1.1%
北区	189	3.7%	10.1%	84.7%	1.6%

問18-1. (問18. で「言葉も意味も知っている」または「言葉は知っているが、意味はよく知らない」と答えられた方)「COOL CHOICE」を知ったきっかけは何ですか。(複数回答可)

問18. で「言葉も意味も知っている」または「言葉は知っているが、意味はよく知らない」と回答した155人については、「テレビ」が50.3%と最も高く、次いで「新聞」が29.7%、「インターネット」が20.0%となっている。



【参考】

「その他」の内容
特段の記載なし

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「テレビ」、「新聞」、「雑誌」は70歳代が最も高く、「ラジオ」、「友人、知人、家族の話」は60歳代が、「ポスター」は30歳代が、「自治体からの広報」は80歳代が、「学校などの教育機関」、「店頭・売場」は20歳代が、「イベント」、「インターネット」は50歳代が最も高くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「テレビ」、「店頭・売場」は中央区が最も高く、「ラジオ」、「ポスター」、「学校などの教育機関」、「友人、知人、家族の話」は東区が、「新聞」、「インターネット」は北区が、「雑誌」、「自治体からの広報」、「イベント」は南区が最も高くなっている。

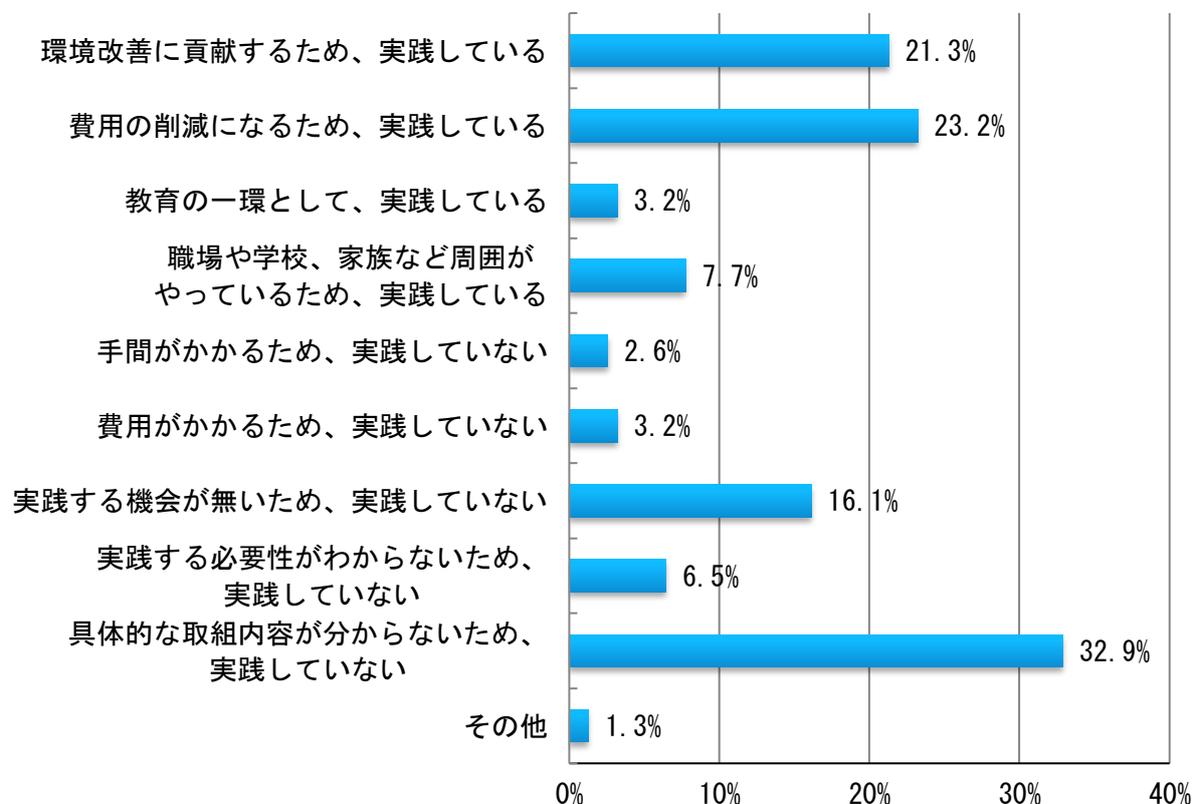
■属性別回答

	合計	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	ポスター	自治体からの広報	学校などの教育機関	店頭・売場	イベント	インターネット	友人、知人、家族の話	その他
全体	155	50.3%	9.7%	29.7%	3.2%	10.3%	13.5%	2.6%	1.3%	3.9%	20.0%	3.2%	2.6%
年齢別													
20歳代	15	46.7%	13.3%	26.7%	0.0%	20.0%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%	26.7%	0.0%	6.7%
30歳代	23	52.2%	8.7%	8.7%	4.3%	26.1%	13.0%	4.3%	4.3%	4.3%	21.7%	0.0%	0.0%
40歳代	17	52.9%	5.9%	5.9%	0.0%	5.9%	17.6%	5.9%	0.0%	0.0%	17.6%	0.0%	5.9%
50歳代	26	42.3%	11.5%	38.5%	3.8%	11.5%	11.5%	3.8%	0.0%	7.7%	26.9%	0.0%	3.8%
60歳代	32	46.9%	15.6%	21.9%	3.1%	9.4%	15.6%	0.0%	0.0%	3.1%	25.0%	9.4%	0.0%
70歳代	27	66.7%	0.0%	59.3%	7.4%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	7.4%	11.1%	3.7%	0.0%
80歳代	14	35.7%	7.1%	42.9%	0.0%	0.0%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	7.1%
職業別													
会社員	56	46.4%	16.1%	25.0%	0.0%	10.7%	12.5%	0.0%	0.0%	1.8%	26.8%	3.6%	3.6%
自営業	11	27.3%	18.2%	45.5%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%
農林漁業	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	9	22.2%	0.0%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%
学生	7	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%
無職	45	62.2%	4.4%	42.2%	4.4%	4.4%	11.1%	0.0%	2.2%	6.7%	17.8%	2.2%	2.2%
その他	24	54.2%	4.2%	29.2%	8.3%	25.0%	29.2%	4.2%	0.0%	0.0%	12.5%	8.3%	0.0%
地区別													
中央区	43	58.1%	9.3%	27.9%	4.7%	7.0%	14.0%	0.0%	4.7%	2.3%	25.6%	4.7%	0.0%
東区	35	42.9%	14.3%	25.7%	2.9%	14.3%	11.4%	8.6%	0.0%	2.9%	8.6%	5.7%	2.9%
西区	21	57.1%	4.8%	33.3%	0.0%	9.5%	4.8%	0.0%	0.0%	4.8%	19.0%	4.8%	4.8%
南区	29	51.7%	10.3%	31.0%	6.9%	13.8%	20.7%	3.4%	0.0%	6.9%	13.8%	0.0%	0.0%
北区	26	38.5%	3.8%	34.6%	0.0%	7.7%	15.4%	0.0%	0.0%	3.8%	34.6%	0.0%	7.7%

問18-2. (問18. で「言葉も意味も知っている」または「言葉は知っているが、意味はよく知らない」と答えられた方)「COOL CHOICE」を実践している、または実践していない理由を教えてください。(複数回答可)

問18. で「言葉も意味も知っている」または「言葉は知っているが、意味はよく知らない」と回答した155人については、「具体的な取組内容が分からないため、実践していないため」が32.9%で最も高く、次いで「費用の削減になるため、実践している」が23.2%、「環境改善に貢献するため、実践している」が21.3%となっている。

実践している回答肢4項目の合計55.4ポイントに対し、実践していない回答肢5項目の合計61.3ポイントであり、COOL CHOICEを認知していても必ずしも実践行動に移せていないことがうかがえる。



【参考】

「その他」の内容
特段の記載なし

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：実践している割合は70歳代が最も高く、次いで50歳代、40歳代となっており、実践していない割合は30歳代が最も高く、次いで80歳代、20歳代となっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：実践している割合は中央区が最も高く、次いで北区、南区となっており、実践していない割合は南区が最も高く、次いで東区、西区となっている。

■属性別回答

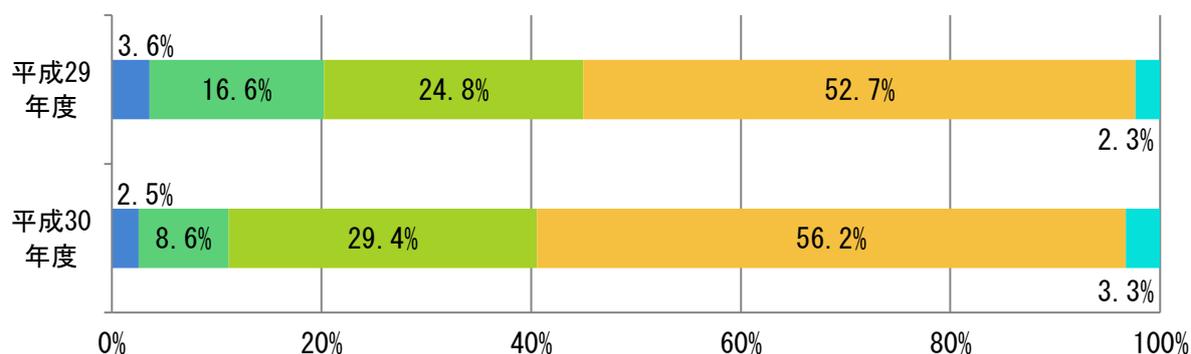
	合計	実践している				実践していない					その他
		環境改善に貢献するため	費用の削減になるため	教育の一環として	職場や学校、家族など周囲がやっているため	手間がかかるため	費用がかかるため	実践する機会が無い	実践する必要性が分からないため	具体的な取組内容が分からないため	
全体	155	21.3%	23.2%	3.2%	7.7%	2.6%	3.2%	16.1%	6.5%	32.9%	1.3%
年齢別											
20歳代	15	13.3%	26.7%	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%	26.7%	6.7%	33.3%	0.0%
30歳代	23	4.3%	8.7%	4.3%	0.0%	0.0%	4.3%	34.8%	17.4%	30.4%	0.0%
40歳代	17	17.6%	29.4%	5.9%	11.8%	0.0%	5.9%	11.8%	0.0%	41.2%	0.0%
50歳代	26	42.3%	30.8%	3.8%	11.5%	7.7%	7.7%	15.4%	3.8%	19.2%	0.0%
60歳代	32	25.0%	21.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	3.1%	46.9%	6.3%
70歳代	27	25.9%	33.3%	7.4%	22.2%	0.0%	0.0%	14.8%	7.4%	14.8%	0.0%
80歳代	14	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	7.1%	7.1%	50.0%	0.0%
職業別											
会社員	56	23.2%	23.2%	3.6%	7.1%	3.6%	3.6%	17.9%	5.4%	35.7%	1.8%
自営業	11	27.3%	36.4%	9.1%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	0.0%
農林漁業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	9	22.2%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%
学生	7	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%
無職	45	22.2%	15.6%	0.0%	6.7%	2.2%	4.4%	8.9%	8.9%	35.6%	0.0%
その他	24	16.7%	33.3%	8.3%	4.2%	0.0%	4.2%	29.2%	8.3%	33.3%	4.2%
地区別											
中央区	43	30.2%	39.5%	4.7%	14.0%	2.3%	2.3%	14.0%	7.0%	27.9%	0.0%
東区	35	11.4%	14.3%	0.0%	8.6%	0.0%	2.9%	20.0%	8.6%	31.4%	2.9%
西区	21	23.8%	9.5%	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%	19.0%	4.8%	38.1%	4.8%
南区	29	20.7%	17.2%	3.4%	3.4%	10.3%	10.3%	20.7%	6.9%	37.9%	0.0%
北区	26	19.2%	26.9%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	3.8%	30.8%	0.0%

■「ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）」について

問19.「ZEH」について知っていますか。（1つだけ）

「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」が56.2%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」が29.4%、「少しは知っている」が8.6%、「よく知っている」が2.5%となっている。

「よく知っている」と「少しは知っている」を合わせた割合は11.1%に留まり、前回調査の20.2%から減少しており、認知が進んでいないことがうかがえる。



- よく知っている
- 少しは知っている
- 言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない
- 言葉を聞いたこともなく、まったく知らない
- 無回答

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は30歳代が19.0%と最も高く、次いで40歳代（17.8%）、50歳代（11.8%）となっている。

「言葉は聞いたことがあるがあまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は20歳代が91.8%と最も高く、60歳代（89.8%）、80歳代（88.0%）となっている。

職業別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は会社員が16.8%と最も高く、次いで公務員（14.7%）、その他（12.5%）となっている。

「言葉は聞いたことがあるがあまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は農林漁業が91.7%と最も高く、次いで学生（90.4%）、無職（89.4%）となっている。

地区別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は中央区が12.1%と最も高く、次いで北区（11.1%）、西区（11.0%）となっている。

「言葉は聞いたことがあるがあまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は南区が88.0%と最も高く、次いで東区（87.2%）、中央区と北区（85.7%）となっている。

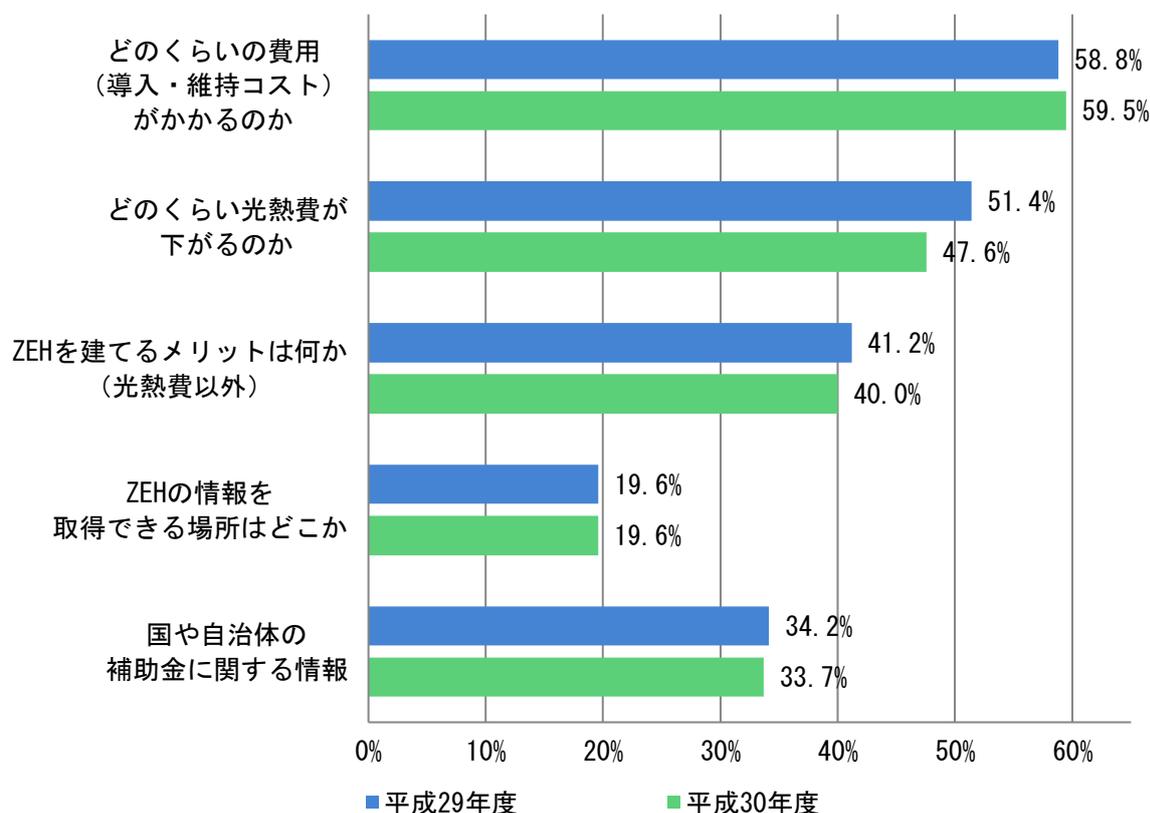
■属性別回答

	合計	よく知っている	少しは知っている	言葉は聞いたことがあるが、 あまり知らない	言葉を聞いたこともなく、 まったく知らない	無回答
全体	1,068	2.5%	8.6%	29.4%	56.2%	3.3%
年齢別						
20歳代	85	2.4%	5.9%	35.3%	56.5%	0.0%
30歳代	137	4.4%	14.6%	43.1%	38.0%	0.0%
40歳代	163	3.1%	14.7%	31.9%	49.7%	0.6%
50歳代	178	1.7%	10.1%	34.8%	51.7%	1.7%
60歳代	216	2.3%	7.4%	23.6%	66.2%	0.5%
70歳代	178	3.4%	3.4%	19.1%	65.2%	9.0%
80歳代	83	0.0%	1.2%	22.9%	65.1%	10.8%
職業別						
会社員	357	4.2%	12.6%	35.9%	47.1%	0.3%
自営業	74	2.7%	6.8%	29.7%	59.5%	1.4%
農林漁業	12	0.0%	0.0%	25.0%	66.7%	8.3%
公務員	75	2.7%	12.0%	25.3%	60.0%	0.0%
学生	21	0.0%	9.5%	33.3%	57.1%	0.0%
無職	350	2.0%	3.4%	23.1%	66.3%	5.1%
その他	144	0.7%	11.8%	31.3%	51.4%	4.9%
地区別						
中央区	272	1.8%	10.3%	35.3%	50.4%	2.2%
東区	273	2.6%	8.1%	23.8%	63.4%	2.2%
西区	127	3.1%	7.9%	26.0%	55.9%	7.1%
南区	175	2.3%	8.6%	32.0%	56.0%	1.1%
北区	189	3.7%	7.4%	29.6%	56.1%	3.2%

問20. 「ZEH」について具体的にどのようなことが知りたいですか。(複数回答可)

「どのくらいの費用(導入・維持コスト)がかかるのか」が59.5%と最も高く、次いで「どのくらい光熱費が下がるのか」が47.6%、「ZEHを建てるメリットは何か(光熱費以外)」が40.0%となっている。

前述からZEHを導入する際の、費用やメリットに関心があることがわかる。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別: 「どのくらいの費用(導入・維持コスト)がかかるのか」、「ZEHを建てるメリットは何か(光熱費以外)」、「国や自治体の補助金に関する情報」は20歳代が最も高く、「どのくらい光熱費が下がるのか」は30歳代が、「ZEHの情報を取得できる場所はどこか」は50歳代が最も高くなっている。

職業別: 「どのくらいの費用(導入・維持コスト)がかかるのか」と「ZEHを建てるメリットは何か(光熱費以外)」は学生が最も高く、「どのくらい光熱費が下がるのか」と「国や自治体の補助金に関する情報」は会社員が、「ZEHの情報を取得できる場所はどこか」は自営業が最も高くなっている。

地区別: 「国や自治体の補助金に関する情報」は西区が最も高く、それ以外の項目は南区が最も高くなっている。

■属性別回答

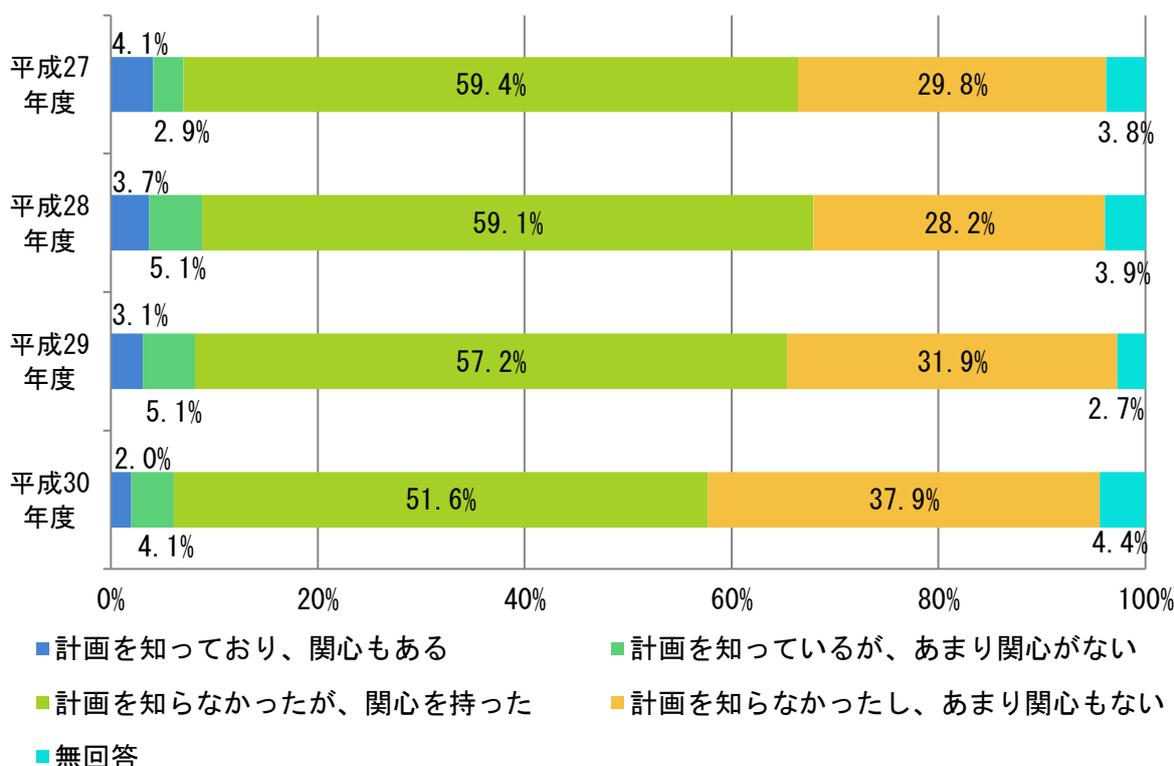
	合計	(導入・維持コスト)が かかるのか どのくらいの費用	どのくらい光熱費が 下がるのか	ZEHを建てるメリッ トは何か (光熱費以外)	ZEHの情報を 取得できる場所はど こか	国や自治体の補助金に 関する情報
全体	1,068	59.5%	47.6%	40.0%	19.6%	33.7%
年齢別						
20歳代	85	75.3%	56.5%	54.1%	17.6%	44.7%
30歳代	137	67.2%	59.9%	52.6%	18.2%	43.8%
40歳代	163	72.4%	57.1%	51.5%	17.2%	41.1%
50歳代	178	66.3%	53.4%	43.8%	24.7%	34.8%
60歳代	216	58.8%	47.2%	35.2%	20.4%	32.9%
70歳代	178	44.4%	27.5%	25.8%	18.5%	19.7%
80歳代	83	27.7%	28.9%	18.1%	20.5%	21.7%
職業別						
会社員	357	69.7%	57.7%	47.9%	21.0%	40.3%
自営業	74	55.4%	40.5%	47.3%	24.3%	33.8%
農林漁業	12	50.0%	50.0%	16.7%	16.7%	25.0%
公務員	75	66.7%	50.7%	46.7%	16.0%	37.3%
学生	21	81.0%	38.1%	52.4%	14.3%	38.1%
無職	350	48.9%	38.3%	30.9%	19.7%	28.0%
その他	144	59.0%	49.3%	37.5%	18.8%	30.6%
地区別						
中央区	272	58.8%	49.6%	44.1%	20.2%	33.5%
東区	273	59.0%	44.7%	35.5%	20.9%	31.9%
西区	127	59.1%	48.8%	37.0%	17.3%	41.7%
南区	175	63.4%	50.9%	48.6%	23.4%	38.3%
北区	189	58.7%	43.9%	35.4%	14.8%	28.0%

■「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」について

問 2 1. 「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」を知っていますか。また、どのくらい関心を持っていますか。(1つだけ)

「計画を知らなかったが、関心を持った」が51.6%と最も高く、次いで「計画を知らなかったし、あまり関心もない」が37.9%、「計画を知っているが、あまり関心がない」が4.1%となっている。

前回調査と比較すると、「計画を知っており、関心もある」、「計画を知っているが、あまり関心がない」を合わせた割合（計画を知っている）は6.1%となり、2.1ポイント減少している。また、「計画を知っており、関心もある」、「計画を知らなかったが、関心を持った」を合わせた割合（関心がある）は、53.6%となり、6.7ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「計画を知っており、関心もある」と「計画を知らなかったが、関心を持った」は50歳代がそれぞれ3.4%、57.9%と最も高く、「計画を知っているが、あまり関心がない」は70歳代が7.9%、「計画を知らなかったし、あまり関心もない」は20歳代が52.9%と最も高くなっている。

職業別：「計画を知っており、関心もある」は公務員が5.3%と最も高く、「計画を知っているが、あまり関心がない」、「計画を知らなかったし、あまり関心もない」は学生がそれぞれ9.5%、42.9%と最も高く、「計画を知らなかったが、関心をもった」は農林漁業が58.3%と最も高くなっている。

地区別：「計画を知っており、関心もある」は南区が3.4%と最も高く、「計画を知っているが、あまり関心がない」、「計画を知らなかったが、関心を持った」は北区がそれぞれ5.8%、54.0%と最も高く、「計画を知らなかったし、あまり関心もない」は東区が41.0%と最も高くなっている。

■属性別回答

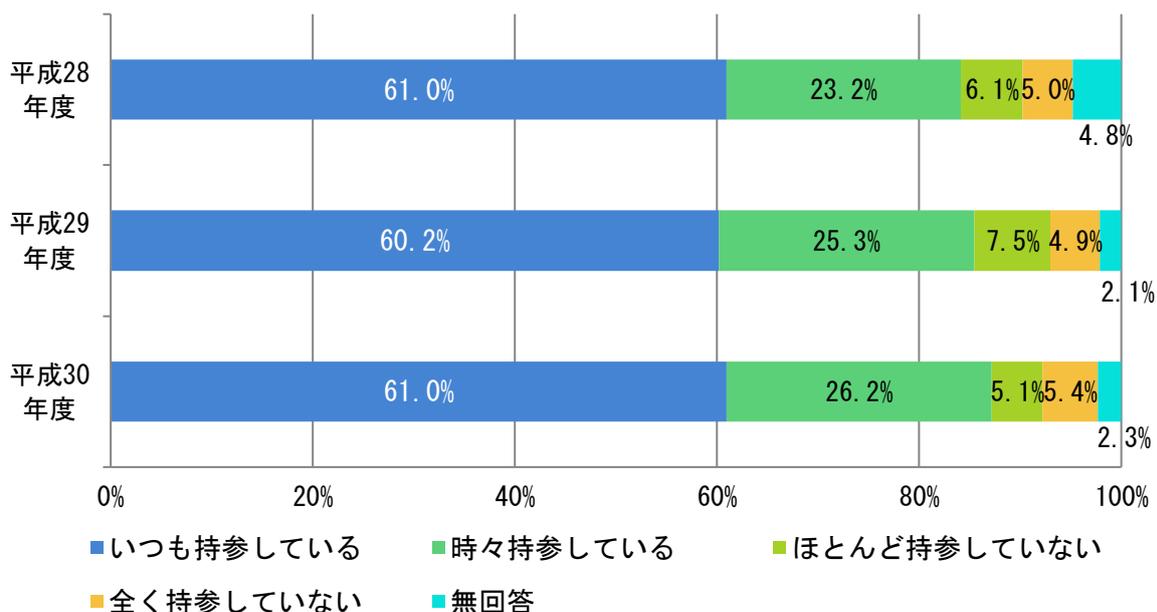
	合計	計画を知っており、 関心もある	計画を知っているが、 あまり関心がない	計画を知らなかったが、 関心を持った	計画を知らなかったし、 あまり関心もない	無回答
全体	1,068	2.0%	4.1%	51.6%	37.9%	4.4%
年齢別						
20歳代	85	0.0%	4.7%	42.4%	52.9%	0.0%
30歳代	137	0.0%	3.6%	51.1%	45.3%	0.0%
40歳代	163	2.5%	1.2%	56.4%	39.3%	0.6%
50歳代	178	3.4%	2.8%	57.9%	34.3%	1.7%
60歳代	216	2.8%	5.1%	53.7%	37.5%	0.9%
70歳代	178	2.8%	7.9%	47.2%	30.3%	11.8%
80歳代	83	0.0%	3.6%	42.2%	37.3%	16.9%
職業別						
会社員	357	1.7%	3.1%	56.3%	38.7%	0.3%
自営業	74	2.7%	4.1%	56.8%	33.8%	2.7%
農林漁業	12	0.0%	8.3%	58.3%	33.3%	0.0%
公務員	75	5.3%	4.0%	53.3%	37.3%	0.0%
学生	21	0.0%	9.5%	47.6%	42.9%	0.0%
無職	350	1.7%	4.6%	47.7%	37.4%	8.6%
その他	144	2.1%	5.6%	47.2%	41.0%	4.2%
地区別						
中央区	272	2.2%	3.3%	52.6%	37.9%	4.0%
東区	273	1.5%	5.1%	49.5%	41.0%	2.9%
西区	127	2.4%	3.1%	51.2%	36.2%	7.1%
南区	175	3.4%	3.4%	51.4%	39.4%	2.3%
北区	189	1.1%	5.8%	54.0%	34.9%	4.2%

■「レジ袋削減」について

問22. 買い物に行くとき「マイバッグ」などを持参していますか。(1つだけ)

「いつも持参している」が61.0%と最も高く、次いで「時々持参している」が26.2%となっている。

前回調査と比較すると、「いつも持参している」、「時々持参している」を合わせた割合は87.2%と平成29年の85.5%から1.7ポイント上昇している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「いつも持参している」、「時々持参している」を合わせた割合は70歳代が93.3%と最も高く、「ほとんど持参していない」、「全く持参していない」を合わせた割合は20歳代が21.2%と最も高くなっている。

職業別：「いつも持参している」、「時々持参している」を合わせた割合は農林漁業が91.7%と最も高く、「ほとんど持参していない」、「全く持参していない」を合わせた割合は学生が19.0%と最も高くなっている。

地区別：「いつも持参している」、「時々持参している」を合わせた割合は南区が89.1%と最も高く、「ほとんど持参していない」、「全く持参していない」を合わせた割合は東区が11.4%と最も高くなっている。

■属性別回答

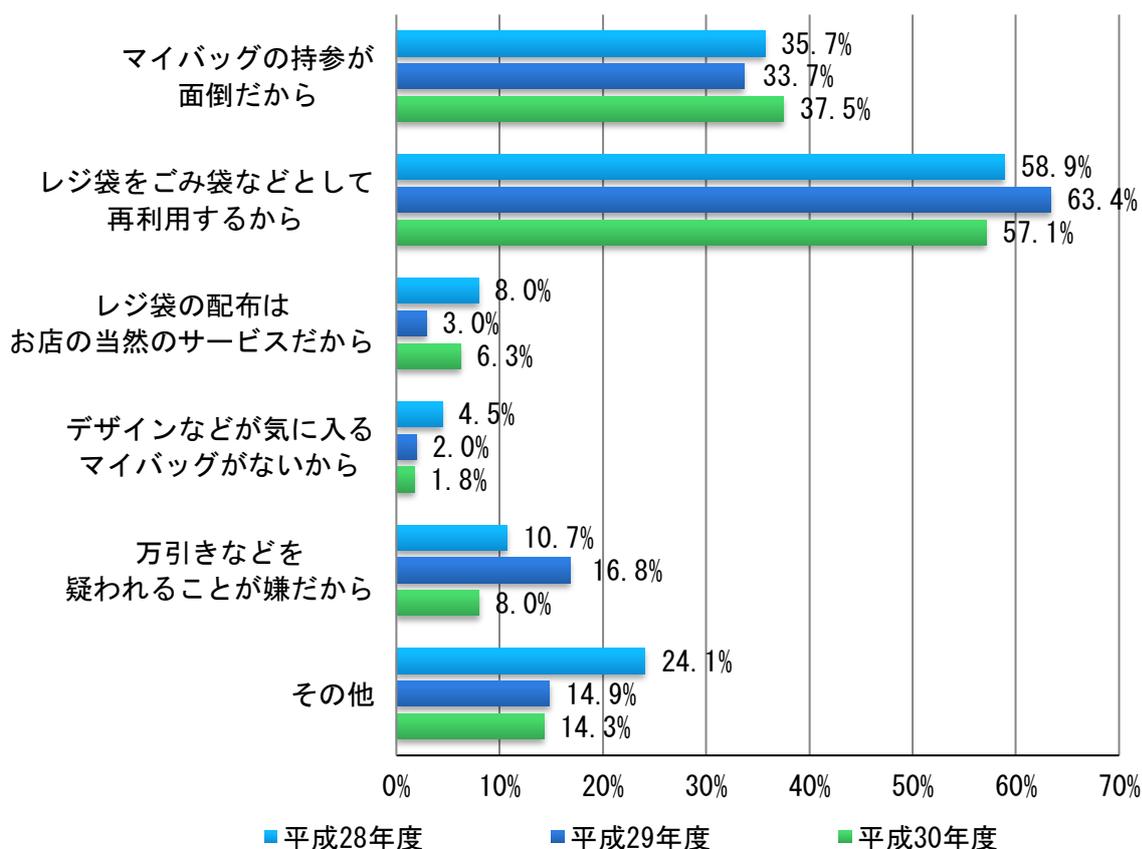
	合計	いつも持参している	時々持参している	ほとんど持参していない	全く持参していない	無回答
全体	1,068	61.0%	26.2%	5.1%	5.4%	2.3%
年齢別						
20歳代	85	31.8%	45.9%	9.4%	11.8%	1.2%
30歳代	137	46.7%	40.9%	5.8%	6.6%	0.0%
40歳代	163	50.9%	33.1%	9.8%	5.5%	0.6%
50歳代	178	61.8%	26.4%	4.5%	6.2%	1.1%
60歳代	216	74.1%	16.2%	2.8%	6.5%	0.5%
70歳代	178	78.1%	15.2%	1.7%	1.7%	3.4%
80歳代	83	65.1%	16.9%	4.8%	2.4%	10.8%
職業別						
会社員	357	48.2%	36.7%	8.1%	6.4%	0.6%
自営業	74	51.4%	32.4%	8.1%	6.8%	1.4%
農林漁業	12	75.0%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%
公務員	75	57.3%	29.3%	5.3%	8.0%	0.0%
学生	21	38.1%	42.9%	9.5%	9.5%	0.0%
無職	350	77.4%	13.4%	1.7%	3.7%	3.7%
その他	144	64.6%	25.0%	2.8%	5.6%	2.1%
地区別						
中央区	272	62.5%	25.4%	4.8%	5.1%	2.2%
東区	273	60.8%	25.6%	4.8%	6.6%	2.2%
西区	127	65.4%	22.0%	6.3%	3.1%	3.1%
南区	175	60.0%	29.1%	4.6%	5.7%	0.6%
北区	189	58.7%	28.6%	5.8%	5.3%	1.6%

問22-1. (問22. で「ほとんど持参していない」、「全く持参していない」と答えられた方) どのような理由から、マイバッグを持参していないのですか。(複数回答可)

問22. で「ほとんど持参していない」又は「全く持参していない」と回答した112人については、「レジ袋をごみ袋などとして再利用するから」が57.1%と最も高く、次いで「マイバッグの持参が面倒だから」が37.5%、「万引きなどを疑われることが嫌だから」が8.0%となっている。

前回調査と比較すると、「マイバッグの持参が面倒だから」と「レジ袋の配布はお店の当然のサービスだから」が上昇している。

過去3年間の推移では、順位等について大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・ マイバッグを持参するのを忘れるから。
- ・ レジ袋有料配布の店舗でも1枚3円で負担に感じないから。
- ・ レジ袋削減による効果を感じられないため。

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「マイバッグの持参が面倒だから」は20歳代が55.6%と最も高く、「レジ袋をごみ袋などとして再利用するから」、「レジ袋の配布はお店の当然のサービスだから」、「万引きなどを疑われることが嫌だから」は70歳代がそれぞれ83.3%、16.7%、16.7%と最も高く、「デザインなどが気に入るマイバッグがないから」は30歳代が5.9%と最も高くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「マイバッグの持参が面倒だから」、「レジ袋をごみ袋などとして再利用するから」は西区がそれぞれ 50.0%、66.7%と最も高く、「レジ袋の配布はお店の当然のサービスだから」は東区が 9.7%、「デザインなどが気に入るマイバッグがないから」、「万引きなどを疑われることが嫌だから」は中央区がそれぞれ 3.7%、14.8%と最も高くなっている。

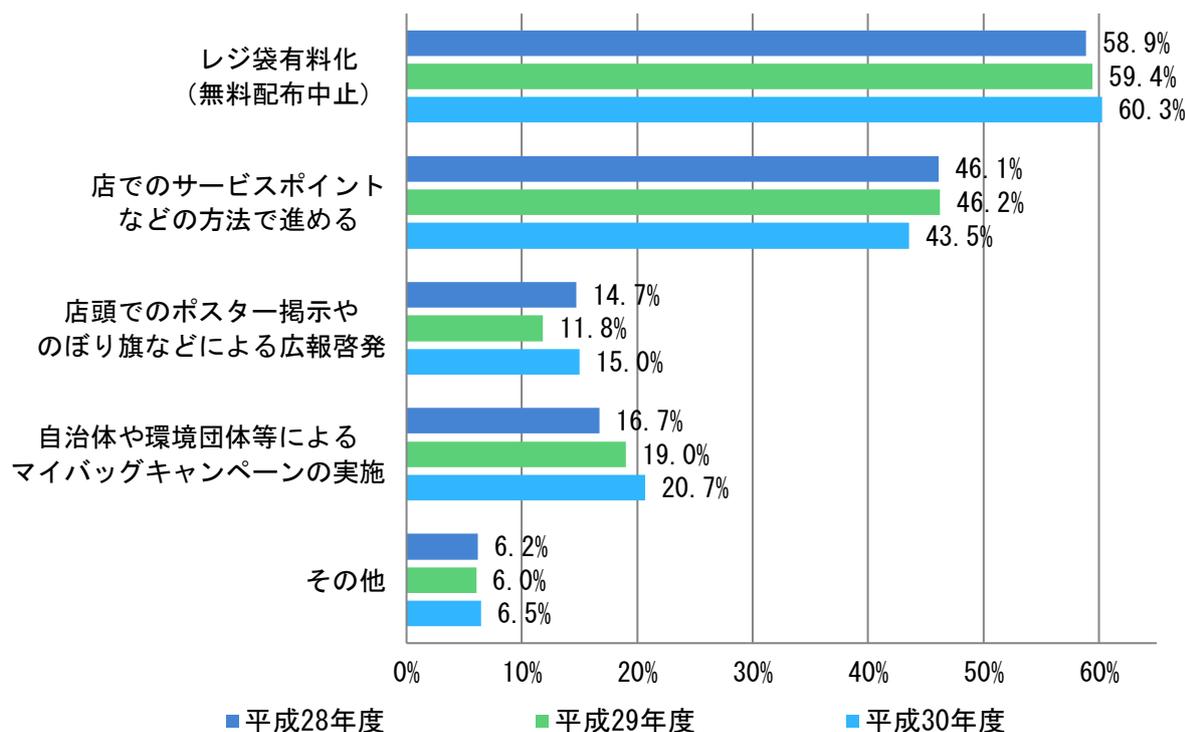
■属性別回答

	合計	マイバッグの持参が面倒だから	レジ袋をごみ袋などとして再利用するから	お店の当然のサービスだから レジ袋の配布は	デザインなどが気に入るマイバッグがないから	疑われることが嫌だから 万引きなどを	その他
全体	112	37.5%	57.1%	6.3%	1.8%	8.0%	14.3%
年齢別							
20歳代	18	55.6%	61.1%	5.6%	0.0%	0.0%	16.7%
30歳代	17	29.4%	70.6%	11.8%	5.9%	11.8%	5.9%
40歳代	25	40.0%	48.0%	4.0%	0.0%	12.0%	16.0%
50歳代	19	36.8%	57.9%	0.0%	5.3%	10.5%	10.5%
60歳代	20	35.0%	45.0%	10.0%	0.0%	5.0%	15.0%
70歳代	6	16.7%	83.3%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%
80歳代	6	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
職業別							
会社員	52	38.5%	67.3%	9.6%	1.9%	7.7%	7.7%
自営業	11	54.5%	18.2%	9.1%	0.0%	27.3%	18.2%
農林漁業	1	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	10	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
学生	4	50.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	19	31.6%	47.4%	0.0%	5.3%	10.5%	26.3%
その他	12	16.7%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
地区別							
中央区	27	25.9%	59.3%	0.0%	3.7%	14.8%	11.1%
東区	31	41.9%	64.5%	9.7%	3.2%	6.5%	12.9%
西区	12	50.0%	66.7%	8.3%	0.0%	8.3%	25.0%
南区	18	33.3%	55.6%	0.0%	0.0%	11.1%	16.7%
北区	21	38.1%	38.1%	4.8%	0.0%	0.0%	14.3%

問22-2. レジ袋削減を進めるには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答可)

「レジ袋有料化（無料配布中止）」が60.3%と最も高く、次いで「店でのサービスポイントなどの方法で進める」が43.5%、「自治体や環境団体等によるマイバックキャンペーン」が20.7%となっている。

過去3年間の推移では、順位等について大きな変動は見られない。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「レジ袋の有料化（無料配布中止）」は50歳代が66.3%と最も高く、「店でのサービスポイントなどの方法で進める」は30歳代が62.0%、「店頭でのポスター掲示やのぼり旗などによる広報啓発」は60歳代が19.4%、「自治体や環境団体等によるマイバッグキャンペーンの実施」は80歳代が26.5%と最も高くなっている。

職業別：「レジ袋の有料化（無料配布中止）」は学生が76.2%と最も高く、「店でのサービスポイントなどの方法で進める」は農林漁業が66.7%、「店頭でのポスター掲示やのぼり旗などによる広報啓発」は自営業が23.0%、「自治体や環境団体等によるマイバッグキャンペーンの実施」は公務員が28.0%と最も高くなっている。

地区別：「レジ袋有料化（無料配布中止）」は中央区が63.6%と最も高く、「店でのサービスポイントなどの方法で進める」は西区と南区が45.7%、「店頭でのポスター掲示やのぼり旗などによる広報啓発」と「自治体や環境団体等によるマイバッグキャンペーンの実施」は西区がそれぞれ20.5%、22.8%と最も高くなっている。

■属性別回答

	合計	レジ袋有料化（無料配布中止）	店でのサービスポイントなどの方法で進める	店頭でのポスター掲示やのぼり旗などによる広報啓発	自治体や環境団体等によるマイバッグキャンペーンの実施	その他
全体	1,068	60.3%	43.5%	15.0%	20.7%	6.5%
年齢別						
20歳代	85	65.9%	49.4%	10.6%	24.7%	9.4%
30歳代	137	59.9%	62.0%	9.5%	13.9%	8.8%
40歳代	163	62.6%	51.5%	15.3%	19.0%	4.9%
50歳代	178	66.3%	42.7%	17.4%	19.7%	6.2%
60歳代	216	61.1%	39.8%	19.4%	24.5%	7.9%
70歳代	178	61.8%	32.6%	13.5%	20.8%	6.7%
80歳代	83	37.3%	27.7%	15.7%	26.5%	0.0%
職業別						
会社員	357	62.2%	49.9%	16.0%	17.9%	5.9%
自営業	74	59.5%	29.7%	23.0%	24.3%	6.8%
農林漁業	12	41.7%	66.7%	0.0%	25.0%	8.3%
公務員	75	60.0%	41.3%	18.7%	28.0%	4.0%
学生	21	76.2%	38.1%	4.8%	23.8%	19.0%
無職	350	58.6%	38.0%	12.9%	22.6%	6.6%
その他	144	63.2%	50.0%	16.0%	18.1%	7.6%
地区別						
中央区	272	63.6%	42.6%	15.4%	21.3%	7.4%
東区	273	61.9%	44.0%	14.3%	21.6%	5.5%
西区	127	55.9%	45.7%	20.5%	22.8%	7.1%
南区	175	61.7%	45.7%	12.6%	19.4%	6.3%
北区	189	56.6%	41.8%	14.3%	19.6%	6.9%

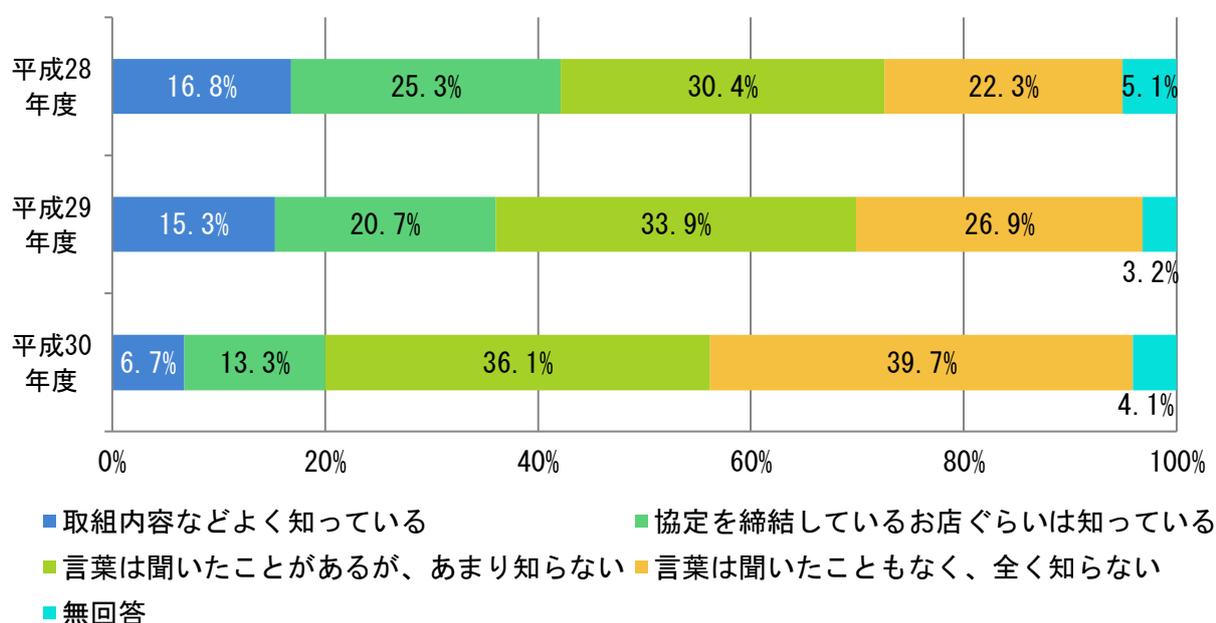
問 2 3. 熊本市におけるレジ袋削減に向けた取組に関する協定について知っていますか。

(1つだけ)

「言葉は聞いたこともなく、まったく知らない」が 39.7%と最も高く、次いで、「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」が 36.1%、「協定を締結しているお店ぐらいは知っている」が 13.3%となっている。

前回調査と比較すると、「取組内容などよく知っている」、「協定を締結しているお店ぐらいは知っている」は、平成 29 年度のそれぞれ 15.3%、20.7%から平成 30 年度のそれぞれ 6.7%、13.3%へ減少している。

一方で、「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉は聞いたこともなく、全く知らない」は、平成 29 年度のそれぞれ 33.9%、26.9%から平成 30 年度のそれぞれ 36.1%、39.7%へと上昇している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「取組内容などよく知っている」、「協定を締結しているお店ぐらいは知っている」を合わせた割合は 70 歳代が 29.2%と最も高く、次いで 60 歳代 (26.9%)、80 歳代 (20.4%) となっている。

職業別：「取組内容などよく知っている」、「協定を締結しているお店ぐらいは知っている」を合わせた割合は無職が 25.7%と最も高く、次いでその他 (22.3%)、公務員 (21.3%) となっている。

地区別：「取組内容などよく知っている」、「協定を締結しているお店ぐらいは知っている」を合わせた割合は北区が 24.4%と最も高く、次いで西区 (22.0%)、東区と南区 (21.2%) となっている。

■属性別回答

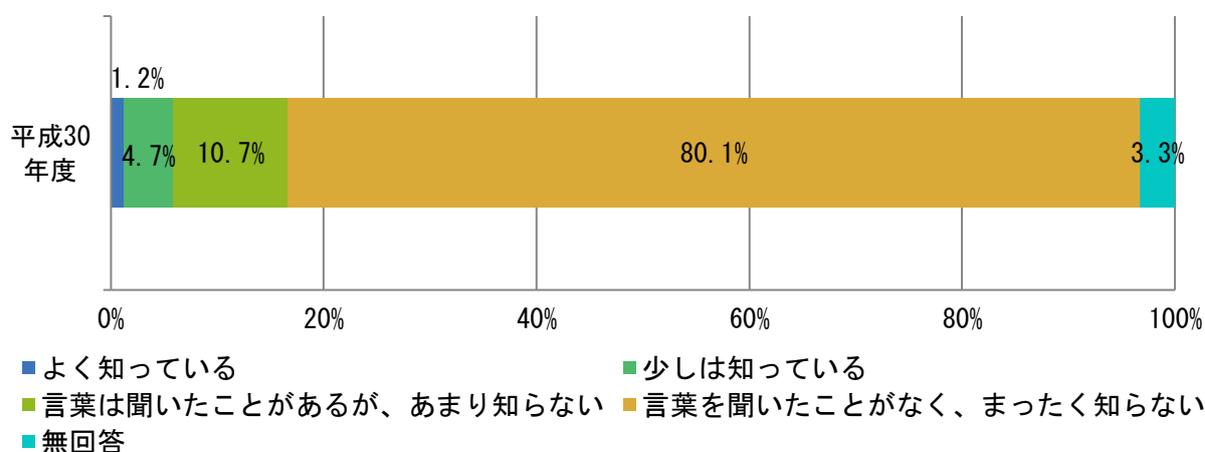
	合計	取組内容などよく知っている	お店ぐらいいは知っている 協定を締結している	言葉は聞いたことがあるが、 あまり知らない	言葉は聞いたこともなく、 全く知らない	無回答
全体	1,068	6.7%	13.3%	36.1%	39.7%	4.1%
年齢別						
20歳代	85	3.5%	5.9%	32.9%	57.6%	0.0%
30歳代	137	1.5%	9.5%	29.2%	59.9%	0.0%
40歳代	163	3.7%	11.0%	33.1%	51.5%	0.6%
50歳代	178	5.6%	14.6%	34.8%	43.3%	1.7%
60歳代	216	7.9%	19.0%	43.1%	27.8%	2.3%
70歳代	178	13.5%	15.7%	33.7%	28.1%	9.0%
80歳代	83	9.6%	10.8%	45.8%	18.1%	15.7%
職業別						
会社員	357	5.0%	10.4%	36.1%	47.9%	0.6%
自営業	74	9.5%	5.4%	40.5%	39.2%	5.4%
農林漁業	12	8.3%	8.3%	58.3%	25.0%	0.0%
公務員	75	4.0%	17.3%	34.7%	44.0%	0.0%
学生	21	4.8%	9.5%	23.8%	61.9%	0.0%
無職	350	9.4%	16.3%	35.1%	32.3%	6.9%
その他	144	4.9%	17.4%	37.5%	35.4%	4.9%
地区別						
中央区	272	3.3%	11.8%	36.8%	45.6%	2.6%
東区	273	6.2%	15.0%	33.7%	41.0%	4.0%
西区	127	10.2%	11.8%	40.9%	32.3%	4.7%
南区	175	8.6%	12.6%	36.6%	37.1%	5.1%
北区	189	8.5%	15.9%	33.9%	39.2%	2.6%

■「SDGs」について

問24. 「SDGs」について知っていますか。(1つだけ)

「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」が80.1%と最も高く、次いで、「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」が10.7%、「少しは知っている」が4.7%となっている。

「よく知っている」と「少しは知っている」を合わせたSDGsの認知度は5.9%で、「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は90.8%と圧倒的な認知度の低さとなっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は20歳代が9.5%と最も高く、次いで50歳代と70歳代(7.9%)、60歳代(6.1%)となっている。

職業別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は農林漁業が25.0%と最も高く、次いで学生(19.1%)、公務員(9.3%)となっている。

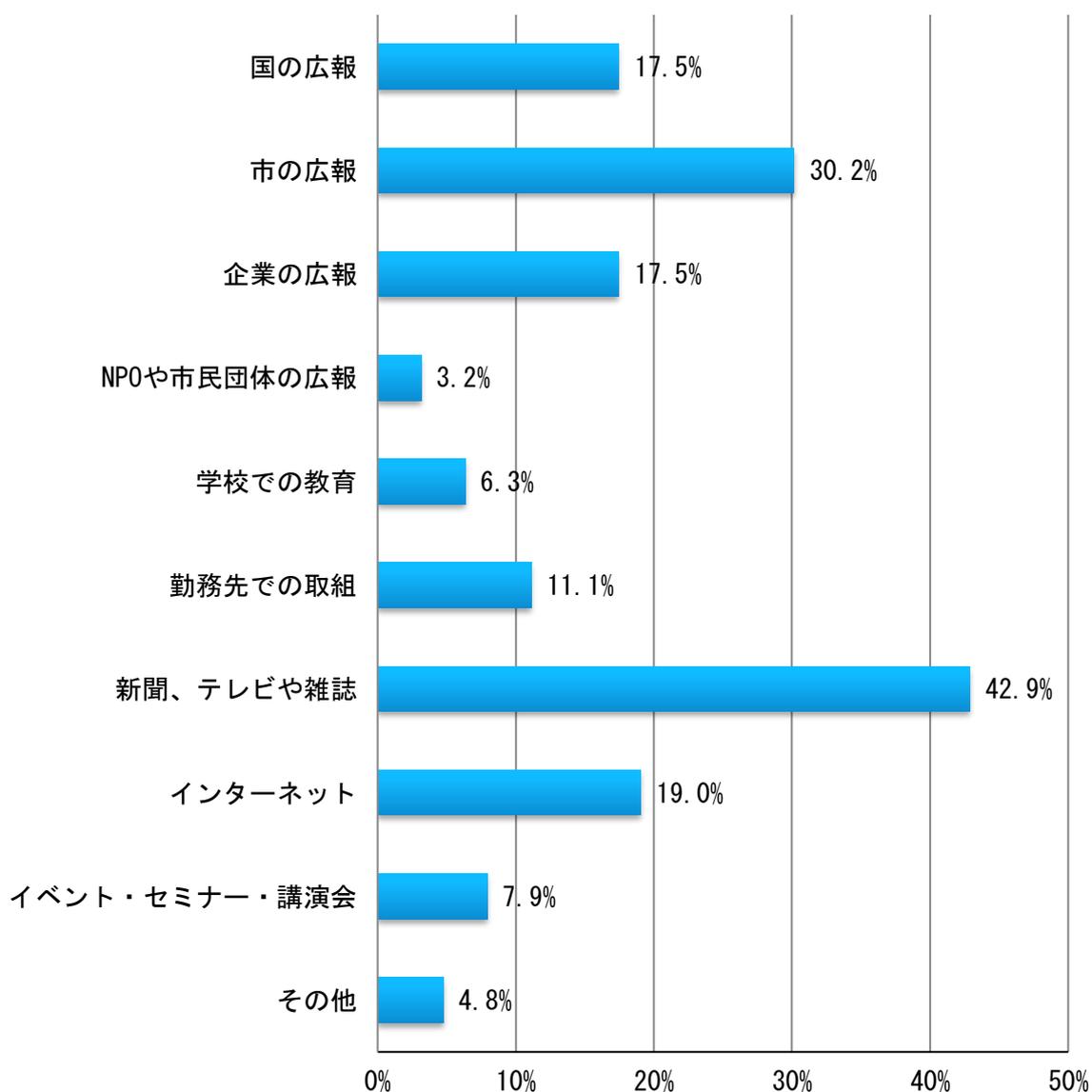
地区別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は中央区が8.5%と最も高く、次いで西区(7.1%)、北区(5.3%)となっている。

■属性別回答

	合計	よく知っている	少しは知っている	言葉は聞いたことがあるが、 あまり知らない	言葉を聞いたことがなく、 まったく知らない	無回答
全体	1,068	1.2%	4.7%	10.7%	80.1%	3.3%
年齢別						
20歳代	85	2.4%	7.1%	4.7%	85.9%	0.0%
30歳代	137	0.7%	2.9%	6.6%	89.8%	0.0%
40歳代	163	0.0%	3.1%	7.4%	89.0%	0.6%
50歳代	178	1.7%	6.2%	11.2%	79.2%	1.7%
60歳代	216	1.9%	4.2%	11.1%	80.6%	2.3%
70歳代	178	1.7%	6.2%	15.7%	69.1%	7.3%
80歳代	83	0.0%	4.8%	19.3%	66.3%	9.6%
職業別						
会社員	357	1.7%	4.8%	7.8%	85.2%	0.6%
自営業	74	1.4%	1.4%	12.2%	78.4%	6.8%
農林漁業	12	0.0%	25.0%	8.3%	66.7%	0.0%
公務員	75	4.0%	5.3%	13.3%	77.3%	0.0%
学生	21	4.8%	14.3%	4.8%	76.2%	0.0%
無職	350	0.6%	4.9%	12.0%	77.4%	5.1%
その他	144	0.0%	3.5%	14.6%	79.2%	2.8%
地区別						
中央区	272	2.6%	5.9%	11.0%	77.9%	2.6%
東区	273	0.7%	3.7%	9.9%	82.4%	3.3%
西区	127	0.8%	6.3%	10.2%	78.7%	3.9%
南区	175	0.6%	4.6%	12.0%	81.1%	1.7%
北区	189	1.1%	4.2%	11.6%	79.9%	3.2%

問24-1. (問24. で「よく知っている」「少しは知っている」と答えられた方) 言葉を知ったきっかけは何ですか。(複数回答可)

問24. で「よく知っている」又は「少しは知っている」と回答した63人については、「新聞、テレビや雑誌」が42.9%と最も高く、次いで「市の広報」が30.2%、「インターネット」が19.0%となっている。



【参考】

【その他について】

・子どもが学校で学んでいた

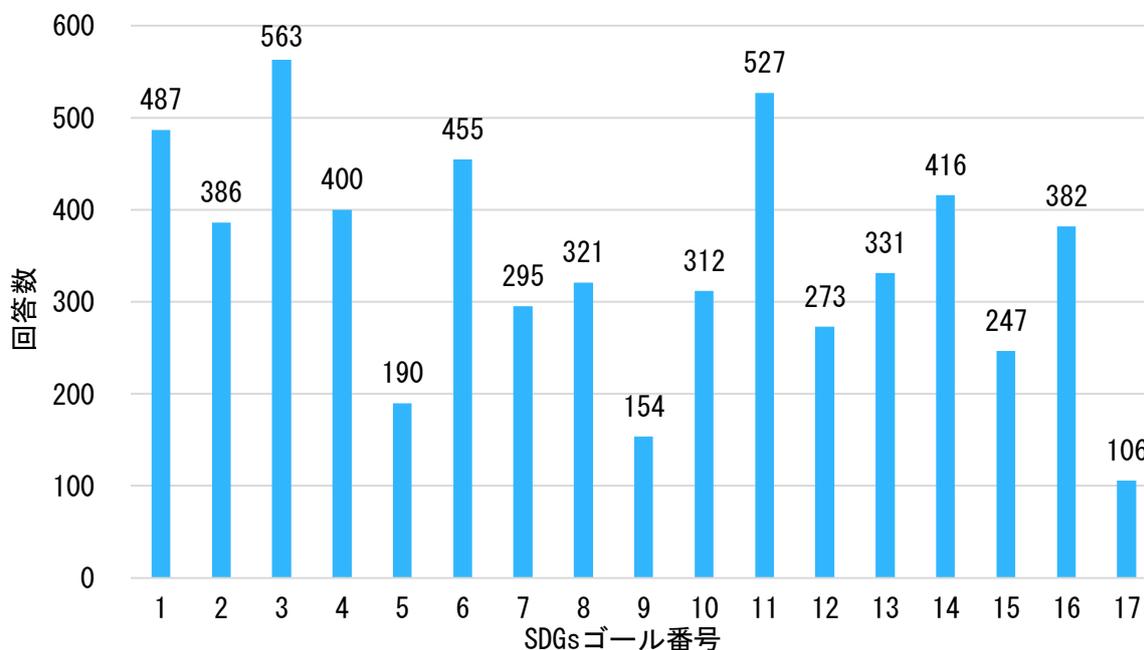
■属性別回答

※母数が少ないため分析は行わないが、結果は以下に示すとおりである。

	合計	国の広報	市の広報	企業の広報	NPOや市民団体の広報	学校での教育	勤務先での取組	新聞、テレビや雑誌	インターネット	イベント・セミナー・講演会	その他
全体	63	17.5%	30.2%	17.5%	3.2%	6.3%	11.1%	42.9%	19.0%	7.9%	4.8%
年齢別											
20歳代	8	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	25.0%	12.5%	25.0%	25.0%	0.0%	12.5%
30歳代	5	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
40歳代	5	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
50歳代	14	7.1%	35.7%	35.7%	0.0%	14.3%	21.4%	21.4%	28.6%	7.1%	0.0%
60歳代	13	38.5%	38.5%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	69.2%	23.1%	7.7%	0.0%
70歳代	14	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	50.0%	7.1%	14.3%	7.1%
80歳代	4	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
職業別											
会社員	23	17.4%	21.7%	30.4%	4.3%	0.0%	17.4%	26.1%	30.4%	13.0%	0.0%
自営業	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
農林漁業	3	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
公務員	7	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%
学生	4	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%
無職	19	21.1%	42.1%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%	68.4%	10.5%	5.3%	5.3%
その他	5	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%
地区別											
中央区	23	26.1%	17.4%	13.0%	4.3%	8.7%	8.7%	47.8%	21.7%	17.4%	0.0%
東区	12	8.3%	41.7%	16.7%	8.3%	0.0%	25.0%	41.7%	8.3%	0.0%	0.0%
西区	9	11.1%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	22.2%	44.4%	11.1%	11.1%	11.1%
南区	9	0.0%	66.7%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%
北区	10	30.0%	40.0%	20.0%	0.0%	10.0%	0.0%	30.0%	30.0%	0.0%	20.0%

問25. SDGsの17の目標のうち、大切だと思う項目は何ですか。(複数回答可)

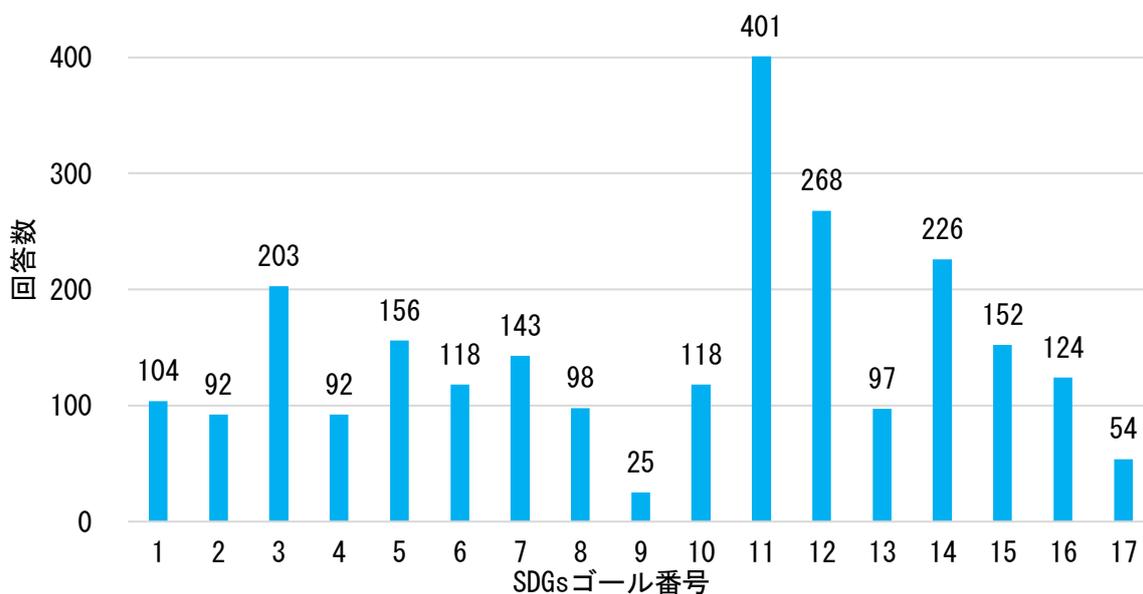
「ゴール3：すべての人に健康と福祉を」が52.7%（563人）と最も高く、次いで「ゴール11：住み続けられるまちづくりを」が49.3%（527人）、「ゴール1：貧困をなくそう」が45.6%（487人）となっている。



回答肢	回答数	割合	順位
3 すべての人に健康と福祉を	563	52.7%	1
11 住み続けられるまちづくりを	527	49.3%	2
1 貧困をなくそう	487	45.6%	3
6 安全な水とトイレを世界中に	455	42.6%	4
14 海の豊かさを守ろう	416	39.0%	5
4 質の高い教育をみんなに	400	37.5%	6
2 飢餓をゼロに	386	36.1%	7
16 平和と公正をすべての人に	382	35.8%	8
13 気候変動に具体的な対策を	331	31.0%	9
8 働きがいも経済成長も	321	30.1%	10
10 人や国の不平等をなくそう	312	29.2%	11
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	295	27.6%	12
12 つくる責任つかう責任	273	25.6%	13
15 陸の豊かさも守ろう	247	23.1%	14
5 ジェンダー平等を実現しよう	190	17.8%	15
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	154	14.4%	16
17 パートナリーシップで目標を達成しよう	106	9.9%	17

問26. SDGsの17の目標のうち、あなたが貢献できると思う項目は何ですか。(複数回答可)

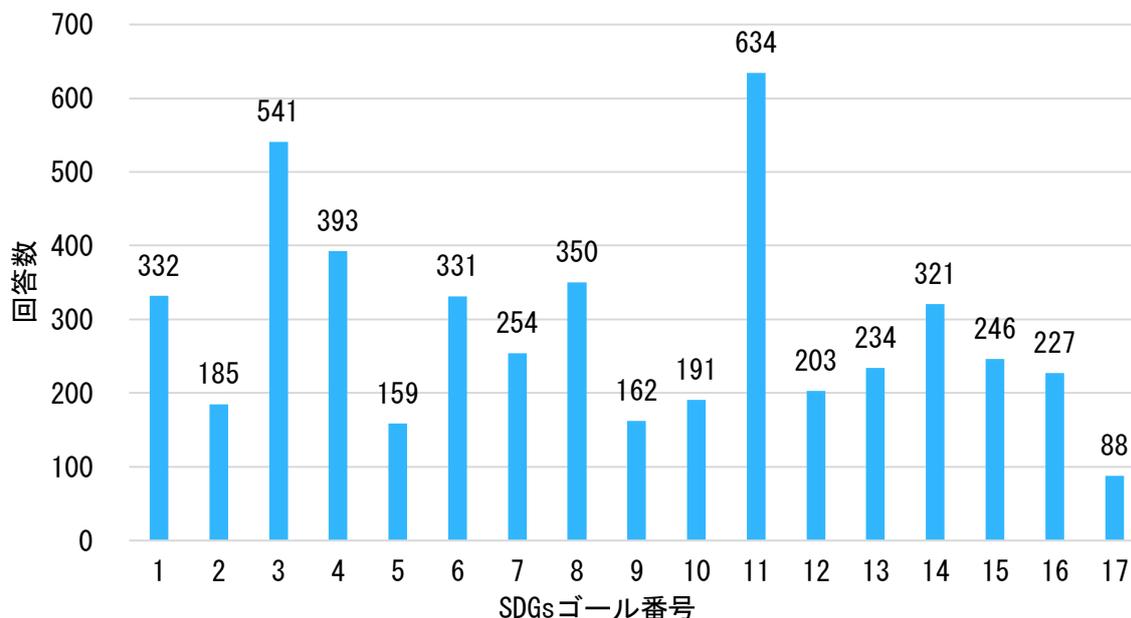
「ゴール11：住み続けられるまちづくりを」が37.5%（401人）と最も高く、次いで「ゴール12：つくる責任つかう責任」が25.1%（268人）、「ゴール14：海の豊かさを守ろう」が21.2%（226人）となっている。



回答肢	回答数	割合	順位
11 住み続けられるまちづくりを	401	37.5%	1
12 つくる責任つかう責任	268	25.1%	2
14 海の豊かさを守ろう	226	21.2%	3
3 すべての人に健康と福祉を	203	19.0%	4
5 ジェンダー平等を実現しよう	156	14.6%	5
15 陸の豊かさも守ろう	152	14.2%	6
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	143	13.4%	7
16 平和と公正をすべての人に	124	11.6%	8
6 安全な水とトイレを世界中に	118	11.0%	9
10 人や国の不平等をなくそう	118	11.0%	10
1 貧困をなくそう	104	9.7%	11
8 働きがいも経済成長も	98	9.2%	12
13 気候変動に具体的な対策を	97	9.1%	13
2 飢餓をゼロに	92	8.6%	14
4 質の高い教育をみんなに	92	8.6%	15
17 パートナーシップで目標を達成しよう	54	5.1%	16
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	25	2.3%	17

問27. SDGsの17の目標のうち、熊本市として取り組むべきだと思う項目は何ですか。(複数回答可)

「ゴール11：住み続けられるまちづくりを」が59.4%（634人）と最も高く、次いで「ゴール3：すべての人に健康と福祉を」が50.7%（541人）、「ゴール4：質の高い教育をみんなに」が36.8%（393人）となっている。



回答肢	回答数	割合	順位
11 住み続けられるまちづくりを	634	59.4%	1
3 すべての人に健康と福祉を	541	50.7%	2
4 質の高い教育をみんなに	393	36.8%	3
8 働きがいも経済成長も	350	32.8%	4
1 貧困をなくそう	332	31.1%	5
6 安全な水とトイレを世界中に	331	31.0%	6
14 海の豊かさを守ろう	321	30.1%	7
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	254	23.8%	8
15 陸の豊かさも守ろう	246	23.0%	9
13 気候変動に具体的な対策を	234	21.9%	10
16 平和と公正をすべての人に	227	21.3%	11
12 つくる責任つかう責任	203	19.0%	12
10 人や国の不平等をなくそう	191	17.9%	13
2 飢餓をゼロに	185	17.3%	14
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	162	15.2%	15
5 ジェンダー平等を実現しよう	159	14.9%	16
17 パートナリシップで目標を達成しよう	88	8.2%	17

問28. SDGsに関して、ご提言、ご意見がございましたらお聞かせください。

■いただいた多くの意見を以下に列挙する。

知らない人が多いと思うのでもっと広報活動をしたほうがいいと思う
まだ言葉すら浸透していないと思います。また、具体的に自分が何をすれば良いのかわかりづらいため、例をあげた広報活動が必要だと思います。
1~17までアイコンがあつたりでいいと思うけど引き付けられない。もっと興味をもてるようにできないかな。人にすすめたくなるような・・・。
全て大切だと思うけど多すぎて覚えられない。
熊本市の最低賃金が低すぎる
一個人として何にどれくらい貢献できるかまったくわからない。
全ての女性と女兒のエンパワーメントを図る・・・私68才ですが横文字も結構ですが、意味がよく理解できません。
知らない人がかなり多いと思います。まずは、SDGsというものがあるというのを広めることが大事だと思います。
一人が一つの仕事で自立できる(自活できる)報酬をもらえるようになること。そのことによつてかなう目標が増える。
初めて知ったので、これからインターネットなどで読んでみたい。
具体的に個人で貢献出来るかと聞かれると「ない」と思うし、国や市町村などは個人が取り組むべき行動目標を提示する必要があると思います。
このアンケートをみるまで全くしりませんでした。多くの人を知ることが出来るような情報や広告など、知る機会があるとよいと感じた。
17項目は個人にとってテーマが大きすぎて具体的な取り組みがイメージできません。
項目を読んだが個人で出来ると思うことはほとんどないように感じた
SDGsに対して、知っている・取り組むことが当たり前とイメージづけることが大事なのではと思います。日本人特有の「みんな知ってる」「みんなやってる」の「みんな」が安心感を持たせる効果があると思います。知っていることが常識という印象がつけばいいと思います。
周知活動より具体的な行動に移すことが大切。残された時間は少ないと思います。
正直SDGsのことをよく知らないので提言や意見を言うことが出来ません。
教育、家庭でのしつけ(世の中のルールを守ること)
非常に明確で具体的な目標で実践しやすいです。
全て素晴らしい目標です。今、私の地域は過疎化が進んでいます。隣近所は高齢者ばかりです。あと10年も経てば空家が増えていきます。下水道工事が着工中、年金生活者には負担増、市の補助増をお願いします。
具体的にどのような事なのかわかりません。大事なことだとは漠然と思います。身近で気軽に貢献できることがあればやりたいです。一つ疑問なのが、山林を切り崩して太陽光パネルを設置するのは地球環境にいいのかどうなのか。山肌をギラギラしたパネルで覆われているのを見るのはいい気持ちしないのですが。

グローバルな夢的発案は市民には受け入れがたい！ 確実な市政を
SDGsの言葉は初めて聞きました。年寄りには横文字はあまり関心がなく市が取り組んでおられることも知りませんでした。17ゴールは大変なこととおもいますが、これから関心をもって色々目を通していこうと思います。
SDGsを知らなかったのが皆が知ることのできる対策をとってほしい。
経済的弱者には余裕がない。豊かな人が先頭をきって、発言、実行をすればと思う。
理想的社会を目標に掲げてのスローガンというのは理解できますが、全ての人が平等で公正とは不可解なことで、あまりに目標が大きすぎて漠然としています。基本的には、平和・公正・安全・平等・全ての人が願っているところですが、全ての人に人より優位に立ちたい気持ちもあります。実現可能で自分たちにも何か実現可能なスローガンや取組みをしてほしいです。
SDGs-12 作る責任使う責任。プラスチックの不法投棄による海洋汚染が世界的にも問題になっています。早速、製造する側の規制を検討するとともに、使う側には汚染の実態を周知させ、河・海への影響を対策した実施を国をあげて対応すべきだと考えます。県・市の積極的な取組みを期待しています。
SDGs-11。安全な通学路の整備をお願いします。
全ての人に健康福祉貧困教育を平等に与えることは不可能です。最も困っている人を早く平等に見つけて最低限の活動生活が出来る援助を皆で協力していく行政の活動に期待します。
広報誌などを通じて市民の理解促進をお願いします。
個々人の問題として考えてもらうにはなにより教育、時間をかけて次の代その次の代へつなげなくてはならないでしょう。
SDGは政策としてかかげるべきであり、これを市民にそのまま提示することはやめたほうがよいと思います。もっと具体的な政策を実行していく時の全体目標として行政側の人間が意識を持っているべきと考える。
年齢的に横文字の意味がわかりづらい。もっと分かり易くしていただけるとよいと思う。
まだ、一般に浸透していないと思う。広報や普及活動が必要と思います。
マイクロプラスチックの被害と対策。日本・世界的に取組むように啓発と実践をしてほしい。
全ての人が「市政だより」はよく読むと思われるので、「市政だより」に継続して載せていくと読む人も増えると思われる。
自分の生活だけで貢献はできない
市でポイント制を取り入れて、市主催の行事に自主的に参加された市民へポイントを付与する。そして、たまったらゴミ袋(指定の)もらえるとか。素晴らしい目標だと思いますが、市民が参加できたほうがよいと思います。
この国際目標が浸透していないのはなぜですか？ どういう手段によって広めようとしているのですか？ 全く知らなかったです。

<p>時代の流れに応じて私たちの祖先が知恵を出し合いその時ごとの環境に対してしてきたことで私たちが今いきているので、現代は、もちろん未来の世代の人たちに考慮した生活の仕方をより多くの人が意識することができたらよいと思いました。持続的には、過去を振り返り現代と未来を見据えて問題を改善するという意味合いが含まれていると考えています。</p>
<p>熊本は水が美味しくガソリンも安く福祉もほかより充実しているし、PR 方法も素晴らしい。これからも住みよい街であるために一番必要なのは、新たな人材を育成する側がもっと良くなることが、最終的に大きくなっていくのではないかと思う。学校の先生や会社の指導係など「教え育てる」ことがもっと大切なことだという意識で、何事にも知識を共有し合い相互理解を深めていくなかで「質の高い教育」からそれ以外の SDGsも個人の意識向上が図れるのではないかと思う。あと介護と保育の現場で働くひとの賃金を上げるのがとても大事だと思います。</p>
<p>貧困は質の高い教育も平等も奪ってしまう。負の連鎖の最も最たるものだが、勉強したい人には、貧困でも平等に教育を受けられるシステムを作るべきだ。それによって将来的には地方も国も豊かになると思う。</p>
<p>もっと PR したほうが良いと思う。</p>
<p>手を広げすぎていて、また当たり前のような項目もあり成果がはっきりしない仕組みに終わるのではないか。</p>
<p>環境問題への取組みが多すぎて、なにを大事にしているのかが見えてこない。ネーミングも分かりにくいと思います。もっと市民目線でのアプローチが必要ではないでしょうか。</p>
<p>本当の真剣な具体的な取組みを自治体から国を挙げて実施願いたい。</p>
<p>1 貧困をなくそうについて・・・生活保護にすぐ依存するのではなく、働ける体力がある方はまず、仕事を見つけ意欲を持ってほしい。熊本地震以来、求人不足だと感じます。人手が足りません。世の中仕事は、沢山あります。理想ばかり高く、仕事を選びすぎではないでしょうか。お金を与えるより、仕事探しのサポートを熊本市として取り組んでほしい。</p>
<p>問 26 は、個人レベルではすべて無理だと思うので、回答していません。問 27 に関しては、取り組むべきだと思うから目標にしているのですよね？この問いそのものが無意味。すべて必要ですよね？</p>
<p>はじめて知りました。年寄りにわかりやすいように、広報などに重点を。カタカナ、英文などわかりにくいと思います。</p>
<p>声、高らかに音頭をとっても個人個人の自覚がないと、目標達成は難しいのでは。私は自分で出来ることで貢献して自己満足している。</p>
<p>日本語にして</p>
<p>まだまだ知らないことばかり、どのようにして情報が得られるか確実にみんなで知ることができるのは、テレビなどが一番早いのではないかと思う。見て知る。あとは、学校での教育の場を通じて知る。</p>
<p>個人では取組みが難しいと思うが、SDGsに取り組んでいる企業や団体を支援することで個人も参加できると思う。</p>

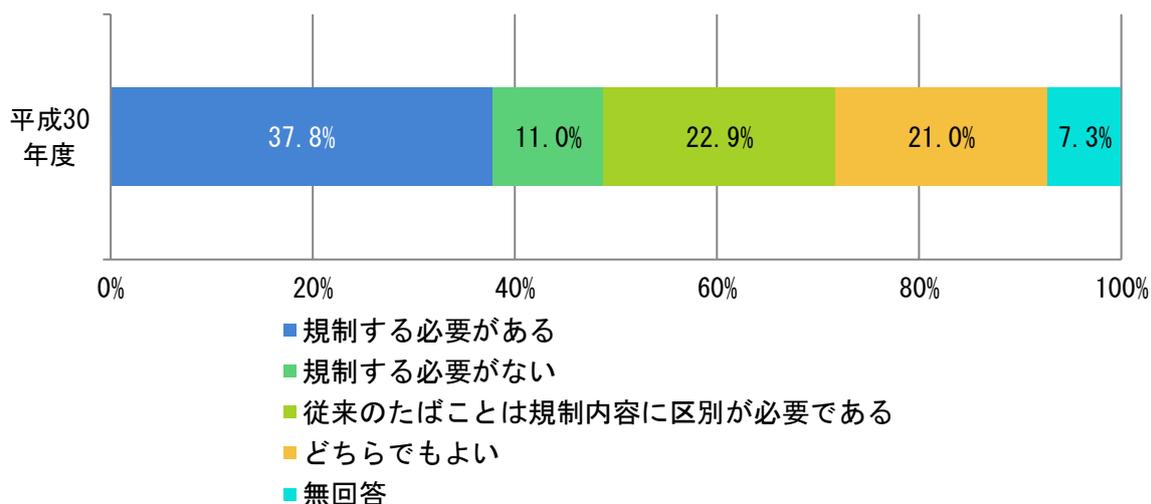
出来るだけ具体的に分かり易い言葉で知らせていただけたらと思いました。
スピードは違ってもすべての項目が前進していくと良いなと思う。
省略アルファベットの言葉が多すぎて、小さな子どもからお年寄りまでネーミングを周知してもごっちゃになる。よって、内容を知る手前で情報が広まらない。もっと定番なネーミングで、目標数の多さも改善すべき。
自己中心主義が多すぎると感じられるので、子供のときからの開発目標に対する教育が必要ではないでしょうか。また、そういった学習会やイベントの開催も大切なことではないでしょうか。
本アンケートによって初めて「SDGs」について知りました。これから、自分にできることは何か考えていきます。
全ての項目に取り組む姿勢で出来るところから少しずつ積み重ねることが大事のように思う。
今回初めて「SDGs」というものを知ったので、熊本市としても、CMなどでもっと広報活動を活発に行えばいいのかなと思います。
SDGs17ゴールの目標の高さに驚きました。現実的には実現可能な事柄の方が少なく感じますが、こういう目標があり、それに向けて動いていると知ったことに意義がありました。自分も身の回りのことを少しでも良い方向に向けたいです。
SDGsを初めて知りましたが、今後多くの市民のかたにも知っていただく事が必要ならば、興味を引くような広報が必要だと思う。
個人一人ひとりができることを具体的に提案していただけるとわかりやすいと思います。
子供を第一優先に考えた市政であってほしい。(脱いじめ・暴力・DV・虐待)熊本市が全国のモデル都市となってほしい。
SDGsの意味を昨年当初から新聞の教育欄などで周知されていますが、なかなか勉強不足です。さらに勉強します。
全部必要であるが、個人で出来る小さなことをコツコツとしていく必要があると思います。行政も実現に向けて、いろいろ計画されると思いますが、出来るだけ参加して、体が動く間は協力したいと思います。
個人ではとても成しえない事なので、国、県、市、自治体単位で取り組むべき事だと思う。
項目ごとに読むと、大変な事。自分になにか出来るかと思うが、自分に出来る小さなことをやっていきたい。
質の高い教育とは、間違った考えをしない人間性を育てることだと思います。人間にとって最も大切なことだと思いますので力を入れてほしいです。
カタカナで書いてある言葉の意味がよくわかりません。アジェンダとはどういう意味ですか？5のジェンダーは注1を見てもよくわかりません。5のエンパワーメントとは？6の水と衛生へのアクセスとは？7のエネルギーへのアクセスとは？9のイノベーションとは？16の司法へのアクセスとは？17の持続可能な開発とは何の開発ですか？
SDGsという言葉を知りましたが、17項目すべてが必要で大事なことだと思います。本市も今年度から取り組まれるということで広がっていったらいいと思います。

<p>熊本市がもっと人口が増えるように、公園、熊本港の整備など観光スポットをもっと具体的に、市民の意識を高め合えるように市民の代表の方々にもっと頑張ってほしい。</p>
<p>横文字はわからない。もっと日本語を使ったらどうか。</p>
<p>それぞれの目標がかなえられることが理想的な熊本市につながると思う。SDGをこのアンケートで初めてしました。SDGをもっと多くの人に知ってもらいたいと思うとともに、熊本市、そして住んでいるものとして目標に向かってそのような政策、取組みを行っていくのかを分かりやすく多くの人に知ってもらえるように示してもらいたいです。</p>
<p>どうすればより貢献できるのかぜひ知りたいです。忙しく学習会参加は難しいですが市政だよりはいつも読んでます。</p>
<p>熊本市もSDGsに取組んでいってください。</p>
<p>個人の意識を変えるために情報が強く伝わるようにし、また身近なことから参加できるような取組みを行っていただけたらと思います。</p>
<p>ごみ再利用、太陽光とかで、いままでの税負担の軽減はできないか？</p>
<p>熊本駅のトイレを増やす。県外の女性、お年寄り、子供が口々に少な過ぎる。と言っていました。海外の方も困ってました。</p>
<p>熊本市が現在取り組んでいる事象が不明確である。</p>
<p>知って欲しいなら、新聞やSNS等、老若男女が情報が取りやすい工夫が必要 取り組んでるのだとは思うけど、実感がないから、興味も関心も沸かない 取り組んだから何なのかという感じがする</p>
<p>全ては、絶対に無理だとは思いますが。 子どもが健やかに、楽しく、生きて行ける環境を、お願いします。</p>

■ 「受動喫煙防止」について

問29. 現在、急激に普及している火を使わない「電子たばこ（加熱式）」は、従来のたばこと同様に規制する必要があると考えますか。（1つだけ）

「規制する必要がある」が37.8%で最も高く、次いで「従来のたばこは規制内容に区別が必要である」が22.9%、「どちらでもよい」が21.0%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「規制する必要がある」は40歳代が45.6%と最も高く、「規制する必要がない」は60歳代が13.6%、「従来のたばこは規制内容に区別が必要である」は20歳代が34.5%、「どちらでもよい」は80歳代が31.9%と最も高くなっている。

職業別：「規制する必要がある」は農林漁業が55.6%と最も高く、「規制する必要がない」は自営業が14.5%、「従来のたばこは規制内容に区別が必要である」は学生が33.3%、「どちらでもよい」はその他が26.7%と最も高くなっている。

地区別：「規制する必要がある」と「規制する必要がない」は、西区がそれぞれ44.1%、15.3%と最も高く、「従来のたばこは規制内容に区別が必要である」は北区が28.2%、「どちらでもよい」は南区が26.5%と最も高くなっている。

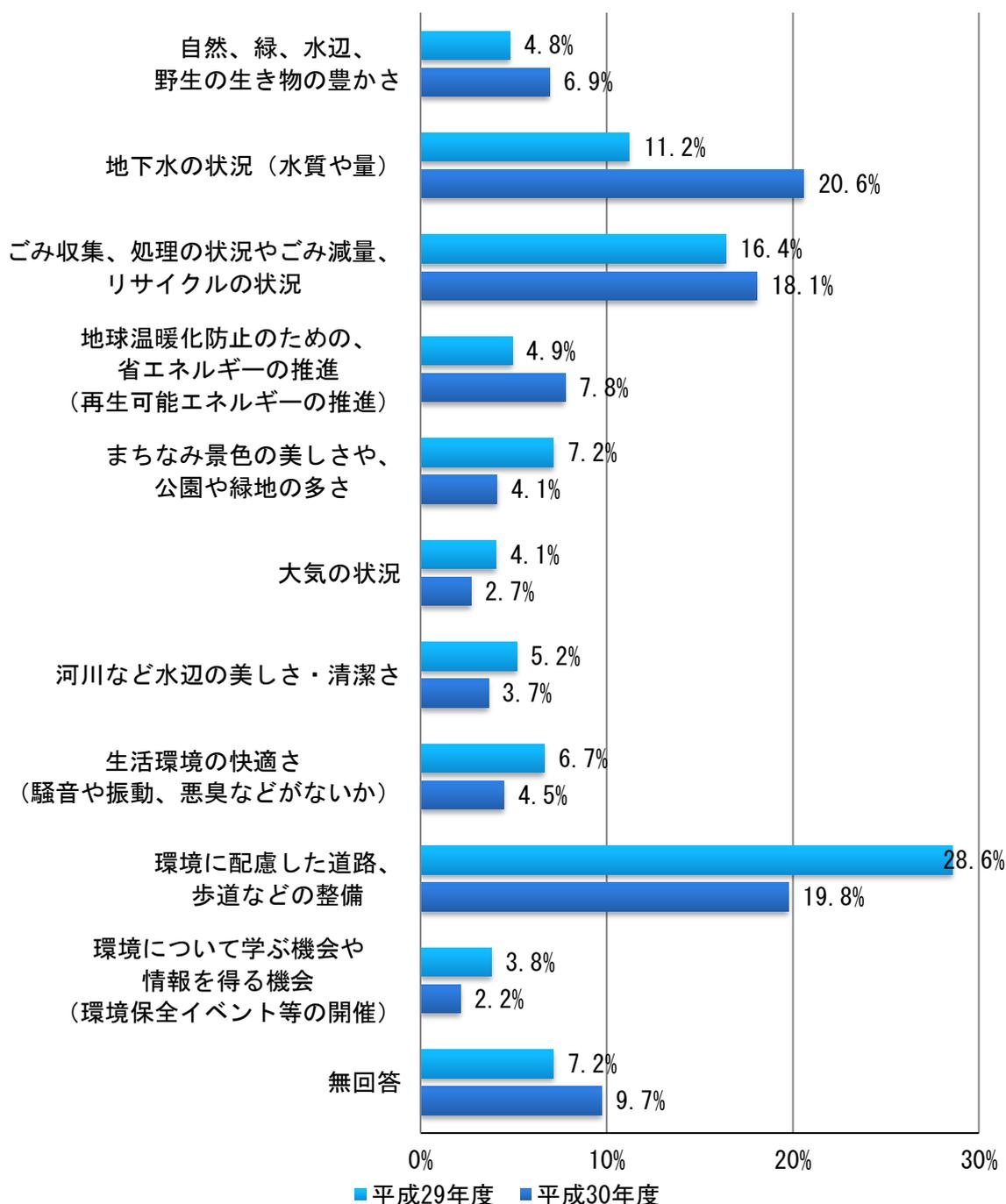
■属性別回答

	合計	規制する必要がある	規制する必要がない	規制内容に区別が必要である 従来のたばこは	どちらでもよい	無回答
全体	1,068	37.8%	11.0%	22.9%	21.0%	7.3%
年齢別						
20歳代	84	39.3%	8.3%	34.5%	17.9%	0.0%
30歳代	134	41.0%	11.9%	28.4%	18.7%	0.0%
40歳代	160	45.6%	11.3%	22.5%	20.6%	0.0%
50歳代	170	44.1%	10.0%	25.3%	20.6%	0.0%
60歳代	198	31.8%	13.6%	28.8%	25.8%	0.0%
70歳代	156	42.9%	13.5%	18.6%	25.0%	0.0%
80歳代	69	42.0%	8.7%	17.4%	31.9%	0.0%
職業別						
会社員	345	42.3%	12.2%	25.8%	19.7%	0.0%
自営業	69	37.7%	14.5%	24.6%	23.2%	0.0%
農林漁業	9	55.6%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%
公務員	74	39.2%	13.5%	29.7%	17.6%	0.0%
学生	21	52.4%	9.5%	33.3%	4.8%	0.0%
無職	316	38.0%	10.4%	25.6%	25.9%	0.0%
その他	131	42.0%	10.7%	20.6%	26.7%	0.0%
地区別						
中央区	253	43.1%	10.7%	24.1%	22.1%	0.0%
東区	252	40.5%	10.7%	26.6%	22.2%	0.0%
西区	118	44.1%	15.3%	21.2%	19.5%	0.0%
南区	166	38.6%	10.2%	24.7%	26.5%	0.0%
北区	177	36.7%	12.4%	28.2%	22.6%	0.0%

■「熊本市内の環境問題」について

問30. 現在の熊本市内の環境の現状について、問題と思われることについて（10項目）から選んでください。（1つだけ）

「地下水の状況（水質や量）」が20.6%と最も高く、次いで「環境に配慮した道路、歩道などの整備」が19.8%、「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」が18.1%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「地下水の状況」は70歳代が27.0%と最も高く、次いで60歳代（23.6%）、80歳代（21.7%）となっている。

「環境に配慮した道路、歩道などの整備」は40歳代が26.4%と最も高く、次いで30歳代（24.8%）、20歳代（24.7%）となっている。

「ごみ収集・処理の状況やごみ減量・リサイクルの状況」は40歳代が21.5%と最も高く、次いで70歳代（20.2%）、60歳代（19.4%）となっている。

職業別：「地下水の状況」は自営業が29.7%と最も高く、次いで公務員（26.7%）、無職（24.6%）となっている。

「環境に配慮した道路、歩道などの整備」は学生が33.3%と最も高く、次いで会社員（26.3%）、農林漁業（25.0%）となっている。

「ごみ収集・処理の状況やごみ減量・リサイクルの状況」は公務員が22.7%と最も高く、次いで無職（19.7%）、学生（19.0%）となっている。

地区別：「地下水の状況」は東区が24.2%と最も高く、次いで南区（24.0%）、西区（19.7%）となっている。

「環境に配慮した道路、歩道などの整備」は南区が22.9%と最も高く、次いで中央区（21.3%）、東区と北区（19.0%）となっている。

「ごみ収集・処理の状況やごみ減量・リサイクルの状況」は西区が21.3%と最も高く、次いで北区（20.6%）、中央区（18.8%）となっている。

■属性別回答

	合計	自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ	地下水の状況（水質や量）	ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況	（再生可能エネルギーの推進） 省エネルギーの推進	地球温暖化防止のための、公園や緑地の多さ	まちなみ景色の美しさや、	大気の状態	河川など水辺の美しさ・清潔さ	（騒音や振動、悪臭などが無い） 生活環境の快適さ	環境に配慮した道路、歩道などの整備	（環境保全イベント等の開催） 環境について学ぶ機会や情報を得る機会	無回答
全体	1,068	6.9%	20.6%	18.1%	7.8%	4.1%	2.7%	3.7%	4.5%	19.8%	2.2%	9.7%	
年代別													
20歳代	85	4.7%	12.9%	14.1%	9.4%	10.6%	2.4%	7.1%	9.4%	24.7%	1.2%	3.5%	
30歳代	137	3.6%	16.8%	16.1%	7.3%	5.8%	7.3%	2.9%	5.1%	24.8%	2.9%	7.3%	
40歳代	163	5.5%	15.3%	21.5%	6.7%	4.3%	1.8%	3.7%	3.7%	26.4%	2.5%	8.6%	
50歳代	178	7.9%	21.3%	16.9%	7.3%	3.4%	1.7%	4.5%	5.6%	20.2%	2.8%	8.4%	
60歳代	216	7.4%	23.6%	19.4%	8.3%	2.8%	1.9%	5.1%	3.7%	18.1%	1.4%	8.3%	
70歳代	178	10.7%	27.0%	20.2%	9.0%	3.4%	1.1%	1.1%	2.2%	14.0%	2.8%	8.4%	
80歳代	83	8.4%	21.7%	16.9%	7.2%	1.2%	3.6%	0.0%	6.0%	13.3%	1.2%	20.5%	
職業別													
会社員	357	7.8%	15.7%	17.1%	9.0%	3.9%	2.5%	4.2%	5.6%	26.3%	1.7%	6.2%	
自営業	74	4.1%	29.7%	17.6%	5.4%	6.8%	2.7%	1.4%	4.1%	12.2%	1.4%	14.9%	
農林漁業	12	25.0%	16.7%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	
公務員	75	2.7%	26.7%	22.7%	9.3%	6.7%	2.7%	4.0%	4.0%	13.3%	2.7%	5.3%	
学生	21	4.8%	4.8%	19.0%	0.0%	9.5%	4.8%	9.5%	9.5%	33.3%	0.0%	4.8%	
無職	350	8.9%	24.6%	19.7%	7.4%	2.6%	2.6%	3.7%	2.6%	14.9%	2.3%	10.9%	
その他	144	4.2%	18.1%	16.7%	7.6%	5.6%	2.8%	0.7%	7.6%	22.9%	4.2%	9.7%	
地区別													
中央区	272	7.0%	16.5%	18.8%	8.5%	6.3%	2.6%	5.5%	1.8%	21.3%	2.2%	9.6%	
東区	273	6.6%	24.2%	16.1%	8.1%	4.8%	2.2%	2.2%	3.3%	19.0%	2.2%	11.4%	
西区	127	8.7%	19.7%	21.3%	6.3%	2.4%	3.9%	2.4%	4.7%	16.5%	4.7%	9.4%	
南区	175	8.6%	24.0%	16.0%	5.7%	2.3%	2.9%	4.6%	7.4%	22.9%	0.6%	5.1%	
北区	189	5.8%	19.0%	20.6%	10.1%	3.2%	2.1%	2.6%	7.4%	19.0%	2.1%	7.9%	

問30-1. 問30. で選択された問題について、どのようなことが問題とされますか。ご自身のお考えを記入してください。

■各項目において多くの意見をいただいた中から、代表例を以下に列挙する。

1「地下水の状況（水質や量）」についての意見（122件）

地下水保全について

- ・熊本地震を経験し地下水の大切さを痛感した。
- ・地下水を末永く後世に残していきたい。
- ・水資源が枯渇しないような対策を継続して実施して欲しい。
- ・市民が豊かさを実感できる取り組みを市民を交えて実施して欲しい。

水質について

- ・熊本地震後に水質が変わっていないのか不安
- ・農薬や肥料、産業廃棄物や家畜の糞尿による水質の悪化
- ・昔に比べると水が汚れてきていると感じる。

水量について

- ・地下水の水位が減少していることが心配
- ・八景水谷公園や江津湖、水前寺公園の湧水の減少（水位の低下）
- ・水源（湧水地）の減少

水質汚濁について

- ・下水道が未整備で生活排水が河川に流入している。
- ・工場排水や油などが水路に流され農業被害を受けている。

水道について

- ・水道事業が民営化された際の熊本の地下水に与える影響や問題を知りたい。
- ・水道法改正による民営化で、他国の企業の参入はさせないで欲しい。
- ・世界に誇る地下水なのに、水道管の老朽化で水道水がおいしいと感じない。

啓発

- ・地下水の状況（水質や量）の情報を知りたい。
- ・小中高校生全員に地下水に関する社会見学をして欲しい。
- ・地下水の魅力を理解している人が少ないように感じる。
- ・熊本の水と他の水とは何が違うのかを知りたい。

節水

- ・雨水をためて植木の水やりに使用するといった節水に取り組んでいる。
- ・上水を使用しなくてよいところには処理水を活用すべき。
- ・自分でもできる節水を続けていきたい。
- ・水の無駄づかいをやめ、水の都熊本がずっと続くように市民一人ひとりの努力が必要だと思う。

その他

- ・地下水使用の総量規制を行うべきではないだろうか。
- ・定期的な水質や水量の調査の実施
- ・豊富で良質な地下水資源の恩恵にあずかっているため、その分水資源保全の意識が弱いと感じる。
- ・水源地や山を外国人に売らないで欲しい。

2「環境に配慮した道路、歩道などの整備」についての意見（165件）

道路の整備について

- ・熊本は特に道路事情が悪い印象であり、西環状線やバイパスの整備に力を入れて欲しい。
- ・車中心で道路が整備されているため、歩行者や自転車に対する配慮が足りないと思う。
- ・道路の凹みなどの道路舗装が悪いところが多く、白線表記の消えかかりもある。
- ・地震の復旧工事や建築ラッシュで大型車両の通行が多く、道路が傷んでいる。
※具体的な場所が記載してあったものは以下のとおり
白山通り、東区戸島西7丁目周辺
- ・交通量が多い道なのに、車道幅員が狭い道が多い。
- ・子どもたちにとっては危険な道が多いと感じる。
- ・急に右左折専用になったり一方通行になったりする道が多く、運転が難しい。
- ・歩行者、自転車、自動車に分けた道路の整備をして欲しい。

歩道について

- ・歩道がない又は狭いにも関わらず交通量が多く危険と感じる。また、歩道の白線が消えかかっている。
※特定の道路が記載してあったものは以下のとおり
旧浜線、八王寺通り、県道303号四方寄熊本線（京町～出町～山伏塚～北部）、
県道31号熊本原坂線（上熊本付近）
- ・歩道に電柱などがありベビーカーが通れない。
- ・手押し車、車椅子、高齢者が通行するには段差等が多い。
- ・歩道幅が狭くまた点字ブロックが無いなど、目の不自由な方への配慮が足りないと思う。
- ・歩道のブロック、タイルの割れなどの危険が直らない。
- ・古い側溝のふたを補強して欲しい。
- ・側溝の排水口が大きく子どもが歩きにくく、手押し車の車輪がはまってしまう。
- ・通学路の安全確保をして欲しい。

渋滞について

- ・渋滞がひどい

※特定の道路が記載してあったものは以下のとおり

東バイパス、電車通り、浜線バイパス、旧浜線、県庁、市役所周辺

- ・市内の至るところで渋滞が発生しており、交通の面では熊本は住みにくいところだと思う。
- ・渋滞解消のための立体交差工事をして欲しい。

自転車について

- ・自転車専用の通行帯の整備が必要だと思う。
- ・自転車の運転マナーを学校で教育して欲しい。
- ・自転車で走行していると危険に感じる道路がある。自転車が走りやすくなれば、自転車通勤が増えるのではないだろうか。

街路樹について

- ・他県よりも緑が多く、夏など日差しが強い時には助かる。
- ・せっかくの緑が伸び放題で、緑の量も大事だが、質も大事だと思う。
- ・街路樹は数年ごとに枝をほとんど伐採し、緑の良さが感じられない。
- ・道路わきの除草がされておらず、安全に散歩できない。
- ・街路樹に高木（クス、ケヤキ、イチョウ）が植えてあるが、どこまで大きくなり道路を占有するのか、今後どうするのか計画を知りたい。

道路照明灯について

- ・スクールゾーンやメイン道路以外の道路照明灯を増設して欲しい。
- ・自転車や徒歩だと街灯や防犯灯が少なく怖いと感じる。

その他

- ・公共交通機関が充実しておらずエコでないと感じる。
- ・市電の電停が狭く屋根もない場所が多く、高齢者や障がい者には利用しにくい。

3「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」についての意見（128件）

ルール違反ごみについて

- ・決まったごみを、決まった日に、決まった場所に出すことができない人が多い。
- ・町外の人がルール違反ごみをごみステーションに捨てていく。
- ・ごみ袋を記名式にして、自分のごみに責任を持たせるのはどうだろうか。

リサイクルについて

- ・分別ルールを守っているが、リサイクルがどうなっているのか分からない。
- ・自身で行った分別がどうリサイクルなどに貢献しているのか分からない。エコに貢献している実感がわからない。
- ・市民が出したごみがどのようにリサイクルされているのか詳しく広報して欲しい。

- ・再利用できるものをリユースし、循環するようリサイクルセンターの整備・活用をして欲しい。
- ・プラスチック製容器包装の回収拠点を増やし、ポイント制などを導入したら、リサイクルの活性化につながるのでは。

ごみの分別について

- ・分別に迷うことが多い。
- ・分別という市民一人ひとりの小さな積み重ねで、リサイクル量が増えると思う。
- ・ごみの分別が徹底されていないと感じる。
- ・分別する必要性を理解していないということが、分別が徹底されない理由だと思う。

持ち去りについて

- ・資源物の持ち去りが多く、きちんと分別するのがばからしくなる。
- ・持ち去りに対し実のある対策や、徹底的な対応をして欲しい。

ごみの減量、ごみ袋有料化について

- ・過剰包装や、容器包装などをやめるとごみの減量につながると思う。
- ・生ごみは庭に埋めて、ごみ減量に努めている。
- ・ごみの量がまだ多いと感じるので、ごみ袋の料金を高くしてはどうか。
- ・子どもが生まれた後のごみ袋の無料配布はとても助かった。

プラスチック問題について

- ・プラスチックごみが海外に渡るのはよくない。国内で処理できないのか。
- ・マイクロプラスチック問題を考えるときに、プラスチック製容器包装はどのように処理されているのか気になる。
- ・ペットボトルは業者が買い取りをする制度にすると、ポイ捨て問題も一緒に解決すると思う。

収集について

- ・収集時間が遅いときがある。
- ・夜間収集に変更して、ごみ出し場所も戸建ては自宅前、集合住宅はごみステーションにして欲しい。
- ・夜間収集にすると、においやカラスの問題も減るのではないか。

ごみステーションについて

- ・ごみ収集場所の整備など、自治体は地域の活動に頼りすぎだと思う。
- ・自治会などで、ごみの出し方が違うので困惑する。
- ・カラスや猫などが袋を破ってごみが散乱するので困っている。

その他

- ・将来的なごみ処理がどうなるのか気になる。
- ・長期的な最終処分場の確保ができているのか。

4「地球温暖化防止のための、省エネルギーの推進（太陽光等の再生可能エネルギーの推進）」についての意見（32件）

太陽光や風力発電について

- ・ 固定価格買取制度の終了で、今後の契約や費用がどうなるのか心配
- ・ 太陽光に省エネの効果があるのであれば、企業や事業者のビルやマンション・アパートにもっと普及しても良いと思うが、普及しないのはなぜか。
- ・ 再生可能エネルギーを活用している人が少ないと感じるから。
- ・ 太陽光パネルによる反射光による近隣トラブルなども発生している。
- ・ 太陽光パネルは破損しても発電を続けるほか、整備不良で火災の原因になるため。
- ・ 阿蘇に設置してある風力発電は景観上よくないと思う。小型や中型の風力発電をビル屋上に設置する方が良いと思う。

広報、啓発について

- ・ 再生可能エネルギーによる電力供給や、資源の有効活用について考える機会がないように感じる。
- ・ 地球温暖化による実害や防止方法をまだ知らない人も多い。
- ・ 省エネルギーと両立した体調を壊さない冷暖房器具の使い方といった具体的な情報を発信すべき。
- ・ 市民一人ひとりが自分にできる行動を起こそうと思える環境が必要

省エネルギーについて

- ・ 冷房の温度（28℃）が本当に適正なのか。
- ・ 自動車の化石燃料の使用抑制

その他

- ・ 異常気象が心配（夏の気温上昇、台風の大型化、ゲリラ豪雨）
- ・ 政府が太陽光の利用を促進していると思えないから。

5「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」についての意見（16件）

- ・ 水と緑とそこに生息する動植物の保全こそ自然環境を守るのだと思う。災害復旧や災害防止の名目としてコンクリートで固めてよいのか。
- ・ 上江津湖の希少植物がなくなってショックを受けた。
- ・ 外来種の被害が多いのになぜ販売させるのか。なぜ許可がされるのか。
- ・ 野生の動物が山から下りてきて人間に迷惑を掛けている。
- ・ 立田山にシカやイノシシがいるのを聞いて、安心して山登りができなくなった。

6「生活環境の快適さ（騒音や振動、悪臭などが無い）」についての意見（23件）

- ・ 大量の鳥やカラスによる糞による悪臭（水道町交差点、花畑公園付近、西区田崎）
- ・ 下水道の完全な普及、配管完了地域の下水管接続の指導を徹底して欲しい。
- ・ 住宅地に隣接する工場や牧場からの悪臭や汚水の排出が気になる。

7「まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ」についての意見（33件）

街並みについて

- ・古い街並みを残す努力をすべきだと思う。
- ・地震後にマンション、アパートや建売住宅が林立している気がする。将来的な空き家問題の原因にならないか心配に思う。
- ・市街地の街並みにすっきりとした美しさを感じない。
- ・熊本市の街並みは日本中どこに行ってもありふれた都市の景観でなく、自然と街の人工物の調和により成立するような自然環境の保全に努めて欲しい。
- ・電線を地中化すれば美しい街並みになると思う。

公園や緑地について

- ・公園が少ない
- ・街なかの公園整備が不十分だと感じる。
- ・緑が少ない都会の方が憩いの場所が多いように思う。

8「河川など水辺の美しさ・清潔さ」についての意見（27件）

- ・河川や水路にごみやヘドロなどが増えているように感じる。
- ・海苔の肥料や消毒剤により、海や河川の汚染がひどく、魚や貝が育たなくなっている。
- ・市内中心部以外の河川敷の手入れがされていない。
- ・子どもたちが川遊びできるような自然を残した河川改修を行って欲しい。
- ・河川敷でサッカーができるような公園などを整備して欲しい。

9「大気の状態」についての意見（20件）

- ・PM2.5、黄砂が心配である。
- ・ディーゼル車の排気ガス規制の強化が必要だと思う。
- ・交通渋滞を緩和して大気汚染の低減ができないか。

10 環境について学ぶ機会や情報を得る機会についての意見（17件）

- ・環境のことは情報がほとんど入ってこないため興味がわからない。
- ・イベント開催の情報が入ってこないのを、広報や告知に力を入れて欲しい。
- ・イベント開催だけでなく、一過性でない情報の継続的な提供が必要だと思う。
- ・熊本市の環境問題の現状把握ができていない状況なので、問題に取り組む前に知らなければならないことがたくさんあるように感じた。

3 参考資料（調査票）

環境に関する市民アンケート調査

依 頼 文

平成31年 1月

市民の皆様へ

熊本市長 大 西 一 史

「環境に関する市民アンケート調査」へのご協力をお願い

日頃から、市政運営に対しましてご理解、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、本市では、平成23年4月から、「第3次熊本市環境総合計画」に基づく、環境行政を進めており、その計画に掲げる施策に検証指標を設定し、毎年、進行管理を行っております。

今回お願いしておりますこのアンケート調査は、その検証指標に関連して市民の皆様一人おひとりが、環境に対してどのように感じ、考えていらっしゃるのか、また、どう実感されているのかをお聞きするもので、その結果を今後の環境行政に反映させてまいりたいと考えております。

皆さまには、お忙しい中お手数をお掛けいたしますが、本アンケート調査にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

■対象者の選定について

このアンケートは、平成31年1月23日現在で熊本市に住民票がある、満20歳以上の市民の中から無作為に抽出した3千人の方々にお送りさせていただいております。

いただきましたご意見・ご回答の内容につきましては、このアンケートの集計・分析のみに活用し、それ以外には使用いたしません。アンケートの回答により、個人が特定されたり、ご迷惑をお掛けしたりすることはございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

項目が多いですが、熊本市の環境行政のためにご協力のほどお願いいたします。

■アンケートの回答方法について

- ・回答は、封筒のあて名の方がお答えください。（代筆でも結構です。）
- ・アンケート用紙及び返信用封筒には、お名前とご住所の記入は不要です。
- ・アンケート用紙は、同封の返信用封筒にて、平成31年2月28日（木）までに投函してください。（※切手は不要です。）

■お問い合わせ

熊本市役所 環境局 環境推進部 環境政策課

電話 096-328-2427（直通） 電子メール：kankyouseisaku@city.kumamoto.lg.jp

インターネットでも回答ができます。裏面をご覧ください。

インターネットでの回答方法について

■インターネット回答にあたっての注意点

- ・インターネットでの回答時間の目安は、約 15 分です。平成 31 年 2 月 28 日（木）までにご回答をお願いいたします。
- ・インターネット回答では、アンケート上部の 7 桁の番号が最後に必要ですので、必ず、調査票をお手元にお持ちの上、ご回答をお願いいたします。
- ・インターネットでご回答いただきましたら、アンケート用紙の郵便での返送は不要です。

■スマートフォン・携帯電話から

以下の二次元コードを読み取っていただくと、直接アンケート画面へ移行します。



読み取れない場合は、以下のパソコンからの手順か、アドレス

(http://www.city.kumamoto.jp/entry/pub/Default.aspx?c_id=37) を直接入力して下さい。

■パソコンから

熊本市ホームページ (<http://www.city.kumamoto.jp/>) を検索サイト等で検索して下さい。



The screenshot shows the official website of Kumamoto City. At the top left is the city logo and name. The main navigation bar includes categories like 'Environment', 'Disaster Preparedness', 'Health and Welfare', 'Education and Sports', 'Business', and 'Administration'. A large green banner promotes the 'LINE account' for local information. On the right side, there are links to the Mayor's Office, City Assembly, and district offices. At the bottom, a red-bordered box highlights a search bar and a section titled '熊本地震に関する熊本市からのお知らせ' (Information from Kumamoto City regarding the Kumamoto Earthquake), which contains links for disaster relief, reconstruction, and donations.

トップページ右上の検索画面で、“環境に関する市民アンケート” とご入力いただき、検索して下さい。

問 24 関係 ^{エスディーゼーズ} S D G s とは

“持続可能な開発目標”の英語の頭文字をとったものが、S D G s です。

平成 27 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2030（平成 42）年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。S D G s は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものです。

熊本市も取り組んでおり、平成 31 年度から積極的に広報を行い、色々な市の方針に S D G s の考え方を取り込んでいくこととしています。

また、市民や企業の参画も要請されており、さまざまな解決目標を定め取り組む企業も増えています。

S D G s は、市民一人ひとりにも密接に関わっており、市民一人ひとりの意識を変えることも求められています。

持続可能な開発目標（SDGs）17 ゴールは次のとおりです。

	<p>1 貧困をなくそう あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ。</p>
	<p>2 飢餓をゼロに 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する。</p>
	<p>3 すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する。</p>
	<p>4 質の高い教育をみんなに すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。</p>
	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう ジェンダー（注 1）の平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る。 注 1：社会的・文化的な意味での性別</p>
	<p>6 安全な水とトイレを世界中に すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する。</p>
	<p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する。</p>

	<p>8 働きがいも 経済成長も</p> <p>すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（注2）を推進する。</p> <p>注2：働きがいのある人間らしい仕事</p>
	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>レジリエント（注3）なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る。</p> <p>注3：強じん</p>
	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p> <p>国内および国家間の不平等を是正する。</p>
	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする。</p>
	<p>12 つくる責任 つかう責任</p> <p>持続可能な消費と生産のパターンを確保する。</p>
	<p>13 気候変動に具体的な対策を</p> <p>気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る。</p>
	<p>14 海の豊かさを守ろう</p> <p>海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する。</p>
	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p> <p>陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る。</p>
	<p>16 平和と公正をすべての人に</p> <p>持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する。</p>
	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップ（注4）を活性化する。</p> <p>注4：地球規模の協力関係</p>

環境に関する市民アンケート調査

調 査 票

※インターネットでアンケートにお答えいただく方は、依頼文をご確認うえ、最初に次の「アンケート番号」を入力してください。なお、アンケート番号は、この用紙をお送りしている全員の皆様が同じ番号で、個人を特定するものではありません。

アンケート番号	4596573
---------	---------

※本アンケート用紙でお答えの方は、以下の質問にお答えください。回答にあたっては、該当の番号を「○」で囲むものと、自由記載のものとなります。



問1. あなたは、熊本市の良好な環境（生活・自然環境保全）が守られていると感じますか。(1つだけ)

1 とても感じる	2 やや感じる
3 どちらともいえない	4 あまり感じない
5 全く感じない	

↓
問1-2へ

問1-2. 問1で3、4、5のいずれかを選択された方にお尋ねします。
どのような理由から、そう思われますか。具体的に記入してください。

問2. あなたは、熊本市民の共有財産である地下水が、市民、事業者、行政の保全活動により守られていると感じますか。(1つだけ)

1 とても感じる	2 やや感じる
3 どちらともいえない	4 あまり感じない
5 全く感じない	



問3. あなたは、熊本市の街なかに緑が多いと感じますか。

(1つだけ)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 とても感じる | 2 やや感じる |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり感じない |
| 5 全く感じない | |



問4. あなたは、熊本市の地域ごとに、特色ある街並み（街並みや自然の風景）があると感じますか。(1つだけ)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 とても感じる | 2 やや感じる |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり感じない |
| 5 全く感じない | |



問5. 環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。

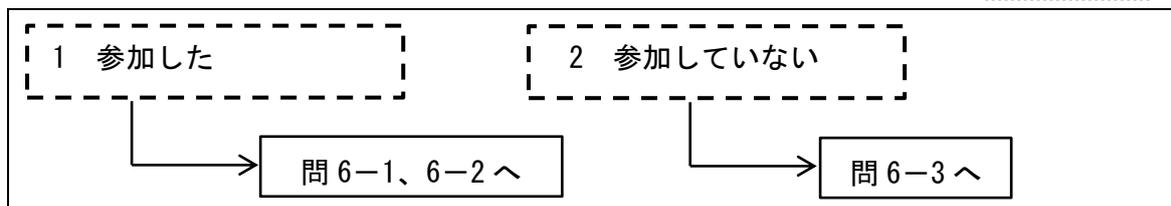
(1つだけ)

- | | |
|--------|---------|
| 1 感じる | 2 やや感じる |
| 3 感じない | |



問

6. この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。(1つだけ)



問6-1. 問6で「1 参加した」を選択された方にお尋ねします。

この1年以内で、どのような環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。(いくつかつでも可)

- 1 自治会・老人会・PTA等の学習会
- 2 NPOや企業が主催する講座・講演会・セミナー等
- 3 行政が主催する講座・講演会・セミナー等
- 4 学校や職場で行われる勉強会
- 5 環境フェアなどのイベント
- 6 その他 ※「6 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。

問6-2. 問6で「1 参加した」を選択された方にお尋ねします。

参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動(活動)はありますか。また、あるとしたらどういったことですか。(1つだけ)

- 1 ある ※実践している内容について、簡単にご記入ください。

- 2 ない ※実践していない理由について、特に何かある場合は記入して下さい。

問6-3. 問6で「2 参加していない」を選択された方にお尋ねします。
参加しなかった理由は何ですか。(いくつでも可)

- 1 時間がなかったため
- 2 経済的な負担が増加するため
- 3 学習会やイベントの開催情報がなかったため
- 4 興味がなかったため
- 5 その他 ※「5 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。

問7. 今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。(いくつでも可)

- 1 日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの
- 2 環境問題について基礎的な知識が学べるもの
- 3 省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの
- 4 身近な地域の環境について学べるもの
- 5 国際的な環境問題について学べるもの
- 6 その他 ※「6 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。

問8. どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したいと思いますか。(いくつでも可)

- 1 自分の都合に合わせて、短時間で参加できる
- 2 小学校や公民館など、身近な場所で開催される
- 3 無料で参加できる
- 4 気軽に参加することができる
- 5 専門的な知識を身につけることができる
- 6 友人や家族と一緒に参加することができる
- 7 その他 ※「7 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。

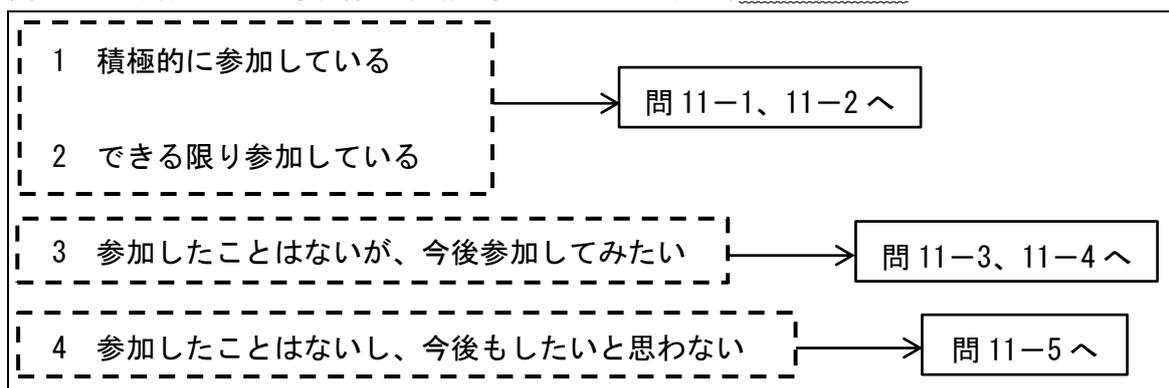
問 9. 市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取り組みを行えば効果的だと思いますか。(いくつでも可)

- 1 学習会や講演会などの開催
 - 2 学校や社会における環境教育の充実
 - 3 環境活動の指導者や地域リーダーの育成
 - 4 環境に関する情報を入手できる場の提供
 - 5 体験学習など自然に触れる機会の提供
 - 6 環境に関する広報などの強化
 - 7 環境保全活動に貢献した市民や団体の表彰
 - 8 身近な地域の環境保全について考える機会の提供
 - 9 その他 ※「9 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。
-
-

問 10. 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。(1つだけ)
(例：緑化活動、清掃活動、環境学習に関する活動など)

- 1 感じる
- 2 やや感じる
- 3 感じない

問 11. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1つだけ)



問 11-1. 問 11 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。

どのような団体の活動に参加していますか。(いくつでも可)

- | | |
|-----------------------------------|--------|
| 1 町内自治会 | 2 PTA |
| 3 NPO | 4 老人会 |
| 5 婦人会 | 6 子ども会 |
| 7 自分たちで立ち上げた活動グループ | |
| 8 その他 ※「8 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 | |
-
-

問 11-2. 問 11 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。

地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。(いくつでも可)

- | | |
|-------------------------------------|-----------------|
| 1 自然林や野生生物の自然保護活動 | 2 自然観察会の開催 |
| 3 植樹などの緑化運動 | 4 森林保全活動 |
| 5 地下水の保全活動 | 6 河川環境保全活動 |
| 7 清掃活動 | 8 ごみステーションの管理 |
| 9 リサイクルや資源回収活動 | 10 歴史的文化遺産の保全活動 |
| 11 環境問題に関する講演会・勉強会の開催 | 12 環境保全のための寄付 |
| 13 その他 ※「13 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 | |
-
-

問 11-3. 問 11 で 3 を選択された方にお尋ねします。

どのような団体の活動に参加してみたいですか。(いくつでも可)

- | | |
|-----------------------------------|--------|
| 1 町内自治会 | 2 PTA |
| 3 NPO | 4 老人会 |
| 5 婦人会 | 6 子ども会 |
| 7 自分たちで立ち上げた活動グループ | |
| 8 その他 ※「8 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 | |
-
-

問 11-4. 問 11 で 3 を選択された方にお尋ねします。

今後地域においてどのような環境保全活動に参加してみたいですか。(いくつでも可)

- | | |
|-------------------------------------|-----------------|
| 1 自然林や野生生物の自然保護活動 | 2 自然観察会の開催 |
| 3 植樹などの緑化運動 | 4 森林保全活動 |
| 5 地下水の保全活動 | 6 河川環境保全活動 |
| 7 清掃活動 | 8 ごみステーションの管理 |
| 9 リサイクルや資源回収活動 | 10 歴史的文化遺産の保全活動 |
| 11 環境問題に関する講演会・勉強会の開催 | 12 環境保全のための寄付 |
| 13 その他 ※「13 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 | |
-
-

問 11-5. 問 11 で 4 を選択された方にお尋ねします。

参加したいと思わない理由は何ですか。(いくつでも可)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 時間がないため |
| 2 興味がないため |
| 3 メンバーが固定されていて参加しづらいため |
| 4 活動の効果があると思わないため |
| 5 その他 ※「5 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 |
-
-



問 12. どのような条件が整えば、より多くの方がまちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。(いくつでも可)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 環境問題についての知識・情報の普及が図られること |
| 2 環境問題を実際に感じる事(地域の川が昔より汚くなった、など) |
| 3 周りを活動に巻き込んでいく中心人物がいること |
| 4 実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などがわかること |
| 5 日常生活の中で気軽に取り組みやすいこと |
| 6 付加価値(エコポイント等)があること |
| 7 その他 ※「7 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 |
-
-

問 13. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。(いくつでも可)

- 1 環境問題についての知識・情報の提供
- 2 活動のアドバイザーや講師等の派遣
- 3 会議室等、場所の提供
- 4 他の活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供
- 5 活動資金の助成
- 6 その他 ※「6 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。



問 14. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。(いくつでも可)

- 1 テレビやラジオ
- 2 新聞、雑誌、書籍など
- 3 家族や友人、知人との会話
- 4 行政からの白書、広報誌など
- 5 インターネットや携帯電話のサイト
- 6 講演会や学習会
- 7 地域活動やボランティアを通じて
- 8 NPO からの情報提供
- 9 企業からの情報提供
- 10 その他 ※「10 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。

- 11 情報を得ていない

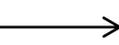
問 15. 環境に関する情報について、今後求めたいもの（不足しているもの）は何ですか。
（いくつでも可）

<ol style="list-style-type: none"> 1 環境に関する一般知識 2 日常生活の中で行える環境保全のための取組方法 3 環境に関するイベントや学習会の情報 4 市民活動団体などによる環境活動の情報 5 環境に関する調査の結果 6 環境に関する補助金の情報 7 国際的な環境の情報や交流の情報 8 環境活動のアドバイザーや講師の派遣情報 9 身近な地域の環境に関する情報 10 その他 ※「10 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 <hr/> <hr/>	
--	--

問 16. 現在の熊本市のごみ出しルールを守っていますか。（1つだけ）

1 きちんと守っている	2 だいたい守っている
3 どちらともいえない	4 あまり守っていない
5 全然守っていない	

問 17. スマートフォン・タブレット向けの「熊本市ごみ分別アプリ」を知っていますか。
（1つだけ）

<ol style="list-style-type: none"> 1 既に利用している 2 知っているが利用はしていない 3 知らない 		問 17-1 へ
--	---	----------



問 17-1. 問 17 で 1 を選択された方にお尋ねします。

「熊本市ごみ分別アプリ」をどこで知りましたか。（いくつでも可）

<ol style="list-style-type: none"> 1 市の広報媒体（市政だより、市政広報番組等） 2 新聞、テレビ、ラジオ等 3 SNS（Facebook、Twitter 等） 4 家族や友人、知人から 5 その他 ※「5 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 <hr/>

問 18. 「COOL CHOICE」について知っていますか。(1つだけ)

- 1 言葉も意味も知っている
- 2 言葉は知っているが、意味はよく知らない
- 3 知らない



未来のために、いま選ぼう

問 18-1. 問 18 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。

「COOL CHOICE」を知ったきっかけは何ですか。(いくつでも可)

- | | |
|---------------|------------|
| 1 テレビ | 2 ラジオ |
| 3 新聞 | 4 雑誌 |
| 5 ポスター | 6 自治体からの広報 |
| 7 学校などの教育機関 | 8 店頭・売場 |
| 9 イベント | 10 インターネット |
| 11 友人、知人、家族の話 | |
| 12 その他 | |

※「12 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター

COOL CHOICE 君野イマ

問 18-2. 問 18 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。

「COOL CHOICE」を実践している、または実践していない理由を教えてください。(いくつでも可)

- 1 環境改善に貢献するため、実践している
- 2 費用の削減になるため、実践している
- 3 教育の一環として、実践している
- 4 職場や学校、家族など周囲がやっているため、実践している
- 5 手間がかかるため、実践していない
- 6 費用がかかるため、実践していない
- 7 実践する機会が無いため、実践していない
- 8 実践する必要性が分からないため、実践していない
- 9 具体的な取組内容が分からないため、実践していない
- 10 その他

※「10 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター

COOL CHOICE 君野ミライ

問 19. 「ZEH」について知っていますか。(1つだけ)

- 1 よく知っている
- 2 少しは知っている
- 3 言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない
- 4 言葉を聞いたこともなく、まったく知らない

ゼロエネルギーで、
暮らそう。



ZEH（ゼッチ）・（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは

住宅の高断熱化と高効率設備により、快適な室内環境と大幅な省エネルギーを同時に実現した上で、太陽光発電等によってエネルギーを創り、年間に消費する正味のエネルギー量が概ねゼロ以下となる住宅です。

国は、2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均でZEHの実現を目指しています。

問 20. 「ZEH」について具体的にどのようなことが知りたいですか。(いくつでも可)

- 1 どれくらいの費用（導入・維持コスト）がかかるのか
- 2 どれくらい光熱費が下がるのか
- 3 ZEHを建てるメリットは何か（光熱費以外）
- 4 ZEHの情報を取得できる場所はどこか
- 5 国や自治体の補助金に関する情報

問 21. 「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」を知っていますか。
また、どのくらい関心を持っていますか。(1つだけ)

- 1 計画を知っており、関心もある
- 2 計画を知っているが、あまり関心はない
- 3 計画を知らなかったが、関心を持った
- 4 計画を知らなかったし、あまり関心もない

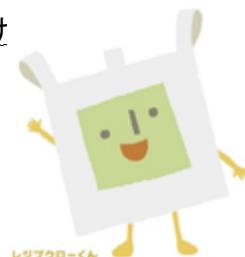
熊本市 低炭素都市づくり戦略計画 改訂版
～みんなで実現「ストップ温暖化プラン」～



平成 27 年 3 月
熊 本 市

問 22. 買い物に行くとき、「マイバッグ」を持参していますか。(1つだけ)

- 1 いつも持参している
- 2 ときどき持参している
- 3 ほとんど持参していない
- 4 全く持参していない



レゾプロローくん

問 22-1. 問 22 で 3、4 を選択された方にお尋ねします。

どのような理由から、マイバッグを持参していないのですか。(いくつでも可)

- 1 マイバッグの持参が面倒だから
- 2 レジ袋をごみ袋などとして再利用するから
- 3 レジ袋の配布は、お店の当然のサービスだから
- 4 デザインなどが気に入るマイバッグがないから
- 5 万引きなどを疑われることが嫌だから
- 6 その他

※「6 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。



問 22-2. レジ袋削減を進めるには、どのようなことが必要だと思えますか。(いくつでも可)

- 1 レジ袋有料化（無料配布中止）
- 2 店でのサービスポイントなどの方法で進める
- 3 店頭でのポスター掲示やのぼり旗などによる広報啓発
- 4 自治体や環境団体等によるマイバッグキャンペーンの実施
- 5 その他 ※「5 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。

問 23. 熊本市におけるレジ袋削減に向けた取組に関する協定について知っていますか。(1つだけ)

- 1 取組内容などよく知っている
- 2 協定を締結しているお店ぐらいは知っている
- 3 言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない
- 4 言葉を聞いたこともなく、全く知らない

問 24. ^{エスディーゼーズ}「SDGs」について、知っていますか。(1つだけ)

※詳しくは別紙をご覧ください。

- 1 よく知っている
- 2 少しは知っている
- 3 言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない
- 4 言葉を聞いたことがなく、まったく知らない



問 24-1. 問 24 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。

言葉を知ったきっかけは何ですか。(いくつでも可)

- 1 国の広報
- 2 市の広報
- 3 企業の広報
- 4 NPO や市民団体の広報
- 5 学校での教育
- 6 勤務先での取組
- 7 新聞、テレビや雑誌
- 8 インターネット
- 9 イベント・セミナー・講演会
- 10 その他 ※「10 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。

問 25. SDGs の 17 の目標のうち、大切だと思う項目は何ですか。(いくつでも可)

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさも守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう

問 26. SDGs の 17 の目標のうち、あなたが貢献できると思う項目は何ですか。(いくつでも可)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 貧困をなくそう | 2 飢餓をゼロに |
| 3 すべての人に健康と福祉を | 4 質の高い教育をみんなに |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 6 安全な水とトイレを世界中に |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 8 働きがいも経済成長も |
| 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | 10 人や国の不平等をなくそう |
| 11 住み続けられるまちづくりを | 12 つくる責任つかう責任 |
| 13 気候変動に具体的な対策を | 14 海の豊かさを守ろう |
| 15 陸の豊かさも守ろう | 16 平和と公正をすべての人に |
| 17 パートナーシップで目標を達成しよう | |

問 27. SDGs の 17 の目標のうち、熊本市として取り組むべきだと思う項目は何ですか。(いくつでも可)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 貧困をなくそう | 2 飢餓をゼロに |
| 3 すべての人に健康と福祉を | 4 質の高い教育をみんなに |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 6 安全な水とトイレを世界中に |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 8 働きがいも経済成長も |
| 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | 10 人や国の不平等をなくそう |
| 11 住み続けられるまちづくりを | 12 つくる責任つかう責任 |
| 13 気候変動に具体的な対策を | 14 海の豊かさを守ろう |
| 15 陸の豊かさも守ろう | 16 平和と公正をすべての人に |
| 17 パートナーシップで目標を達成しよう | |

問 28. SDGs に関して、ご提言、ご意見がございましたらお聞かせください。

問 29. 現在、急激に普及している火を使わない「電子たばこ（加熱式）」は、従来のたばこと同様に規制する必要があると考えますか。(1つだけ)

※ 電子たばこ（加熱式）とは、たばこ葉を電気で加熱し、そこから出る水蒸気を吸い込むたばこのことです。

- 1 規制する必要がある
- 2 規制する必要がない
- 3 従来のたばこは規制内容に区別が必要である
- 4 どちらでもよい

問 30. 現在の熊本市内の環境の現状について、あなたが一番問題と思われることは何ですか。(1つだけ)

- 1 自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ
- 2 地下水の状況（水質や量）
- 3 ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況
- 4 地球温暖化防止のための、省エネルギーの推進（太陽光等の再生可能エネルギーの推進）
- 5 まちなみの景色の美しさや、公園や緑地の多さ
- 6 大気の状態
- 7 河川などの水辺の美しさ、清潔さ
- 8 生活環境の快適さ（騒音や振動、悪臭などがないか）
- 9 環境に配慮した道路、歩道などの整備
- 10 環境について学ぶ機会や情報を得る機会（環境保全イベント等の開催）
- 11 その他

問 30-1. あなたが問 30. で選択された問題について、どのようなことが問題だと思われますか。ご自身のお考えを具体的に記入してください。

最後に、回答者ご自身についてお聞きします。

1. ご年齢

1	20 歳代	2	30 歳代	3	40 歳代
4	50 歳代	5	60 歳代	6	70 歳代
7	80 歳代				

2. ご職業

1	会社員	2	自営業	3	農林漁業
4	公務員	5	学生	6	無職
7	その他 ()				

3. お住まいの地区（居住校区に○をつけてください。）

区	居住地区（小学校区）
中央区	出水、出水南、一新、大江、帯山、帯山西、黒髪、慶徳、向山、壺川、五福、白川、城東、砂取、硯台、託麻原、白山、春竹、本荘
東区	秋津、泉ヶ丘、画図、尾ノ上、健軍、健軍東、桜木、桜木東、託麻北、託麻西、託麻東、託麻南、月出、長嶺、西原、東町、山ノ内、若葉
西区	池田、池上、小島、春日、河内、城山、城西、白坪、高橋、中島、花園、古町、芳野
南区	飽田西、飽田東、飽田南、奥古閑、川口、川尻、隈庄、城南、杉上、銭塘、田迎、田迎西、田迎南、富合、豊田、中緑、日吉、日吉東、御幸、力合、力合西
北区	麻生田、植木、川上、楠、桜井、山東、清水、城北、高平台、田底、龍田、龍田西、田原、西里、榆木、菱形、北部東、武蔵、山本、弓削、吉松

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

くまもと市の環境 別冊

「第3次熊本市環境総合計画」に関する
市民アンケート調査報告書
【平成30年度（2018年度）版】

発行 令和元年（2019年）11月
編集 熊本市環境局環境推進部環境政策課
熊本市中央区手取本町1番1号
TEL 096-328-2427
